

令和5年度  
神戸大学附属図書館年次報告

令和6年9月

編集：神戸大学附属図書館評価委員会

\* 附属図書館ホームページ掲載 \*

<https://lib.kobe-u.ac.jp/about/facts/reports/>

## 刊行のご挨拶

附属図書館長 土佐 幸雄

令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、附属図書館でも感染症対策として実施していた各種制限を解除しました。その後、利用者は徐々に増加しています。また、令和5年4月にリニューアルオープンした自然科学系図書館は、イノベーションスタジオやコラボレーションルームのようなグループ学習ができるスペースを中心に、コロナ禍前を上回る多くの利用者に使われており、図書館において利用者のニーズに応じた場の提供が重要であると改めて認識しております。

さて、本年度も神戸大学附属図書館年次報告書を刊行する時期となりました。ここに、令和5年度に当館が実施した事業をまとめてご報告致しますが、とくに令和5年度に新たに開始した取り組みを以下にご紹介します。

一つ目は、日本学術振興会の人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業の拠点機関に大学図書館として唯一採択され、事業を開始しました。当館がこれまで電子化公開してきた「新聞記事文庫」「震災文庫」「貴重書」のデータをさらに充実させ、外部とのデータ連携を進めるというものです。当館の所蔵資料が広く研究活動に活用されるようになるよう取り組みます。

二つ目は、学術情報流通活性化経費の配分を受け、初めてURA（図書館担当）を採用しました。電子ジャーナル価格が高騰する中で学内の他部署や近隣大学と連携して、コスト削減やオープンアクセス等の取組を推進します。オープンアクセスについては、2025年の新規公募分から公的資金による学術論文及び研究データの即時オープンアクセス化が義務化されますが、これに対応すべく体制の構築を進めて参ります。

本報告書により、多くの方々に附属図書館の活動をご理解いただくとともに、今後の図書館運営について忌憚のないご意見を頂ければ幸いです。それらのご意見を参考に、附属図書館は、館長をはじめ職員一同、よりよい図書館サービスを目指し、今後も取り組んで参ります。

# 令和5年度神戸大学附属図書館年次報告

## 刊行のご挨拶

<u>1. 本年度の取り組みの概要</u> . . . . .	p. 1
---------------------------------	------

## 2. 学習・教育支援

(1) 開館サービス . . . . .	p. 6
(2) 学生用資料整備 . . . . .	p. 10
(3) 資料提供サービスと利用促進 . . . . .	p. 11
(4) 図書館相互利用 (ILL) サービス . . . . .	p. 18
(5) 学生との協働及び学生参加型の取組 . . . . .	p. 19
(6) 情報リテラシー教育の推進支援 . . . . .	p. 20
(7) 利用者アンケートの実施 . . . . .	p. 25

## 3. 学術研究支援

(1) 研究用資料の整備 . . . . .	p. 25
(2) 電子的情報基盤の整備 . . . . .	p. 28
(3) 蔵書目録データベースの整備 . . . . .	p. 32
(4) 資料の保存 . . . . .	p. 33

## 4. 社会連携・情報発信

(1) 一般市民への資料提供サービス・展示会の開催 . . . . .	p. 34
(2) 震災文庫 . . . . .	p. 36
(3) 電子図書館システムによる情報発信 . . . . .	p. 38
(4) 機関リポジトリによる情報発信 . . . . .	p. 40
(5) 国際連携 . . . . .	p. 41

## 5. 管理運営等

(1) 図書館組織と運営	p. 42
(2) 事務組織と人事管理	p. 44
(3) 予算及び財務会計業務	p. 49
(4) 施設整備・システム整備	p. 52
(5) 図書館界での諸活動	p. 54

### <付録>

付録 1	神戸大学附属図書館今後 10 年の運営方針について	p. 56
付録 2	KU VISION 2023	p. 59
付録 3	達成度評価 令和 5 年度事業年度に係る業務の実績（第 4 期中期目標）	p. 61
付録 4	数値結果実績（第 3 期～第 4 期）	p. 63
付録 5	達成度評価の根拠資料 図書館利用者アンケート結果 自然科学系図書館改修後アンケート結果 附属図書館開催イベント・セミナー等のアンケート結果	p. 65 p. 71 p. 79
付録 6	附属図書館に関する自己点検・評価結果、 及びそれを踏まえた対応措置	p. 96

#### 基本統計表

付録 7	蔵書・受入等の現況（各館室別）	p. 105
付録 8	サービス業務の現況（各館室別）	p. 106
付録 9	電子的情報サービスの現況	p. 107
付録 10	図書館組織図・事務組織図	p. 108
付録 11	附属図書館諸会議（議題一覧、委員名簿）	p. 109
付録 12	附属図書館予算・決算表（運営経費、資料費）	p. 117
付録 13	附属図書館活動日誌	p. 119

## 1. 本年度の取り組みの概要

### ◆学習・教育支援

#### (1) 開館サービス

本年度は自然科学系図書館が4月当初にリニューアルオープンしたこともあり、全館入館者数は前年度の1.4倍となった。リニューアルの効果は大きく、自然科学系図書館の平日通常開館時間帯における1日あたりの入館者数は、コロナ禍前の令和元年度と比較しても約1.6倍となった。一方で、コロナ禍前の令和元年度との比較では、1日あたりの全館入館者数は65%程度であった。時間外開館については、予算上の制約により、5月以降は前年度の規模から全体的に時間を短縮した内容の実施を余儀なくされた。

#### (2) 学生用資料整備

各館室の学生用資料整備は図書館予算から各館室に配分した経費と各館室のサービス対象部局から拠出された経費を合わせて実施されている。本年度の学生用資料費は、前年度と同額の4千万円とし各館室へ配分した。光熱水料の高騰の影響を受け年度当初は予算の30%を執行保留としたが、最終的には予算額に応じた資料の整備を行った。

前年度に整備した学生用図書の選定評価を従来通り実施し、構成と利用の面で選定が適切に行われたことを確認した。

今後も厳しい予算状況が続くと見込まれるが、教育・学習活動の支援のため限られた予算の中で適切な資料選定を行うとともに、冊子と電子ブックの両方に配慮してコンテンツへのアクセス可能性を担保・拡充するような資料整備を進める必要がある。

#### (3) 資料提供サービスと利用促進

学生への年間貸出総冊数は231,684冊で、前年度比約1.06倍となった。1日あたり入館者数（同約1.4倍）と比べれば緩やかな増加だが、貸出冊数はコロナ禍だった令和2～3年度を除けば平成30年度の208,442冊を底に増加傾向で、1人あたりの貸出冊数共々、平成28年度と同レベルに持ち直している。利用促進においては、本を借りて読むことを促進する来館型のイベント「読書マラソン」を前年度に続き実施し、本年度はOPAC書評機能を活用して参加者の「読書のきろく」を公開したところ、これが投稿の動機となったとうかがえる参加者が一定数確認できた。

#### (4) 図書館相互利用（ILL）サービス

図書館相互利用（ILL）について、本年度は前年度に比べ、来館型の資料利用が増えたこともあり、文献複写の受付・依頼、現物貸借の受付・依頼いずれも減少した。社会科学系図書館の複写受付件数は、学内全体の約半数を占め、同館が人文・社会科学系の外国雑誌センター館としての責務を果たしていることがわかる。

#### (5) 学生との協働及び学生参加型の取組

附属図書館学生チームULiCS（うりくす）」は本年度末時点で11名が参加、継続的活動として計6回の定例会（オンラインと対面併用による）開催、団体誌『The ULiCS Times』の第13号～第14号およびビブリオバトル開催報告特別号の発行・公開、4回の「ULiCS文庫」（テーマ本の展示）、7回の「まごまご読書倶楽部」（学生参加型持ち寄り読書会）等を行った。また、大学生向けカフェチェーン店とのコラボイベントの企画や全国大学ビブリオバトル2023予選会（関西Cブロック）主催開催、「学生選書ツアー交流会」で初めての図書館職員WGとのイベント共催も実現した。活動の

可視化促進のため、学内学生団体（KooBee）発行サークル図鑑への掲載や X（旧ツイッター）広報も継続して実施している。

## （6）情報リテラシー教育の推進支援

図書館職員が1コマを担当する全学共通授業科目「情報基礎」は、本年度もオンデマンド型遠隔授業として開講され、23クラス・2,641人が受講した。授業の理解度テストは、全ての設問で正解率が8割以上となった。また「情報基礎」と同じく必修科目である「初年次セミナー」では、図書館ツアーのほか、文献検索ガイダンス等を対面で行った。図書館主催ガイダンスは、ベンダーに講師を依頼したガイダンスを除き動画を使ったオンデマンド型で実施した。オーダーメイドガイダンスやオリエンテーションは、希望に沿って対面・オンライン・オンデマンドに対応した。さらに、パスファインダー「KULiP」の運用と内容更新、チャットによるオンラインレファレンスを継続して行った。

## （7）利用者アンケートの実施

附属図書館のサービス改善に資するため、利用者アンケートを行った。本学在籍者から回答を受け付け、回答数は1,062件であった。

## ◆学術研究支援

### （1）研究用資料の整備

第4期中期計画期間前半（令和4～6年度）の教育研究基盤資料整備費について、令和2年10月8日の部局長会議での承認に基づき、本年度は「教育研究基盤資料整備費」約4.03億円（決算ベース）が措置され、電子ジャーナル及びデータベースは前年度の契約規模を維持することができたが、価格の高騰や円安の影響により令和7年度以降の整備方針を検討する必要がある。

附属図書館運営経費は、本年度当初予算は約2.51億円で令和4年度から約0.04億円減（約1.6%減）となった。附属図書館図書資料費（学生用資料費・e-study資料費・震災文庫資料費・外国雑誌センター館経費）の確保が困難となっているが、本年度は令和4年度から約0.1億円減の約0.7億円の当初予算を確保した。しかしながら、資料本体の値上げ等により、全体の購入資料数は減少を続けている。

外国雑誌センター予算については、附属図書館予算の約1割とし、前年度から0.1億円減となったものの0.25億円を確保した。近年は予算抑制と円安の影響を受けて購入タイトル数が減少傾向にあり、ILL受付件数も減少している。

今後、物価の高騰や雇用単価の値上げ等により経費負担が増える見込みのため、学生用資料費や外国雑誌センター予算の見直しを検討する必要がある。

### （2）電子的情報基盤の整備

本年度末における電子ジャーナル購読数は37,836タイトル、総ダウンロード数は教育研究基盤資料整備事業によるもので約140万件と、総体として非常によく利用されており、必須の教育研究基盤資料となっている。電子ジャーナル購読数は前年度の規模を維持している。

円安の進行によって令和6年度の所要見込も増加しており、今後の購読内容の検討は喫緊の課題である。

一方で、一部の出版社から「転換契約」という新しい契約形態が提案され、本学は、国内10大学によるパイロットプロジェクトに参加し、令和5年1月からSpringer Nature社との転換契約を開始し、Elsevier社については令和6年4月から転換契約を開始する。

### (3) 蔵書目録データベースの整備

目録遡及入力の本年度実績は、特殊資料（和漢古書、マイクロ資料など）と研究室からの返納図書、製本雑誌等を合わせ 72,254 冊で、全蔵書数約 377 万冊のうち約 342 万冊（約 90%）が OPAC（オンライン目録）で検索できるようになった。10 年にわたった国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」事業は本年度で終了したが、引き続き残る和古書のほか、漢籍、マイクロ資料等の特殊資料の入力を進めている。

### (4) 資料の保存

整理作業促進のため雑誌の保存館リストの改訂および製本雑誌廃棄指針の再検討を行い、「資料収容力確保策に関する実務指針」に基づき、資料の除籍を実施し書庫狭隘化の課題解決に取り組んだ。共同利用書庫への資料移管調査に、重複調査用のプログラムを作成するなど効率化を図っており、順次作業を行い、附属図書館全体における体系的な資料整備を進めている。また、除湿機の設置と適切な運転、カビ発生の有無の確認など日常的に書庫環境を良好に維持することに努めているが、突発的な空調機の故障や豪雨に伴う雨漏りなどに備え、資料保存の適切な環境整備になお一層努めていく必要がある。

## ◆社会連携・情報発信

### (1) 一般市民への資料提供サービス・展示会の開催

本年度は、5 月に新型コロナウイルス感染拡大防止措置として制限していた学外者の入館と来館貸出を再開し、社会に開かれた図書館としての役割を果たすことができるようになった。

前年度から展示ホールでの開催を再開した資料展については、本年が社会科学系図書館竣工 90 周年になることから、当時の神戸大学関連資料に加え、他大学も含めた大学図書館建築や国内情勢に焦点をあてた資料展を開催した。所蔵資料・貴重書の紹介、また地域の歴史、それも一般にはあまり知られていない事柄の紹介としても、意義はあると評価する。今後はデジタル資料展などとのハイブリッド形態での実施の可能性にも取り組んでいきたい。

### (2) 震災文庫

社会科学系図書館にある震災文庫では、新たに 361 件の資料を受け入れ、所蔵資料総数は 5 万 7 千件超に、うちデジタル化された資料は 1 万 3 千件弱となった。また、サンテレビジョンから寄贈を受けた阪神・淡路大震災当日の動画 150 件をデジタルアーカイブで公開し、これをもって平成 7 年 1 月 19 日（震災 3 日目）までに撮影された全映像の公開が完了した。

### (3) 電子図書館システムによる情報発信

平成 11 年から「震災関係資料」、「経済関係資料」、「学内研究成果」を 3 本柱に「神戸大学電子図書館システム」によるデジタルアーカイブ構築を行っている。本年度は「人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業」（実施期間：令和 5 年 10 月 1 日～令和 10 年 3 月 31 日）に採択され電子公開の拡充および JDCat(人文学・社会科学総合データカタログ (Japan Data Catalog for the Humanities and Social Sciences))との連携を目指すこととなった。そのほか、国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」事業による電子化・画像公開や、「若林泰氏収集文書」の電子化公開準備など、コンテンツの拡充を進めている。また本年度は貴重書・特殊コレクションのうち二次利用に制限のない資料について国立国会図書館サーチおよびジャパンサーチとの連携を行った。

#### (4) 機関リポジトリによる情報発信

平成 18 年度に稼働を始めた「神戸大学学術成果リポジトリ (Kernel)」は、本年度は 2,063 件のコンテンツが新規登録され、総コンテンツ数は 38,550 件に達し、順調にコンテンツ数をのばしている。「オープンアクセス推進 WG」では、本年度も重点的な取組として、神戸大学研究者紹介システム「KUID」に登録された論文情報 3,322 件の各ジャーナルの著作権調査を手分けして実施し、公開可能なもののうち 282 件について著者へ登録依頼し、116 件を登録した。また「神戸大学 研究データ管理・公開ポリシー実施 ガイドライン」策定に向け学内での検討が進められているが「オープンサイエンス検討 WG」のメンバーが図書館内での検討に参加した。

#### (5) 国際連携

本年度は、新型コロナウイルス感染症対策で海外渡航が制限されて以来 4 年ぶりに、国内他機関からの依頼と学内推薦を受け、職員 3 名を海外に派遣した。職員の海外派遣には予算の確保が不可欠であるため、今後も外部資金の獲得などを積極的に行っていく必要がある。

### ◆管理運営等

#### (1) 図書館組織と運営

令和 5 年 4 月から土佐幸雄教授（農学研究科）が附属図書館長の任に当たっている。3 名の副館長も本年度から交代している。附属図書館運営委員会はメール回議 2 回を含む 6 回開催した。第 4 期中期計画前半（令和 4～6 年度）の教育研究基盤資料整備費による整備方針については、令和 2 年 10 月 8 日の部局長会議において、上限 4.1 億円として承認を得ており、本年度は 4.03 億円（決算ベース）が措置された。情報サービス課連絡会議により各館室の問題や状況を共有し、均一のサービス提供や問題点の解決を行った。研究開発室については、電子化部会と教育研究支援部会がそれぞれ、室員の教員より意見・助言を得ることができ、設置目的のとおり高度な図書館サービスの実現に寄与している。

#### (2) 事務組織と人事管理

令和 6 年 3 月時点で、附属図書館事務部は 2 課 2 グループ 11 係、定員 48 名、非常勤職員 35 名の 83 名であった。経済経営研究所図書係に定員 3 名、大学文書史料室に定員 3 名、非常勤職員 2 名を配置している。3 月 1 日付で新たに図書館担当の特命政策研究職員(URA)を採用した。本年度も感染症対策のため Web での研修が中心となったが、場所・時間の制約なく参加できるという利点から、積極的に職員が参加した。また、対面開催が再開した研修も増加したため、特に専門主題に関わる研修を中心に職員派遣を行った。係横断的な業務や課題解決のためのワーキンググループについては、具体的な業務目的を負ったものに絞って設置し、活動中断せざるを得なかった図書館リニューアル WG 以外はいずれも活発に活動し成果をあげている。時間外開館及び土・日開館業務の体制については、予算の縮減により前年度に続き本年度も外部委託をせず、学生アルバイトと非常勤職員（パート）により実施した。業務改善は、継続検討となった課題に新規事項も加え、引き続き取り組んでいく。

#### (3) 予算及び財務会計業務

經常運営費・經常事業費の当初予算総額は 244,855 千円で、前年度の 248,836 千円から 3,981 千円の減となった。為替相場での極端な円安傾向や物価高、電気料金等光熱水料の価格の上昇など、經常運営費および図書館資料費の執行に大きく影響した。光熱水料については、LED などの器具の更新により経費節減に努めているが、今後も高止まりが予想される。時間外開館についても、学内の予算措置を受けて実施できている状況から、予算配分を待って開館時間が決まり、年度当初に予定が定まら

ないという問題も生じていることから、可能な限りの規模の維持と必要な経費の確保は今後も大きな課題である。

本年度、外部資金等による収入として、「人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業委託業務」および学術情報流通活性化経費を得ることができた。また、シナジーマーケティング株式会社との間でネーミングライツ・パートナー協定を結び、3年の期間ネーミングライツ料の収入を得られることとなった。前年度締結した日本無線株式会社とあわせて2社からネーミングライツ料の収入を得られる。その他、株式会社オカムラ神戸支店から、自然科学系図書館のミーティングチェアの寄付を受けた。今後も外部資金等の獲得に努めたい。

#### **(4) 施設整備・システム整備**

前年度までに、学修支援機能の強化を目的としたラーニングコモンズ設置と、資料収容力強化を目的とした増床のための自然科学系図書館の施設改修を完了、本年度4月から自然科学系図書館ラーニングコモンズの運営を開始した。入館者数が改修前に比べ大幅に増えたことに加え、共創スペースとして設置した各施設での大学プロジェクト等での利用数は14件にのぼり、共創スペースとしての役割を果たしていると評価できる。また、空調機や除湿機の修繕・更新工事を計10件行い、各館室の閲覧室や書庫の環境改善に努めた。

システムについては、学内予算措置により、入退館管理システムの更新を、社会科学系図書館、自然科学系図書館、医学分館の3館で実施した。図書館システムについては、令和4年9月のリプレイス以降、概ね問題なく稼働している。今後はシステムの安定した運用の維持と、改善を要する点への対応が課題である。また、令和7年度中に予定されている次期キャンパス情報ネットワークシステム(KHAN2025)への更新、令和8年度中に予定されている次期会計業務システムへの更新について、円滑に移行できるよう対応する必要がある。

#### **(5) 図書館界での諸活動**

本年度は国立大学図書館協会近畿地区助成事業の実施担当としてハイブリッド形式で講習会を開催し、参加者は全国31機関82名であった。国立大学図書館協会の2委員会に事務部長が委員を務め、小委員会タスクフォースに職員2名が参加した。兵庫県大学図書館協議会では引き続き会長館、事務局として協議会の運営にあたった。JPCOARの作業部会や国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター拠点連携委員会に職員が参加した。他機関・団体等が開催する研修等に、講師等として4名の職員が携わった。他機関との連携は参加する職員自身の資質向上にもつながるものであり、今後も推進が期待される。

## 2. 学習・教育支援

### (1) 開館サービス

#### ◀開館状況▶

##### <4月>

	館室	平日	土曜	日曜
休業期 (4/1-4/3)	社会科学系図書館	8:45-20:00	10:00-18:00	10:00-18:00
	医学分館	8:45-20:00	10:00-18:00	休館
	その他の館	8:45-17:00	休館	休館
授業期・試験期 (4/4-4/30)	総合・国際文化学図書館	8:45-21:00	10:00-18:00	10:00-18:00
	社会科学系図書館	8:45-20:00	10:00-18:00	10:00-18:00
	経済経営研究所図書館	8:45-17:00	休館	休館
	その他の館	8:45-20:00	10:00-18:00	休館

※4月は令和4年度第3回・第4回附属図書館運営委員会で承認された時間で実施

※祝日は休館

※4/3、自然科学系図書館はリニューアルオープン式典のため13時開館

##### <5月以降>

	館室	平日	土曜	日曜
授業期・試験期	社会科学系図書館	8:45-20:00	11:00-17:00	11:00-17:00
	総合・国際文化学図書館 自然科学系図書館 医学分館	8:45-20:00	11:00-17:00	休館
	人文科学図書館 人間科学図書館 保健科学図書室 海事科学分館	8:45-19:00	11:00-17:00	休館
	経済経営研究所図書館	8:45-17:00	休館	休館
休業期	社会科学系図書館	8:45-20:00	11:00-17:00	11:00-17:00
	医学分館	8:45-20:00	11:00-17:00	休館
	その他の館	8:45-17:00	休館	休館

※5月以降は、令和4年度第5回附属図書館運営委員会で承認された時間で実施

※祝日は休館

※6/2、大雨のため全館17時以降臨時休館

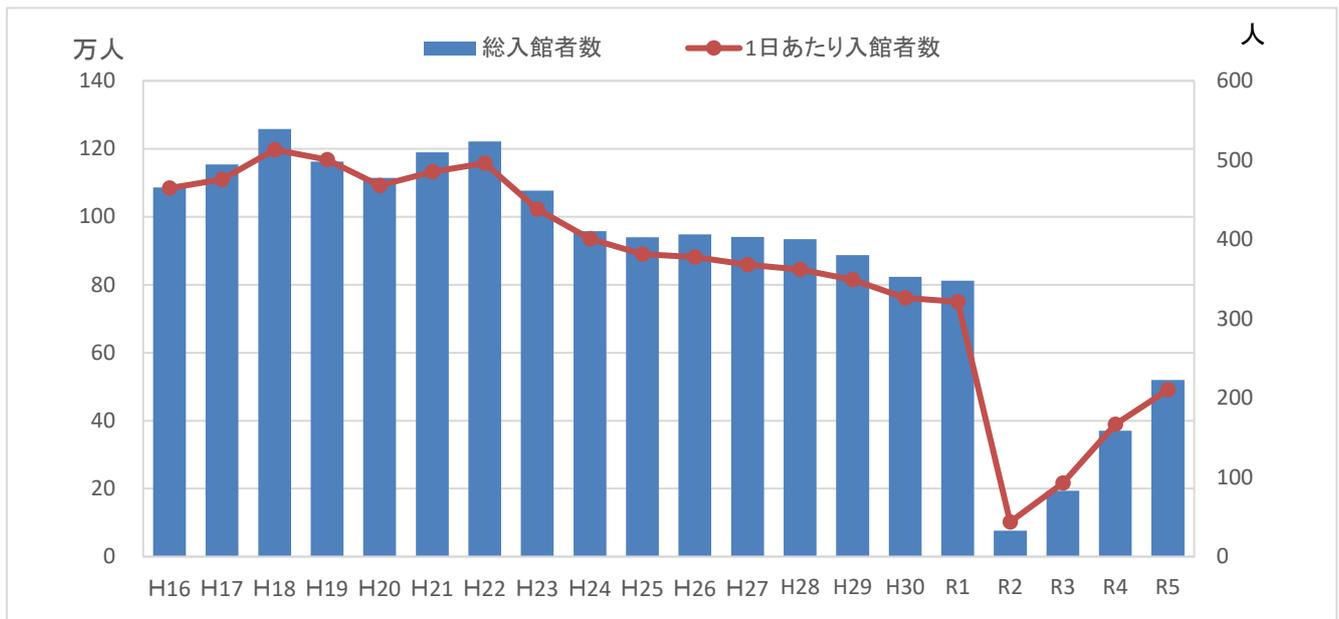
- 5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、「新型コロナウイルス感染拡大防止のための神戸大学の活動制限指針」はレベル0(=通常、前年度は終始レベル1、活動制限指針のレベルと図書館の対応については令和4年度附属図書館年次報告のp8に掲載)に変更となり、感染症対策として行っていた各種制限がなくなった。これに従い、図書館でも5月8日から次のとおり対応した。
  - 手指用消毒液：在庫がなくなり次第設置終了
  - 換気：引き続き実施(図書館の環境管理のため、頻度は各館で判断)
  - アクリルパネル：閲覧機の間仕切り用として各館室の事情等にあわせて継続設置でも可
  - 職員のマスク着用：引き続き推奨(ただし部局からの要請がある場合は着用)
  - 学外者の利用：制限を解除し、コロナ禍前の通常に復して利用可能に(5月15日から)
- 時間外開館については、前年度と同じ規模で計画して、自然科学系図書館の改修工事完了に伴う開館再開や人件費・光熱水料の上昇を踏まえて予算要求をしていたところ、前年度と同額の配分にとどまったため経費抑制が必要となった。そのため4月は前年度と同じ内容で、5月以降は実施時間を全体的に短縮した内容として、前頁の表のとおり実施した。
- 図書館利用証(学生証)の代わりに、スマートフォン上に表示させた利用者バーコードを読み取らせて入館ゲートを通過する「スマホ入館」を、経済経営研究所図書館と医学分館を除いた7館室で運用している。

## 《入館状況》

### 《入館者数経年推移》

平成16年度以降の年間総入館者数及び1日あたりの入館者数の経年推移を次に掲げる。

#### 《入館者数の推移》



### <全館入館者数>

本年度の全館入館者数を前年度及び令和元年度と比較したものである。

	年間のべ 開館日数	年間総入館者数	1日あたり入館者数
R5/R4	1.12	1.4	1.26
R5/R1	0.98	0.64	0.65
R1 年度	2,528	812,400	321.4
R4 年度	2,219	370,273	166.9
R5 年度	2,475	520,038	210.1

- 改修工事（平成 20 年度総合・国際、平成 25 年度社会系）及び入退館管理システム導入（平成 23・24 年度）があった年に入館者数が減少し、平成 26 年度以降も緩やかに減少傾向であった。
- 令和 2 年度は感染症対策による休館、開館時間短縮、学生の入構制限などを反映し、入館者数は令和元年度の 1 割程度に減少したが、令和 3 年度は開館日数が増えたこともあり、入館者数は令和 2 年度の約 2.5 倍に、令和 4 年度は時間外開館を再開したことで、自然科学系図書館が全期間休館であったにもかかわらず、入館者数は令和 3 年度の約 1.9 倍となった。
- 本年度は自然科学系図書館が改修を終えて 4 月当初にリニューアルオープンしたこともあり、入館者数は前年度の 1.4 倍となった。令和元年度と比較すると、1 日あたりの入館者数は 65%程度で、コロナ禍前の水準には回復していない。また、入館者総数の増加分 149,765 人は、自然科学系図書館の入館者数 136,095 人と近似であり、自然科学系図書館を除いた本年度の入館者数の合計（383,943 人）は前年度の 1.04 倍と、自然科学系図書館の開館再開による入館者数が、そのまま前年度実績からの増加分に相当する体裁である。

### <通常開館>

平日（17:00 まで）の 1 日あたりの入館者数

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
R5/R4	1.18	0.98	-	0.83	1.08	0.90	1.24	1.06	1.18	1.27
R5/R1	0.55	0.67	1.58	0.83	0.51	0.35	0.53	0.84	0.47	0.72
R1 年度	858.8	525.7	317.5	229.3	194.6	12.4	266.4	135.6	181.9	302.6
R4 年度	401.6	358.2	0	227.2	91.9	4.8	114.3	106.9	72.6	172.0
R5 年度	474.9	352.8	500.3	189.2	99.0	4.3	141.9	113.5	85.4	217.7

- 全体としては、前年度と比較すると約 1.3 倍弱となっている。令和元年度と比較すると 7 割強回復している。自然科学系図書館については、令和元年度と比較しても約 1.6 倍に増加しており、リニューアルの効果が顕著に現れている。その一方で人文科学図書館の減少が目立つのは、前年度は休館していた自然科学系図書館の代替として入館者が増加していたものが（R4/R3 の入館者数比が 1.86）、通常の状況に戻った結果だと考えられる。

### <夜間開館>

平日夜間（17:00～）時間帯の1日あたりの入館者数

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
R5/R4	0.75	0.93	-	0.66	0.91	-	1.28	2.58	0.91	1.23
R5/R1	0.23	0.32	1.00	0.44	0.39	-	0.24	0.41	0.19	0.39
R1 年度	160.4	83.2	83.5	56.6	28.2	-	63	22.7	41.1	67.8
R4 年度	48.5	28.1	-	37.9	12.1	-	12.0	3.6	8.5	21.3
R5 年度	36.2	26.2	83.5	25.1	11.0	-	15.3	9.2	7.8	26.2

- 前年度と比較して、全体としては約 1.2 倍となっているが、これは自然科学系図書館の開館再開が要因であり、5 月以降は実施時間が短縮されたこともあってか、前年度も夜間開館を実施した 7 館の 1 日あたりの入館者数は 18.9 人と、前年度の 88%程度にとどまっている。その一方で、自然科学系図書館は令和元年度と同じだけ入館者を集めており、ここにもリニューアルの効果が認められる。

### <土曜・日曜開館>

土曜・日曜の1日あたりの入館者数

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
R5/R4	0.63	1.01	-	0.63	0.86	-	1.08	0.67	1.61	1.03
R5/R1	0.18	0.32	0.86	0.46	0.32	-	0.34	0.29	0.37	0.38
R1 年度	204.3	259.3	137.4	86	38.3	6	85.2	36.5	71	134
R4 年度	59.4	81.9	-	62.2	14.3	-	26.7	15.6	16.2	49.2
R5 年度	37.2	83.0	118.1	39.4	12.3	-	29.0	10.4	26.3	50.6

- 前年度と比較して 1 日あたりの入館者数はほぼ同じだが、自然科学系図書館の開館が再開してこの結果であり、前年度も土曜・日曜開館を実施した 7 館の 1 日あたりの入館者数は 43.5 人で、前年度の 88%程度であった。特に、総合・国際文化学図書館での減少は、5 月以降授業期の日曜開館を取りやめた結果だと考えられる。

### <祝日授業日開館、試験期特別開館>

- いずれも本年度は実施しなかった。

### <24 時間開館>

- 医学分館で、医学部・医学研究科・保健学研究科・附属病院所属者を主対象として平成 9 年度から実施しているが、令和 2 年 4 月 8 日以降新型コロナウイルス感染症対応のため、本年度も引き続き休止した。なお、令和 6 年 5 月 1 日より、実施時間を短縮して（開館日は閉館時間から 24 時まで、休館日は 11 時から 24 時までに改める）再開することとなっている。

### ◆評価と課題

本年度の年間総入館者数は 520,038 人で前年度の 1.4 倍となったが、とりわけ 4 月当初にリニューアルオープンした自然科学系図書館での増加が顕著で、平日通常開館時間帯における 1 日あたりの入館者数はコロナ禍前の令和元年度と比較しても約 1.6 倍に、平日夜間と土曜・日曜の 1 日あたりの入館者数についても、令和元年度は 9 館室中それぞれ 2 番目/3 番目であったものがいずれも 1 番になっており、改修の効果が如実に表れている。その一方で時間外開館については、5 月以降実施規模を縮小したため、

自然科学系図書館を除いた館室総体の1日あたりの入館者数は減少している。

令和6年度の時間外開館は本年度と同じ規模・内容で実施することとしたが、その後については、特に自然科学系図書館を中心に、各館の利用状況の推移を注視しつつ、実施内容を適切に判断する必要があると考える。

## (2) 学生用資料整備

館室別の蔵書数、受入図書冊数、資料費総額等は別添基本統計のとおりである。

### <資料費予算と重点整備>

- 各館室の学生用資料の整備は、図書館予算(図書館セグメント)から各館室に配分した経費と、各館室のサービス対象部局から拠出された経費(部局セグメント)を合わせて実施することとなっている。
- 本年度の学生用資料費予算は前年度と同額(40,000千円)を維持し、前年度の配分方法を踏襲して各館室へ配分した。また光熱水料等の大幅な上昇が予想されたため、年度当初は予算の30%を執行保留としたが、11月22日をもって解除し、最終的には予算額に応じて資料の整備を行った。
- 平成28年度からE-Study事業費は独立した予算項目とした。本年度予算は前年度から変更なく4,664千円である。
- 平成18年度から震災文庫資料費(300千円)は独立した予算項目となっている。
- 平成16年度から実施している装備付納品を、引き続き総合・国際文化学図書館(798冊)、社会科学系図書館(518冊)において実施し省力化・合理化に努めた。しかし、装備に要する価格が上昇した影響により、従来実施していた自然科学系図書館、人間科学図書館において、本年度から装備付納品を中止した。また、保健科学図書室については、購入点数も少なく省力化があまり見込めないことから平成29年度から装備付納品を中止している。

### <各館室の整備状況>

R5受入	総合	国際	社会	自然	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
図書冊数	1,849	213	1,781	850	385	438	62	472	221	739	7,010
雑誌種数	63	15	13	107	14	60	0	92	52	60	476

- 各館室では配分された資料費をもとに関係部局のシラバス掲載図書の購入をはじめ参考図書、授業関連図書等の資料整備を行った。

### <選書体制と収集方針>

- 平成16年度に策定した「学生用資料整備計画大綱」(附属図書館運営委員会決定)に基づき、各館室図書委員会にて学生用図書資料の範囲、選定体制・方法等の整備計画を立て、資料整備を行った。
- 総合図書館では、「総合図書館学生用資料整備計画」(附属図書館運営委員会決定)に基づき学生用資料整備を推進するため「総合図書館資料選定委員会」(構成委員は職員)を組織し、具体的な選書スケジュール、選書手順などについて検討し、資料整備を進めた。
- 総合図書館では、学生の声を資料選定に反映させるための試みとして、「学生選書ツアー」(学生が図書館に置いてほしい図書を、書店の店頭で直接手にとって内容を確認しながら選定するというもの)を平成22年度から実施している。本年度はジュンク堂書店三宮店において10月27日に店頭選書を実施した。あわせて14名の学生(学部生13名、院生1名)が参加して選書を行い、128冊を購入した。学生が必要とする資料の一層の充実を図るため、今後も、こうした取組を継続する方針である。

る。

### ＜選書評価＞

- 平成 18 年度から、前の年度に整備した学生用図書について、利用状況の分析等による収集資料の評価を開始し、平成 21 年度からは、各館室とも共通したフォーマットによる選定評価を行っている。本年度末には、前年度に整備した学生用図書の選定評価を実施し、構成と利用の面で選定が適切に行われたことを確認した。（令和 5 年度第 6 回附属図書館運営委員会で報告）

### ＜電子ブックの整備と利用結果＞

- 日本語の学術図書を中心に電子ブックを提供する Maruzen eBook Library の購入数（雑誌はタイトル数）と利用状況を下に示す。新型コロナウイルス感染症の流行を受け、令和 2 年度および令和 3 年度は購入数を大幅に増加し、利用数も大幅に増加した。前年度および本年度は購入数がコロナ禍前の水準に戻っているが、本年度の利用数は令和 3 年度と同程度を維持しており、電子ブックの利用が定着していることが伺える。

	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
購入数	176	95	249	209	593	839	229	230
(うち雑誌(誌数))			2	1	3	3	3	3
利用数	366	921	1,765	3,005	15,126	33,133	31,763	27,009
(うち電子ブックリクエストキャンペーンの試読)					3,356	5,855		

### ◆評価と課題

学生用資料費予算は前年度と同額を維持し、年度当初は執行を一部保留したが、最終的には予算額に応じた資料の整備を行った。今後も厳しい予算状況が続くと見込まれるが、教育・学習活動の支援のため可能な限り予算規模の維持が望まれる。

資料の選定については、選定評価の実施により適切に行われていることを確認しているところだが、電子ブックの利用が定着してきた現状を踏まえ、冊子と電子のブックの両方に配慮した選定を行い、コンテンツへのアクセス可能性を担保・拡充するような資料整備を進める必要がある。

### (3) 資料提供サービスと利用促進

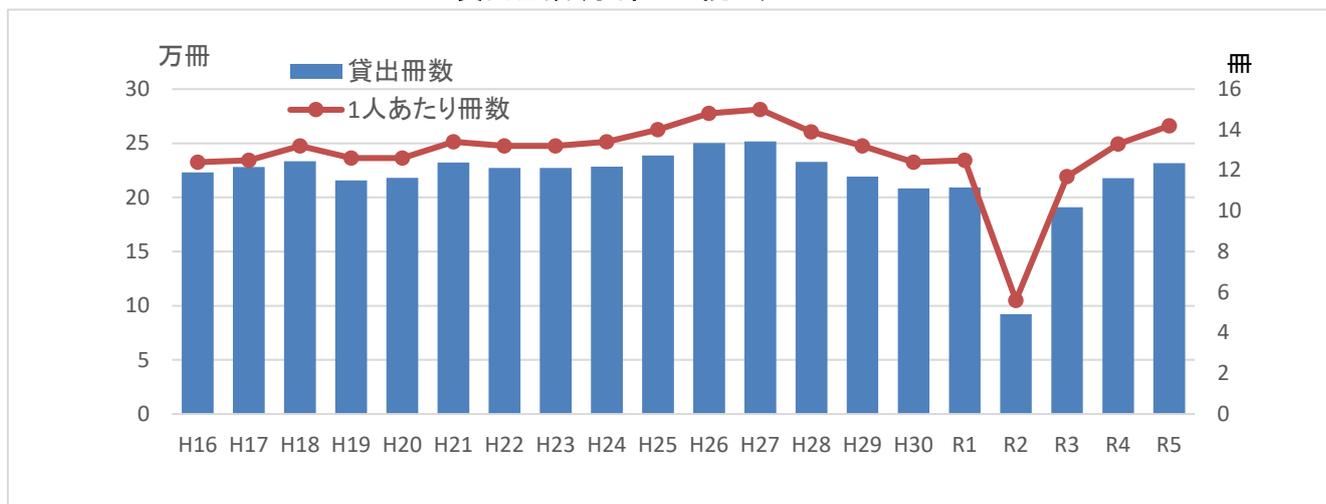
貸出及びデリバリーサービス（＝図書配送）冊数等の詳細は、＜付録＞基本統計表のとおりである。相互利用サービスについては、2（4）に後述する。

### ＜貸出サービス＞

平成 26 年 10 月から、対面による貸出の延長回数を無制限としているが、令和 2 年度から新型コロナウイルス感染症対策の一環として、Web サイトの「アカウントサービス」からの延長も無制限とし、以降通常サービスの一部として実施している。

## <貸出冊数（学部生・院生）経年推移>

### <貸出冊数(学部生・院生)>



平成 16～令和 5 年度の経年推移を上に掲げた。

- ・ 本年度の貸出冊数は 231,684 冊であり、前年度比約 1.06 倍となった。
- ・ 学生 1 人当たりの貸出冊数は 14.2 冊（前年度：13.3 冊）であった。
- ・ 学部生の貸出数は 135,594 冊、1 人あたりの貸出冊数は 11.7 冊（前年度比約 1.08 倍）、大学院生の貸出数は 96,090 冊、1 人あたりの貸出冊数は 20.3 冊（同約 1.05 倍）であった。

## <館室別学部生・院生貸出冊数>

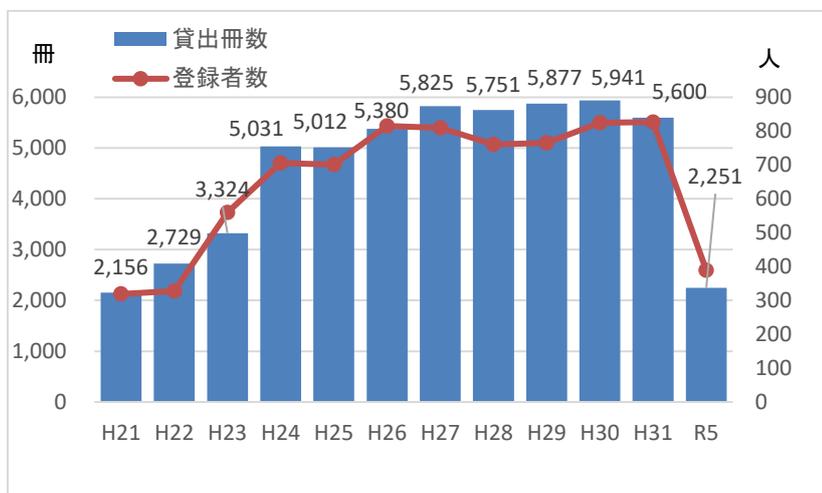
	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
R5/R4	0.97	0.65	-	1.13	0.99	1.05	1.22	0.96	0.95	1.06
R4 年度	57,831	75,901	0	20,167	23,832	1,272	6,051	13,173	19,425	217,652
R5 年度	56,286	49,713	39,497	22,866	23,484	1,333	7,393	12,590	18,522	231,684

- ・ 館室別の貸出数を前年度と比較した結果、前年度比にばらつきがみられた。社会科学系図書館で減少が目立つのは、前年度は自然科学系図書館改修工事に伴う対応の一環として、その蔵書の一部を配架して貸出しており（前年度は令和 3 年度と比較して 1.51 倍）、それが通常に復したのが大きな要因だと推察される。

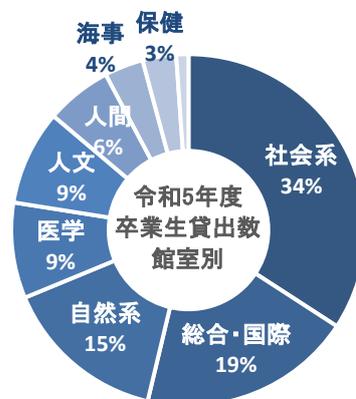
## <卒業生及び修了者に対する貸出>

本学卒業生及び修了者への貸出サービスは、平成 21 年 3 月に始まった。令和 2 年 4 月 9 日の臨時休館以降、在籍者以外の利用を停止していたが、令和 5 年 2 月 13 日から入館と貸出を再開した。本年度の登録者数は 389 名、貸出冊数は 2,251 冊と、サービス停止前の令和元年度と比較して、登録数は 47%、貸出冊数は 40%にとどまった。3 年間にわたりサービスを中断していた影響が現れていると考えられる。

### <卒業生貸出の推移>



### <卒業生館室別貸出冊数>



### <郵送貸出>

学生（学部生、院生）を対象に、郵送による資料貸出を実施している。令和2年度に新型コロナウイルス感染症対策の一環として開始し、以降定着したものである。ただし令和3年度以降は学生の入館制限が緩和・撤廃されたことで、利用件数は減少しており、局所的なサービスとなっている。件数は前年度と同じ、冊数は1/3となった。

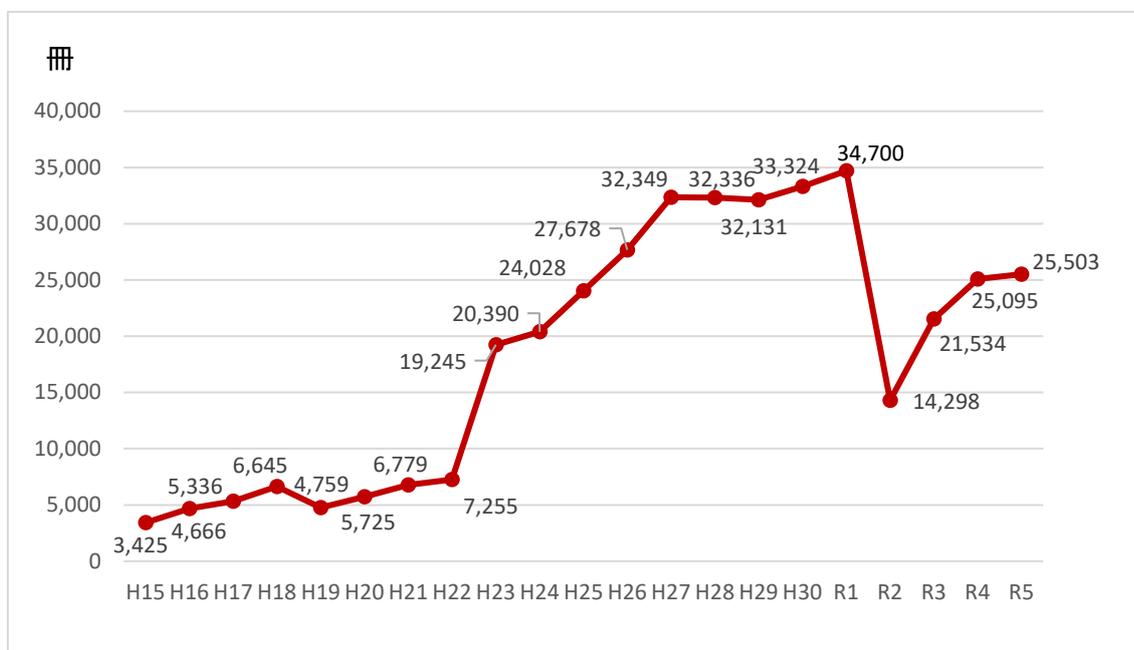
開始以降各年度の貸出件数・冊数

	R2		R3		R4		R5	
	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数
総合・国際	77	476	18	44	2	6	3	9
社会系	58	189	33	115	10	49	3	3
自然系	23	76	4	13	1	5	3	7
人文	83	243	9	20	0	0	3	3
人間	45	197	7	21	0	0	0	0
研究所	0	0	1	1	0	0	0	0
医学	15	29	1	5	0	0	0	0
保健	7	24	8	35	1	5	2	0
海事	6	16	4	10	0	0	0	0
計	314	1,250	85	264	14	65	14	22

## 《デリバリーサービス》

### <デリバリーサービスの推移>

#### <デリバリーサービス貸出冊数推移>



デリバリーサービスは、学内の図書館にある資料を最寄りの図書館に取り寄せるサービスであり、平成 12 年度後期に院生、教職員（異キャンパス間には学部生も）を対象に始まった。平成 23 年度から六甲台キャンパス内の学部生にサービスを拡大した。平成 27 年度には経済経営研究所図書館が加わり、全館室でサービスを利用できる体制が整った。

#### <館別デリバリーサービス取扱冊数>

	総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
R5/R4	1.03	0.77	-	0.81	1.03	0.97	0.93	0.90	100	1.02
R4 年度	12,178	10,333	0	14,506	5,874	768	1,474	1,698	3,359	50,190
R5 年度	12,510	7,910	5,787	11,745	6,058	746	1,731	1,529	3,350	51,006

- ・ 上の表は、館別に本年度の発送冊数と受取冊数を合算し、前年度と比較したものである。
- ・ 発送冊数と受取冊数を合算しているため、貸出冊数の 2 倍の数値になっている。
- ・ 本年度は、前年度の約 1.02 倍であった。社会科学系図書館と人文科学図書館で減少が目立つのは、前年度は自然科学系図書館改修工事に伴う対応の一環として、その蔵書の一部を社会科学系図書館に配架して貸出していたこと、人文科学図書館は受取館として自然科学系図書館の代替となっていたのが、本年度は通常に復したことが要因であると推察される。

#### <附属中等教育学校への図書貸出サービス>

附属中等教育学校に対する図書貸出サービスは、平成 24～28 年度の間、総合・国際文化学図書館と人間科学図書館の 2 館が所蔵する図書について「中等教育学校図書室」に後期課程生徒（高校生）向け図書の整備ができるまでの 5 年間限りの特別措置として始まった。その後これを継承するものとして、平成 29 年 3 月「附属中等教育学校への図書の貸出サービスに関する申し合わせ」が附属

学校部長と附属図書館長の間で締結され、平成 29 年度からは、配送による貸出サービスに加え、中等教育学校生徒が総合・国際文化学図書館と人間科学図書館に直接来館して貸出を受けることができるようになり、デリバリーサービスの集配場所に附属中等教育学校図書室を加えることで手続きの簡素化を図った。令和 2 年度からは試行として、前期課程 3 年次生（中学 3 年生）から利用可とするとともに、社会科学系図書館、自然科学系図書館の所蔵資料を配送貸出により利用可とし、令和 3 年 10 月からは試行として全館室の所蔵資料を配送貸出により利用可とした。この経緯を踏まえて、令和 4 年 8 月に「附属中等教育学校への図書の貸出サービスに関する申し合わせ」を改めて締結し、令和 2 年度以降の試行内容を前年度から正式サービスとした。

なお、令和 2 年 3 月以降は学外者同様、来館利用を停止していたが、令和 5 年 2 月 13 日から再開した。

### <貸出冊数>

カッコ内は直接来館による貸出数(内数)

館室名 /年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
総・国	134	11	0	246	135	92(37)	20(17)	264(261)	15	0	161(123)	232(179)
人間	7	25	7	7	54	3(3)	8(8)	3(3)	4	0	12	16(7)
社会系	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	19	18
自然系	-	-	-	-	-	-	-	-	0	3	13	0
その他 の館室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	14
合計	141	36	7	253	189	95(40)	28(25)	267(264)	23	5	211(123)	280(186)

※本年度の総合・国際における直接来館貸出数の大部分は、授業において教員引率のうえ見学で来館した際に貸出

※本年度のその他の館室貸出数の内訳：人文 5、医学 5、保健 1、海事 3

- ・ 本年度の貸出数はサービス開始以来最多となった。全館室の所蔵資料を配送貸出可としたことが結果に表れていると言える。

### 《利用促進》

#### <テーマ図書展示>

平成 26 年度から全館で共通テーマを設定して、所蔵図書館からテーマに沿った図書を館員が選び、期間を決めて展示する取組を実施している。

共通テーマ展示としては、従来と同様「レポート・論文の書き方」をテーマに設定し、複数館で実施した。各館で設定するテーマについても、専門とする分野に関連したものや、館の近隣で開催した展示会やイベント等にコラボしたもの、同一テーマでシリーズ化して複数回開催するなど、工夫して実施した。

展示の種類	テーマ	実施館	実施開始月
共通テーマ展示	レポート・論文の書き方	総合・国際文化学図書館	4月
		社会科学系図書館	4月
		人文科学図書館	4月
		人間科学図書館	4月
		経済経営研究所図書館	4月
		医学分館	5月
		保健科学図書室	4月
		海事科学分館	4月
テーマ展示	医学生による医学生のためのオススメ本	医学分館	4月
	イベント「芳香族神経衰弱」関連展示	自然科学系図書館	6月
	夏を感じる本	総合・国際文化学図書館	7月
	制度を考える	社会科学系図書館	7月
	夏休みに読みたい本	自然科学系図書館	7月
	人文学を解き放つ―第1弾―	人文科学図書館	7月
	LGBTQ+を知るための本	人間科学図書館	7月
	SDGsを考える(目標10~12)	経済経営研究所図書館	7月
	読んで楽しむ数学	海事科学分館	7月
	人文学を解き放つ―第2弾―	人文科学図書館	8月
	島を「読み」、旅する:誓子と旅(3)~島を詠む~の世界	人文科学図書館	9月
	学生希望図書:2018-2022	医学分館	9月
	体験談とルポルタージュ	保健科学図書室	9月
	映画で〇〇を考えてみた	総合・国際文化学図書館	10月
	ゲーム理論	社会科学系図書館	10月
	ファールブル&昆虫	自然科学系図書館	10月
	人文学を解き放つ―第3弾―	人文科学図書館	10月
	AI(人工知能)を知る本	人間科学図書館	10月
	SDGsを考える(目標13~15)	経済経営研究所図書館	10月
	「海事博物館企画展:近代日本 船のあゆみ~多種多様な船とその役割~」関連展示	海事科学分館	10月
	人文学を解き放つ―第4弾―	人文科学図書館	11月
	人権×経済・経営	経済経営研究所図書館	12月
	ぬくもりを感じる本	総合・国際文化学図書館	1月
	データ in 社会科学	社会科学系図書館	1月
	アルバイト学生のおすすめ本	自然科学系図書館	1月
	DESIGN it!	人文科学図書館	1月
	地球温暖化を考える	人間科学図書館	1月
	教員推薦図書	海事科学分館	1月
	医×コミュニケーション	医学分館	2月
	おうちで電子ブック(学内者限定)	保健科学図書室	3月

## <テーマ図書展示実施回数>

H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
31	37	44	49	47	50	12	37	36	38

## <イベント>

### ・読書マラソン

読書推進および図書館利用・貸出促進のための企画である。エントリーして図書館の本を読み、内容や感想を「読書のきろく」専用フォームから投稿するとポイントを獲得でき、そのポイント数によって図書館オリジナルグッズが貰えるというもの。前年度に続き4回目の実施となる。期間は11月15日～1月31日。

前年の実績を踏まえ、以下のようにいくつかの変更や新規取組を加えた。

- ・対象は自然科学系図書館を加えて全館室に変更
- ・景品獲得条件を3,6,10冊達成から1,4,7,10冊達成に変更
- ・蔵書検索(OPAC)の書評機能を使用して、投稿された「読書のきろく」の内容を当該図書の検索結果詳細画面の書評欄に表示(投稿内容の広報利用を承諾した参加者に適用)

異なり参加者数(1回でも読書の記録を送った参加者数)は31名、10冊達成した完走者は16名と、それぞれ前回の43名、19名から減少したが、参加者数のうち完走者の占める割合は52%で、前回の44%から増加している。これまでなかった傾向として、完走後も「読書のきろく」の提出を継続した参加者が数名いることが挙げられる。その全員が投稿内容の広報利用を承諾しており、OPAC書評欄への表示が投稿の動機となっていることがうかがえ、アンケート結果にも「他の人の書評を読めるので(満足度が高評価)」との回答があり、OPAC書評機能活用の可能性を感じさせた。



## ◆評価と課題

本年度の学部生・院生への貸出冊数は231,684冊であり、前年度比約1.06倍となった。一日あたりの入館者数が前年度比約1.4倍であるのと比べれば緩やかな増加ではあるが、貸出冊数はコロナ禍だった令和2～3年度を除けば平成30年度の208,442冊を底に増加傾向で、1人あたりの貸出冊数共々、平成28年度と同レベルに持ち直している。これは令和元年度の学部生貸出可能冊数上限の10冊への増加や、Webでの延長回数の無制限化といった施策も要因の一部と考えられる。

利用促進においては、本を借りて読むことを促進する来館型のイベント「読書マラソン」を前年度に続き実施したが、OPAC書評機能を活用して参加者の「読書のきろく」を公開したところ、これが投稿の動機となったとかがえる参加者が一定数確認できた。局所的ではあるが図書館のイベントが学生の読書欲を惹起させており、「読書推進・貸出促進」という目的の達成に寄与しているといえる。今後も来館型とオンラインそれぞれの利点を活用しつつ、利用促進に取り組んでいきたい。

#### (4) 図書館相互利用 (ILL) サービス

##### <相互利用サービス>

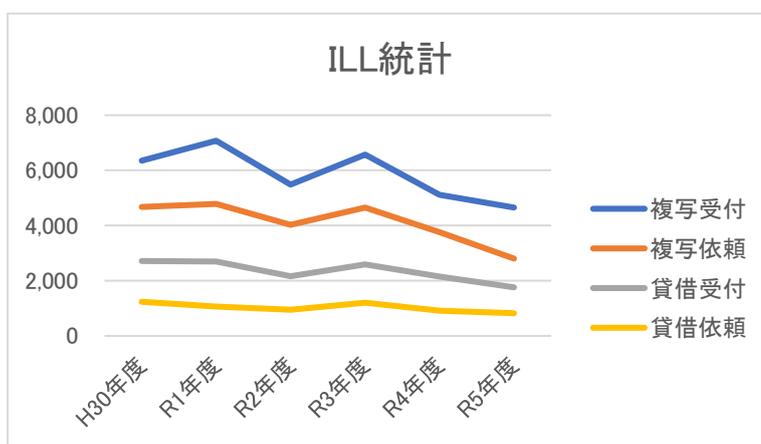
区分			総・国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
複写	受付	R5/R4	0.9	0.9	-	0.9	0.8	0.5	0.9	0.9	0.7	0.9
		R4年度	183	2,765	0	249	359	138	986	304	128	5,112
		R5年度	172	2,379	274	231	303	70	846	284	94	4,653
	依頼	R5/R4	0.6	1.0	0.3	0.8	0.8	1.8	0.8	1.1	0.5	0.7
		R4年度	420	470	773	892	563	51	273	260	56	3,758
		R5年度	263	489	224	729	474	94	221	279	29	2,802
貸借	受付	R5/R4	1.0	0.6	-	0.9	1.0	1.1	1.2	0.6	0.7	0.8
		R4年度	393	1,008	0	412	203	21	11	18	82	2,148
		R5年度	377	611	83	382	205	23	13	11	56	1,761
	依頼	R5/R4	0.8	0.9	0.7	0.9	1.4	1.0	0.4	1.3	0.8	0.9
		R4年度	153	154	89	418	55	4	10	4	32	919
		R5年度	118	141	63	386	77	4	4	5	24	822

- 館室によって増減はあるが、附属図書館全体として前年度と比べると文献複写の受付・依頼、貸借の受付・依頼が0.7~0.9倍と軒並み減少した。なお、自然科学系図書館は改修工事のため、前年度は複写・貸借いずれも受付を行わなかった。

#### ◆評価と課題

本年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、本学でも感染症対策として行っていた各種制限がなくなった。学外者の入館を可能としたことで来館型の資料利用が増え、他大学でも同様の対応が進み、本学の構成員が他大学の図書館を直接訪問して利用する機会が増えたこともあり、図書館相互利用 (ILL) サービスの文献複写の受付・依頼、現物貸借の受付・依頼はいずれも減少した。ただし、ILLサービスの利用件数の減少傾向は、電子ジャーナルや電子ブックの普及による影響もあり、新型コロナウイルス感染症対策を行う前から見られるものである。

一方で、社会科学系図書館の複写受付件数は、学内全体の約51%を占めており、同館が人文・社会科学系の外国雑誌センター館として、その責務を果たしていることがわかる。



## (5) 学生との協働及び学生参加型の取組

### <附属図書館学生チーム ULiCS>

学生との協働を目的に平成 27 年 10 月に発足した「附属図書館学生チーム ULiCS (うりくす)」は本年度末時点で 11 名が参加している。定例会として職員とのミーティングを 2 か月に 1 度程度開催し、それ以外に学生のみもしくは活動中のグループごとの打合せは随時行っている。本年度の活動状況は、以下のとおりである。

4 月	『The ULiCS Times』第 13 号発行。図書館での掲示・配布と HP での公開
4 月	新入生歓迎説明会自主開催、団体紹介冊子や新歓 Web サイトに新歓チラシ掲載
4 月	ULiCS 文庫①「はじまりの一文」(総合・国際文化学図書館内 ULiCS 展示スペース)
4/30	まごまご読書倶楽部(読書会)①テーマ「自然」(Zoom にて)
5 月	ULiCS 文庫②(総合・国際文化学図書館内 ULiCS 展示スペース)
5/17	まごまご読書倶楽部(読書会)②テーマ「初夏」(Zoom にて)
5/19	ULiCS 第 1 回定例会(自然科学系図書館 4 階会議室)
6 月	ULiCS 文庫③「コーヒーと一緒に読みたい本」(総合・国際文化学図書館内 ULiCS 展示スペース)
6/1~13	ULiCS 企画イベント「知るカフェコラボ企画」(総合・国際文化学図書館 ULiCS 展示スペース)
6/27	ULiCS 第 2 回定例会(自然科学系図書館 4 階会議室)
7/3	まごまご読書倶楽部(読書会)③テーマ「休日にじっくり読みたい本」(総合・国際文化学図書館グループ学習室)
8/3	まごまご読書倶楽部(読書会)④テーマ「氷」(Zoom にて)
8/7	ULiCS 第 3 回定例会(自然科学系図書館 4 階コラボレーションルーム 1+Zoom)
8/29	まごまご読書倶楽部(読書会)⑤テーマ「田舎と旅」(Zoom にて)
9/29	まごまご読書倶楽部(読書会)⑥テーマ「自分にとって旬な本」(Zoom にて)
10 月	『The ULiCS Times』第 14 号発行。図書館での掲示・配布と HP での公開
10 月	新入生歓迎説明会自主開催、団体紹介冊子や新歓 Web サイトに新歓チラシ掲載
10/19	ULiCS 企画イベント「全国大学ビブリオバトル 2023 予選会」主催
11/2	ULiCS 第 4 回定例会(自然科学系図書館 4 階コラボレーションルーム 1+Zoom)

12/8	ULiCS 企画イベント「学生選書ツアー交流会」(選書 WG と共催)
1 月	『The ULiCS Times』ビブリオバトル開催報告特別号発行。図書館での掲示・配布と HP での公開
1/9	まごまご読書倶楽部(読書会)⑦テーマ「地元の本」(総合・国際文化学図書館グループ学習室)
1/19	ULiCS 第 5 回定例会(社会科学系図書館 6 階会議室での対面と Zoom にて)
3 月	『The ULiCS Times』第 15 号を校了。4 月初旬から配布・公開予定
3/22	ULiCS 第 6 回定例会 (Zoom にて)
3/25~4 月	ULiCS 文庫④「はじまりの一文(第 2 弾)」(総合・国際文化学図書館内 ULiCS 展示スペース)

上記以外に、メンバー募集のための新歓ポスターの作成や X による広報を行っている。

(例：定例会の開催報告を発信、質問箱の設置など)

ULiCS の活動に関する職員側の対応は、図書館アウトリーチ WG が担当している。

#### <学生協働関連イベント等の企画・開催>

コロナ禍での経験を活かし、対面とオンラインとのハイブリッドによるイベント開催を継続。本年度は初めて「全国大学ビブリオバトル予選会(地区大会)」を主催した。また、図書館職員 WG との初めての共催イベント「学生選書ツアー交流会」も開催し、活動の可視化促進も行えた。

#### <その他の企画>

##### 「うりくす文庫」

総合・国際文化学図書館 2 階展示コーナーにて、約 2 か月に 1 度の更新頻度で実施中。

##### 「まごまご読書倶楽部」

図書館に対し勉強以外でも気軽に利用できる場という認識を普及させ、また読書を身近に感じてもらおうという目的で企画、継続的に開催している持ち寄り読書会。

#### ◆評価と課題

ULiCS は、発足 8 年目となった。前年度に続き、定例会や読書会の対面とオンライン併用型での開催、定例会をおおよそ 2 か月毎開催、また ULiCS の企画イベントを複数開催できたのは評価できる点である。参加学生数の多寡や個々人の忙しさによって活動メンバーが固定され気味であることは引き続きの課題であるが、企画発案も活発になり、徐々にチームが自発的に活動できるようになっている。活動が維持できるよう引き続きサポートに努めたい。

### (6) 情報リテラシー教育の推進支援

#### <情報基礎>

- ・ 全学共通授業科目「情報基礎」は平成 20 年度から 1 コマ全体(90 分)が「情報の活用」にあてられ、情報リテラシー係と各館室のサービス係員を中心に構成される「情報リテラシー教育支援 WG」が担当している。
- ・ 本年度は 5 月を中心に実施し、学部新入生全員に補講受講者を加えた 2,641 人(23 クラス)が受講

した。

- ・ 令和 2 年度から、BEEF（神戸大学 LMS）やその後継の BEEF+を活用したオンデマンド型遠隔授業として実施している。
- ・ 教材として授業内容をまとめた動画を作成し、附属図書館公式 YouTube チャンネルから公開した。また、授業の質問は専用のフォームおよびチャットから受け付けた。
- ・ 授業内容は、図書館 Web サイトや各種 Web サービス、電子ブックの閲覧方法、データベースの紹介のほか、OPAC と CiNii Books を使った検索実習、資料の引用方法等、初歩的な内容としている。
- ・ ちからだめし（授業の理解度テスト）の正解率は本年度も高く、全クラスの平均正解率はすべての設問で 8 割以上となった。
- ・ 授業後の受講生アンケートは、すべての項目で肯定的な回答が 9 割を超えた。
- ・ 授業後の受講生アンケートや教員からの意見等を踏まえ、次年度に向けて授業内容やテキスト、課題、ちからだめしの再検討を行った。

### ＜初年次セミナー＞

- ・ 平成 28 年度から設けられた各学部専門科目「初年次セミナー」では、各館サービス係が中心となり、教員の希望に沿った図書館ツアーや検索ガイダンスを計画、実施している。

実施日	内容	回数	人数	場所
4/17	[理学部 化学科] 図書館の利用案内、文献検索の方法	1	30	理学研究科棟
4/21	[国際人間科学部 環境共生学科] 人間科学図書館の説明	1	79	鶴甲第 2 キャンパス
4/21, 4/28	[国際人間科学部 グローバル文化学科] 総合・国際文化化学図書館の館内ツアー	11	150	総合・国際文化化学図書館
4/21, 4/28	[文学部] 人文科学図書館の館内ツアー	8	105	人文科学図書館
4/21, 4/28	[海洋政策科学部] 海事科学分館の館内ツアー	5	200	海事科学分館
4/21, 4/28 5/12	[経済学部] 社会科学系図書館の館内ツアー	6	223	社会科学系図書館
4/24, 5/8, 5/15, 5/22	[法学部] 社会科学系図書館の館内ツアー、 文献検索の方法* *文献検索の方法は 4 クラスのみ実施	9	177	社会科学系図書館 六甲台第 1 キャンパス
4/25	[経営学部] 社会科学系図書館の館内ツアー	1	270	社会科学系図書館
4/28	[工学部 応用化学科] 自然科学系図書館の館内ツアー、 図書館の利用案内	1	104	自然科学系図書館 工学研究科棟
5/2	[国際人間学部 子ども教育学科] 人間科学図書館の館内ツアー、 文献検索の方法	1	47	人間科学図書館 鶴甲第 2 キャンパス
5/12	[工学部 応用化学科]	1	110	社会科学系図書館

	社会科学系図書館の館内ツアー			
	合計	45	1495	

### <ガイダンス等>

- ・ 情報リテラシー係と情報リテラシー教育支援 WG メンバーが中心となり、以下の表のとおり、ガイダンス等を実施した。
- ・ 実施方法は、対面またはリアルタイムでのオンライン実施、オンデマンド型授業のための資料提供がある。
- ・ 図書館主催ガイダンスは、ベンダーに講師を依頼したデータベース講習会を除き、要点をコンパクトにまとめた動画を「ひとくち resource discovery」シリーズとしてオンデマンド型で限定公開して実施した。
- ・ 対面やオンラインのガイダンスは、実施後に動画を公開している（ベンダーに講師を依頼した講習会と一部のオンデマンド型ガイダンスは学内限定公開）。
- ・ 例年4月ごろに各館室が新入生向けの図書館ツアーを実施しており、本年度は保健科学図書室を除き、利用者が各自で館内を見学するセルフツアーとした。

### ◆オーダーメイドガイダンス，図書館ツアー（職員が講師を担当）

実施日	実施方法	内容	回数	人数
4月～	対面	各種データベース(OPAC・論文データベース・文献管理ツール)の使い方、参考文献の書き方等を依頼者の希望に沿って実施	20	448*
	対面+オンライン		2	22
	オンデマンド(動画)		14*	492*
<b>合計</b>			<b>36</b>	<b>962</b>

\* 回数、参加人数は概数

### ◆図書館主催ガイダンス

#### (オンデマンド型ガイダンス)

実施日	実施方法	内容	回数	人数
7/7～7/21	オンデマンド(動画)	ひとくち resource discovery(OPAC 編)	-	56
7/7～7/28, 8/25～9/8	オンデマンド(動画)	ひとくち resource discovery (CiNii Research 編 01～04)	-	46
7/21～8/4	オンデマンド(動画)	ひとくち resource discovery (デジタルアーカイブ編)	-	18
7/28～9/1	オンデマンド(動画)	ひとくち resource discovery (Web of Science 編 01～03)	-	57
9/1～9/15	オンデマンド(動画)	ひとくち resource discovery(取り寄せ&ILL 編)	-	7
9/8～10/6	オンデマンド(動画)	ひとくち resource discovery (EndNote online 編 01～03)	-	15
9/29 ～10/13	オンデマンド(動画)	ひとくち resource discovery (新聞記事(日本語)編)	-	12
<b>小計(職員担当分)</b>			<b>-</b>	<b>211</b>

(ベンダーに講師を依頼)

実施日	実施方法	内容	回数	人数
4/25, 10/26	オンライン	Web of Science 講習会	4	78*
6/20	オンライン	SciFinder Discovery Platform 講習会	1	4
10/19	オンライン	eol 講習会	1	6
11/14	オンライン	ジャパンレヅジ Lib オンライン講習会	1	4
小計(ベンダー担当分)			7	92
合計			-	303

\* 参加人数は申込者数

◆その他(職員派遣)

実施日	実施方法	内容	回数	人数
4月	対面	新入生オリエンテーション等	4	419*
	オンライン		1	370*
	オンデマンド(動画)		-	228
合計			-	1017

\* 参加人数は概数

◆新入生向け図書館セルフツアー

実施日	会場	内容	人数
4/3~4/30	総合・国際文化学図書館	館内に設置されたクイズに答えながら施設・所蔵資料・図書館サービス等について知る	56
4/3~4/30	社会科学系図書館		22
4/17~5/31	自然科学系図書館		48
4/3~5/31	人文科学図書館		41
4/6~5/31	人間科学図書館		36
4/3~4/28	医学分館		4
4/3~5/31	保健科学図書室*		4
4/3~6/8	海事科学分館		6
4/3~4/28	経済経営研究所図書館		0
合計			217

\* 保健のみ職員によるツアーを2回実施

<パスファインダー-KULIP>

- 平成 25 年度から、図書館による学修支援の一環として KULiP (クリップ/Kobe University Library Pathfinder) を運用している。授業シラバスに沿った指定書および授業内容に関連した資料を担当教員のコメント付きで紹介する「授業資料ガイド」に、「資料/情報の探し方ガイド」「セルフラーニング(セミナーやガイダンス配布資料等)」を加え、総合的パスファインダーとして発展させてきた。本年度は「授業資料ガイド」を 41 件作成(累計 92 件)した。また「セルフラーニング」を 17 件(オンデマンド型ガイダンス「ひとくち resource discovery」シリーズを含む)新規作成(累計 58 件)し、12 件更新した。
- 「授業資料ガイド」で紹介した資料を各館室の別置スペースに配架してきたが、場所の確保や業務省力化の観点から、本年度以降は資料の別置を必須としないことにした。

### <チャットによるレファレンス>

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により来館が難しい利用者に対するサービスとして、令和2年5月に、チャットによるオンラインレファレンス（利用案内／参考調査）の受付を開始した。利用者にとっては来館やメール送信による問い合わせよりも敷居が低いと考えられ、本年度も継続して行った。
- ・ 問い合わせの内容は開館時間の確認、アカウントサービス（貸出期間の延長や予約等）に関するもの、データベースの使い方、文献調査等、多岐にわたる。
- ・ 本年度のチャットによるレファレンス実績は以下のとおり。

(件数)

問い合わせ項目	R2	R3	R4	R5
1. 施設案内	2	2	4	7
2. 学内所在調査	4	8	22	9
3. 文献調査	11	28	12	4
4. 端末関係質問	2	2	3	0
5. 図書館サービス案内	119	153	111	134
6. その他	8	15	30	15
合計	146	208	182	169

### <広報>

- ・ ガイダンスやイベントの情報はポスター、チラシ、図書館および大学 Web サイトのお知らせ欄、X 等、さまざまな媒体を通じて広く発信することを心掛けている。
- ・ 平成27年度から運用を開始した公式 X では、速報性を重視するとともに、各館のユニークな発信を心がけている。とくに災害による臨時閉館やシステム停止等、速報性が求められる告知において重要なツールとなっている。

### <スカベンジャーハント>

自然科学系図書館のリニューアルオープンイベントとして、図書館の蔵書やデータベースを使うことの有用性を知ってもらうことを目的に、4月17日～5月31日に実施した。検索エンジンを使うだけでは解けない問題を館内に設置したヒントを頼りにレファレンスブックやデータベース等を使って解答するもので、50名から解答の提出があった（問題用紙配布は188名）。

また、6月14日に成績上位者表彰と模範解答と解答への辿り着き方を解説するイベント「お疲れさまでした会」を開催し、18名が参加した。アンケート回答には「ネットでなんでも検索できるような錯覚に陥ってしまうこともあります。図書館の素晴らしさを再認識することができました。」「すごく凝っていたクイズでびっくりしました。難問でも図書館にある資料で解決できるところがおもしろかったです。」等の意見が寄せられ、参加者の満足度の高いイベントとなった。

### ◆評価と課題

全学1年生の必修科目「情報基礎」は、図書館にとって大学教育に直接的な貢献ができる機会であることに加え、図書館利用者の教育という面でも大きな効果がある。令和2年度からオンデマンド型遠隔授業として実施するため動画教材を提供しているが、授業内容を問う「ちからだめし」の正解率は対面授業で実施した年度よりも高く、授業後のアンケートでも、分かりやすかったという回答が多数見られた。

開講から8年目となる「初年次セミナー」は、授業で図書館を活用できることが教員に認知されつつ

ある。オンデマンド型で実施される「情報基礎」に対し、館内ツアーの依頼が多い初年次セミナーは、学生が実際に図書館に足を運び図書館利用法を学ぶ貴重な機会であることから、さらに多くの授業へ拡充できるよう教員への広報に努めるとともに、実施体制の整備を行いたい。

前年度実施したガイダンスに関する全学アンケートでオンデマンド形式を望む声が多かったことから、図書館主催ガイダンスは、外部講師によるガイダンスを除き、動画配信によるオンデマンド型ガイダンスとして実施した。参加者は好きな時間に受講が可能になるとともに、職員も実施時間の検討や会場確保等が必要なくなり業務の効率化につながっている。

オーダーメイドガイダンスは、学科・専修単位で毎年実施している例もあり、専門分野における情報リテラシー教育支援の一例として、今後も継続する意義がある。また、依頼者が所属する学部・研究科のサポート館職員が講師を担当することから、職員のレファレンス・ガイダンススキル向上に資する機会ともなっている。

パスファインダーKULiPの「授業資料ガイド」は、全授業数に占める割合が極めて限られていることから、教員への効果的な広報を検討する必要がある。

開始から4年となったチャットによるオンラインレファレンスは、回答を受け取るまでの時間が短く、利用者にとって気軽に利用できる有用なサービスのため、今後も継続したい。

## （7）利用者アンケートの実施

附属図書館のサービス改善に資するため、1月18日から2月29日までの43日間にわたって利用者アンケートを行った。平成17年度、21年度、26年度、令和2年度に続いて5回目の実施となった。来館利用の動向をはじめ、設備・環境、来館サービス、Webサービス、広報等への満足度や要望などを主な調査項目として設定した。回答方法としてWebフォームを採用した。また回答へのインセンティブとして、希望する学生に抽選で景品を提供した。本学在籍者から回答を受け付け、回答数は1,062件で、過去の実施と比べると回答数は最も少なかった。結果の詳細は<付録>図書館利用者アンケート結果のとおりである。

## 3. 学術研究支援

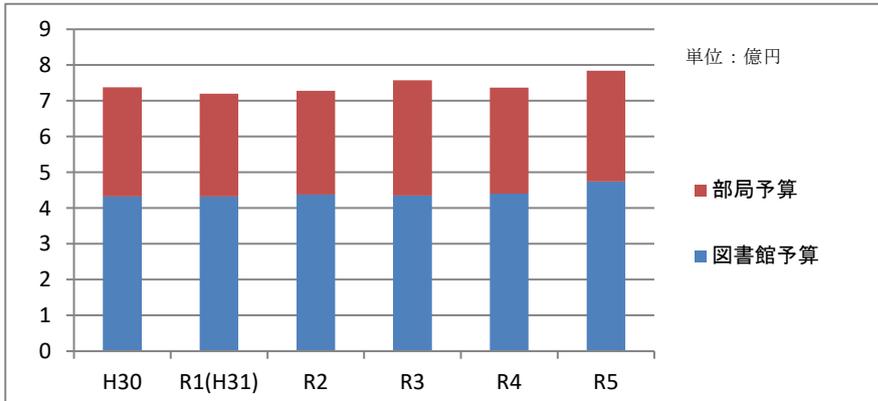
### （1）研究用資料の整備

各館室の蔵書数、受入図書冊数、資料費等は<付録>基本統計表のとおりである。

#### <資料受入状況>

- ・ 学生用資料を含む大学全体の資料費は、約7.85億円で前年度から約0.47億円増となった。
- ・ 図書館予算分（電子ジャーナル・データベース等の提供維持経費「教育研究基盤資料整備費」を含む）は約4.74億円となり、前年度から約0.34億円増となった。これは平成30年度比で約0.41億円増加した。また部局予算分は約3.1億円となり、前年度から約0.13億円増となり、平成30年度比で約0.06億円増加した。

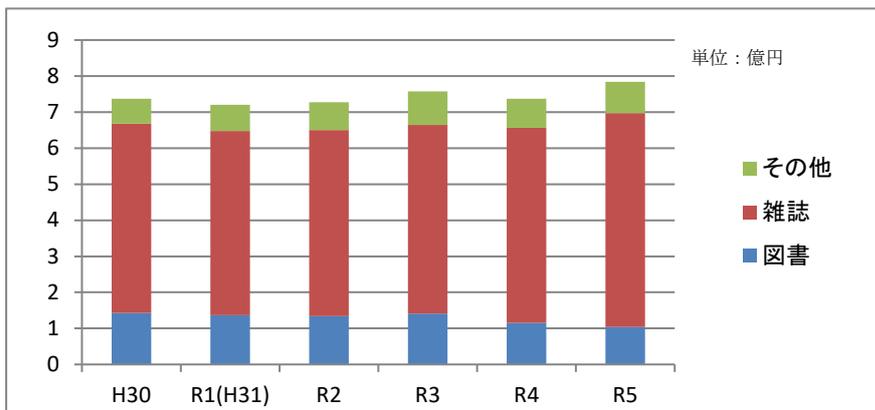
### ＜資料費経年推移＞



\* 教育研究基盤資料整備費は  
図書館予算に含む

- 「教育研究基盤資料整備費(電子ジャーナル・データベース等)」は、約 4.03 億円 (決算ベース) が措置され、前年度から約 0.29 億円増となった。これは平成 30 年度比で約 0.44 億円増加した。
- 学生用資料を含む大学全体の資料の用途別では、平成 30 年度比で図書が約 0.39 億円減少し、雑誌 (教育研究基盤資料を含む) は約 0.68 億円増加した。

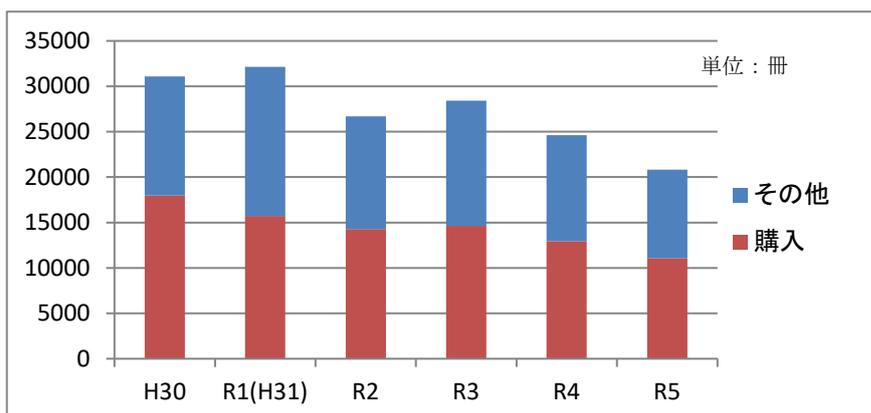
### ＜資料費の用途別内訳推移＞



\* 電子ジャーナル等は  
雑誌として計上

- 年間の受入図書冊数 (購入) は図書購入費減少の影響を受けて、平成 30 年度比で約 0.7 万冊減少した。また製本予算の縮減も影響して年間約 3 万冊以上あった総受入図書冊数は約 2 万冊となった。

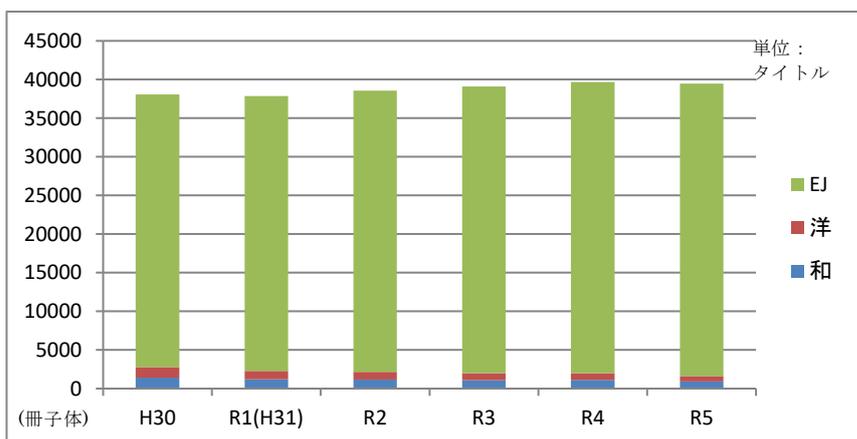
### ＜受入図書冊数経年推移＞



\* 「購入」は一般財源のみ、  
科研費等は「その他」とした

- 雑誌（冊子）購入タイトル数は1,643タイトルとなり、前年度から358タイトル減となった。平成30年度比で和雑誌は約34%減、洋雑誌は約48%減と大きく減少した。一方、電子ジャーナルタイトル数は平成30年度比で約7%増の約3.78万タイトルである。

### <購入雑誌数経年推移>



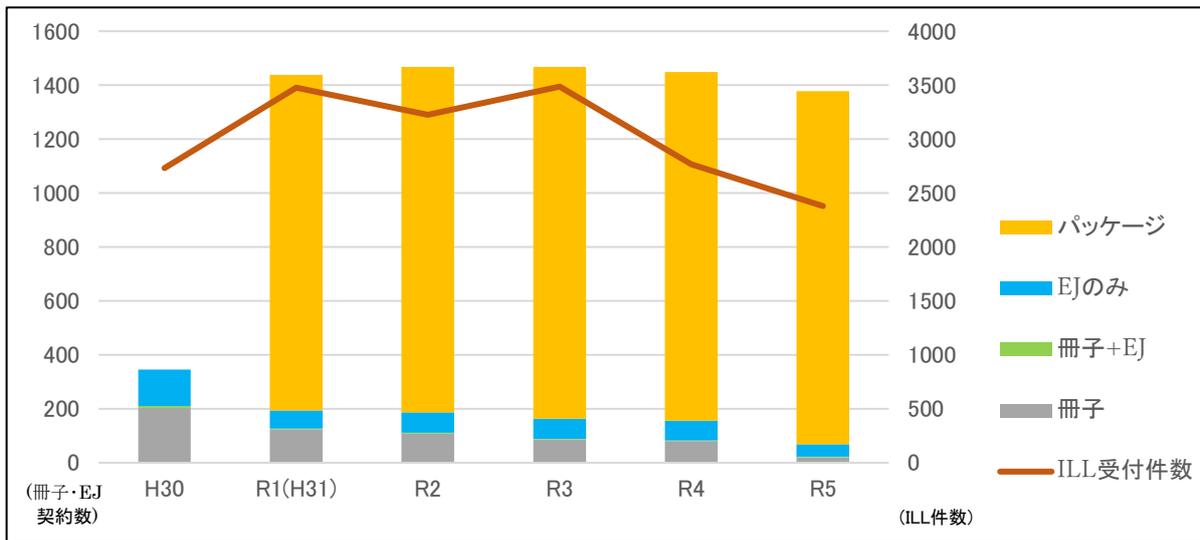
### <外国雑誌センター館>

- 昭和61年度に「人文・社会科学系外国雑誌センター館」の指定を受け、国内での所蔵館が3館以内の外国雑誌を体系的に収集し、全国共同利用に供している（配架は社会科学系図書館）。分野別の外国雑誌センター館は全国で計9大学に設置され、人文・社会科学系は一橋大学と神戸大学の2大学で分担収集を行っている。
- 平成20年度の外国雑誌センター館会議で、従来の冊子に加え電子ジャーナルもセンター館誌として収集の対象とすることが確認された。
- 本年度の外国雑誌センター館予算は、附属図書館予算の約1割とし、前年度より0.1億円減となったものの0.25億円を確保した。
- 令和元年度からは、国内で導入実績の少ない人文・社会科学系の電子ジャーナルパッケージ（SAGE, EMERALD, CAIRN）について、外国雑誌センター館からの経費負担を増やしてパッケージ購読を開始し、本年度も継続維持することとした。

		R1(H31)	R2	R3	R4	R5
SAGE	契約誌数	552	569	559	535	530
	アクセス数	15,244	14,144	16,862	23,354	20,280
EMERALD	契約誌数	212	213	217	208	213
	アクセス数	9,633	8,924	11,568	12,918	12,836
CAIRN	契約誌数	480	499	528	550	565
	アクセス数	675	529	760	691	624

- ILL 複写サービスについては、他機関からの複写依頼を常時受け付け、迅速な対応により外国雑誌センター館としてのサービス体制を継続している。

＜冊子体・EJ 契約数（外国雑誌センター）と ILL 受付件数（社会科学系）の推移＞



◆評価と課題

第4期中期計画期間前半（令和4～6年度）の教育研究基盤資料整備費について、令和2年度に部局長会議（10月8日）で4.1億円を上限とすることが承認された。その承認に基づき本年度は「教育研究基盤資料整備費」約4.03億円（決算ベース）が措置され、電子ジャーナル及びデータベースは前年度の契約規模を維持することができたが、価格の高騰や円安の影響により前年度から約0.29億円増となった。令和6年度の所要額（見込）は約0.21億円増の約4.24億円を予定しているが、価格の高騰や為替の影響により令和7年度以降の整備方針について検討をおこなう必要がある。

附属図書館運営経費は、本年度当初予算は約2.51億円で前年度から約0.04億円減（約1.6%減）となった。附属図書館図書資料費の確保が困難となっているが、本年度は前年度から約0.1億円減の約0.7億円の当初予算を確保した。しかしながら、資料本体の値上げ等により、全体の購入資料数は減少を続けている。

外国雑誌センター予算については、附属図書館予算の約1割を目標とし、前年度から0.1億円減となったものの0.25億円を確保した。近年は予算抑制と円安の影響を受けて購入タイトル数が減少傾向にあり、ILL受付件数も減少している。外国雑誌センター館の責務として国立情報学研究所目録所在情報サービス（NACSIS-CAT）に所蔵情報を提供し、全国からの利用に対応する体制をとっている。

今後、物価の高騰や雇用単価の値上げ等により経費負担が増える見込みのため、学生用資料費や外国雑誌センター予算の見直しを検討する必要がある。

（2）電子的情報基盤の整備

＜外国雑誌と電子ジャーナル＞

有料で導入している主な電子ジャーナルは次のとおりである。

	分野	導入年	誌数	範囲	備考
ScienceDirect (Elsevier)	全分野	H14	2,260	1995～	コンソーシアム契約によるフリーダムコレクション(うち約2,000誌は創刊号から)

SpringerLINK (Springer Nature)	多分野	H14	2,240	2000～	R5.1 から転換契約へ移行 主要部分は創刊号から
Wiley Online Library (Wiley)	多分野	H14	1,350	1997 前後～	発行のほぼ全タイトル(一部は創刊 号から)
JSTOR	自然科学 及び社会 科学	H14	1,560	創刊号～ (最近 3～5 年は対象 外)	Arts & Sciences I (H14～) Arts & Sciences II (H17～) Arts & Sciences III (H19.3～) Arts & Sciences IV (H18.3～) Arts & Sciences V (H23.1～) Arts & Sciences VI (H23.1～) Arts & Sciences VII (H21.4～) Arts & Sciences VIII (H23.1～) Arts & Sciences IX (H23.1～) Life Sciences (H15～) Business III (H23.1～)
Nature および関連誌	自然科学	H15	26	創刊号～	
AAAS Science Online	自然科学	H15	1	1997～	
APS	物理系	H16	10	創刊号～	米国物理学会
Cell Press	生命科学	H16	9	1995～	ScienceDirect で利用
LWW via Ovid	医学臨床	H16	17	1996～	パッケージ購読は 2015 年度まで
ACS	化学系	H16	66	創刊号～	米国化学会
Oxford University Press	多分野	H17	260	1996～	2014 年時点のほぼ全タイトル(一部 は創刊号から)
Cambridge University Press	多分野	H18	410	1997～	発行のほぼ全タイトル(一部は創刊 号から)
AAS Historical Periodicals Collection	多分野	H29	4,000	1684～1912	アメリカ古書協会
Academic OneFile	多分野	H30	10,000		
General OneFile	多分野	H30	10,000		
Cairn.info	社会科学 人文科学	H30	550	2001～	フランス語の学術雑誌
Emerald	社会科学	R01	210		Management eJournal Portfolio
SAGE	社会科学 人文科学	R01	550	1999～	PHSS2014

大手 5 社 (Elsevier、Wiley、Springer Nature(Springer Link)、Oxford University Press、Cambridge University Press) については、基本的に各社が発行する電子ジャーナルの多くのタイトルが利用できる電子オンリーの包括利用契約を行っている。

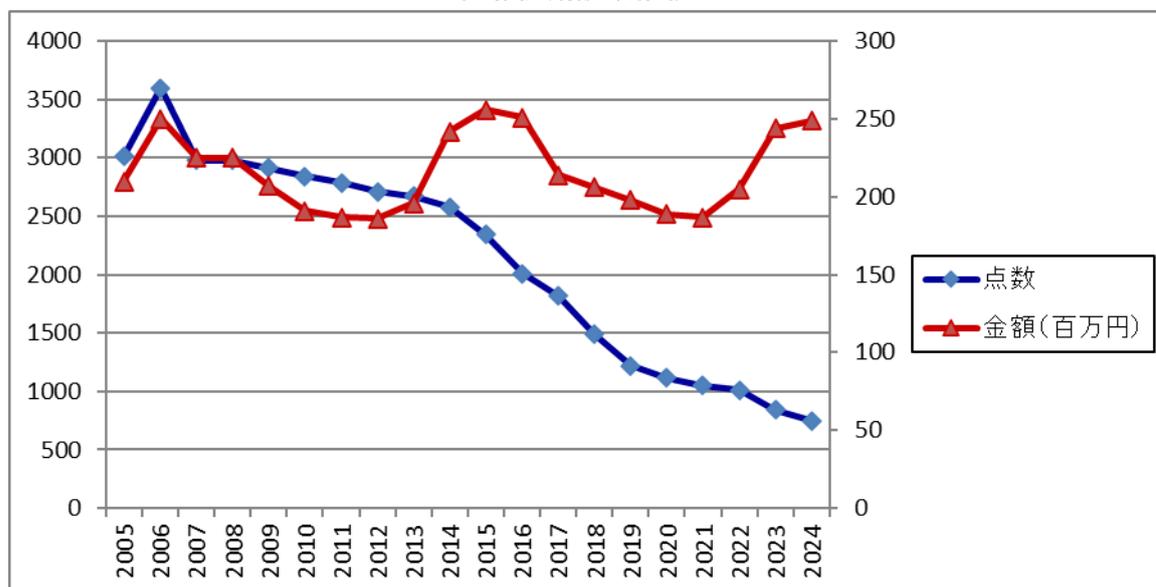
その他、単体で購読しているもの等も加えて、本年度末における電子ジャーナル購読数は 37,836 タイトルとなっており、前年度の規模を維持している。

各電子ジャーナルの利用状況は「電子的情報サービスの現況 (R5・2023 年度)」のとおりである。

2024 年外国雑誌の契約は、前年と比較して点数は減少しているが、円安の影響により契約金額は増加している。

契約点数 2023 年 840 点 → 2024 年 750 点 (10.7%減)  
 契約金額 2023 年 約 244 百万円 → 2024 年 約 249 百万円 (2.0%増)

＜外国雑誌購読数推移＞



＜データベースの整備＞

導入している主なデータベースは次のとおりである。(全て Web アクセス)

	分野	導入年	範囲	備考
Web of Science Core Collection	全分野	H15	1900～	H15 SCIE 導入 H21 SSCI, AHCI 追加 H22 バックファイル追加 H29 Citation Connection 追加
Journal Citation Reports	全分野	H17		
MathSciNet	数学	H13	1940～	
SciFinder <sup>®</sup>	化学	H16	1840～	R2 SciFinder から移行 利用申請が必要
Readers' Guide to Periodical Literature	一般雑誌	H6	1983～	H18.4 から Web 版に変更 同時アクセス 1
EconLit	経済学	H3	1969～	同上 同時アクセス 4
Index to Legal Periodicals & Books	法学	H3	1981～	同上 同時アクセス 1
Business Source Premier	経営学	H22		
PsycINFO	心理学	H22		
PsycARTICLES	心理学	H22		
CINAHL	看護学	H22		
HeinOnline	法学	H22		アクセス制限なし
Lexis	法学	H22		R2 「Lexis Advance」から名称 変更 利用申請が必要

Westlaw Next	法学	H22		「Westlaw International」から H28 に名称変更
OECD iLibrary	多分野	H22		H22 に「Source OECD」から名 称変更
医学中央雑誌	医学	H5	1983～	Web 版は H14 から 医学・保健にサービス
メディカルオンライン	医学	H22		
官報	官報記事	H18	1947.5～	同時アクセス 1
日経テレコン 21	新聞記事等	H18	1975～	H19.7 から全学利用可 同時アクセス 20
*JapanKnowledge	全分野 (辞典等)	H17		同時アクセス 5 H28 からアクセス数 1 追加
*ざっさくプラス	国内雑誌記 事	H26	1867～	同時アクセス 1 H28 MAGAZINEPLUS から切 替
*JDreamIII	科学技術・ 医学・薬学	H19		同時アクセス 10 H25 JDreamII から変更
*朝日新聞クロスサーチ	新聞記事	H12	1879～	R4 年 3 月「聞蔵 II ビジュアル」 から名称変更 同時アクセス 3
*ヨミダス歴史館	新聞記事	H21	1874～	同時アクセス 1
*毎索	新聞記事等	H21	1872～	H23「毎日 News バック」から名 称変更 同時アクセス 2
*ナクソス・ミュージックライブラリー	音楽	H26		同時アクセス 5

※タイトル先頭に\*を付したものは「e-study 資料費」により契約している。

※各データベースの利用状況は「電子的情報サービスの現況(R5・2023 年度)」のとおりである。

### <電子ブックの整備>

学内で利用できる主な電子ブックは次のとおりである（全て Web アクセス）。利用可能な総冊数は本年度末時点で約 5 万冊である。

	分野	導入年度	タイトル数	主な内容
EBSCO eBooks	多分野	H22	650	
ScienceDirect (Elsevier)	多分野	H20	1,000	レファレンスワーク Handbooks in Economics Methods in Enzymology
Emerald	経営学、経済学	H21	1,200	Business, Management and Economics eBook Series Collection
LWW	医学	H21	150	Doody's Core Collection
Oxford University Press	他分野	H22	740	Oxford Handbooks Online Oxford Reference
Springer Nature	他分野	H17	14,000	Mathematics and Statistics コ レクション
Maruzen eBook Library	多分野	H26	2,700	
JKBooks (JapanKnowledge)	国文学、国史	H27		群書類従(正・続・続々) 鎌倉遺文 新訂増補 国史大系 史料纂集

## ◆評価と課題

電子ジャーナルおよびデータベースは研究者（大学院生を含む）にとって必要不可欠な学術情報基盤であり、総ダウンロード数は教育研究基盤資料整備事業によるもので約140万件と、総体として非常によく利用されている。神戸大学では平成17年度および平成20年度に出された2つの附属図書館審議会答申に基づき電子リソースに関わる基盤整備を行っている。また、基盤整備に充当する教育研究基盤資料整備費のあり方について、第4期中期計画期間の前半・後半各3年間を単位として検討の上、整備にあたってきたところである。

今第4期中期計画期間の前半（令和4～6年度）においては、令和3年度までの購読内容を維持し、経費節減の効果が見込めるものについては複数年契約を行うこととして、部局長会議（令和2年10月）にて承認を得たところである。

しかし、円安の進行によって令和6年度の所要見込も増加しており、今後の購読内容の検討は喫緊の課題である。

一方で、一部の出版社から転換契約\*1の提案があり、本学では各出版社の提案を精査し、従来の購読契約との比較検討を行っている。そのうちSpringer Nature社については、本学を含む国内10大学によるパイロットプロジェクトに参加し、令和5年1月から転換契約を開始し、Elsevier社については令和6年4月から転換契約を開始する。また、転換契約を含む学術情報流通に関するコスト削減やオープンアクセス等の取組を推進するため、令和6年3月にURA（図書館担当）を採用した。

電子ブックについては、本学においては図書館予算より部局予算による購入が中心であるが、その中でもEBAモデル\*2のような利用者の要求を反映した購入を進めているところである。また、国内出版物の電子版の提供も増加しており、このような状況の変化への対応が必要となっている。

### \*1 転換契約

購読料を負担するモデルから、論文をオープンアクセス（OA）とする出版費用を拠出するモデルへ転換することを目指した契約。Read&Publish契約とも言い、購読料とOA出版料の一括契約のこと。

### \*2 EBA(Evidence Based Acquisition)モデル

出版社の全タイトルもしくは特定のコレクションを対象として有料トライアルを実施し、トライアルの終了後に、利用実績を参考にしてトライアルの金額の範囲内で実際に購入する（恒久アクセス権を取得する）タイトルを選択する契約モデル。

## （3）蔵書目録データベースの整備

### ＜目録遡及入力事業＞

- 目録遡及入力は平成4年度から事業を開始、学内予算措置や外部資金を得て、第2期中期計画期間最終年度の平成27年度に全蔵書のうち館室配置図書の入力を完了した。その後も第2期中期計画の遡及入力事業対象外であった資料群の所蔵データ入力に努めている。  
拠点大学として参加している国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」事業のデータベース構築にあたり目録データ作成が不可欠なため、電子化対象資料を中心に和古書の入力を行っていたが、当該事業は本年度で終了した。
- 本年度計画  
本年度は、総合・国際文化学図書館所蔵の漢籍等特殊資料のほか、遡及入力計画対象外であった資料のうちマイクロフィルム、製本雑誌について入力を行った。

- 本年度実績 72,254 冊

研究室戻り等		各館室	17,412 冊
製本雑誌		各館室	51,705 冊
特殊資料	和古書	社会科学系図書館 総合・国際文科学図書館	22 冊
	洋古書	社会科学系図書館 自然科学図書館 総合・国際文科学図書館	81 冊
	漢籍	総合・国際文科学図書館	1,732 冊
	大西文庫	人間科学図書館	155 冊
	地図資料	社会科学系図書館	484 冊
	マイクロフィルム/ マイクロフィッシュ	社会科学系図書館 人文科学図書館	663 冊

#### ◆評価と課題

本年度は計画通り、総合・国際文化学図書館所蔵の漢籍、社会科学系図書館所蔵のマイクロフィルム、製本雑誌を中心に遡及入力を行った。

本年度末時点で、蔵書数約 377 万冊のうち約 342 万冊の所蔵データが入力済みで、全蔵書の約 90% が OPAC で検索できるようになっている。残る未入力冊数は約 35 万冊である。

今後は専門的知識が必要な和・洋古書、漢籍などの特殊資料は知識の習得、継承を図りつつ入力をすすめる、一方比較的数量の多い製本雑誌は効率的に入力を行う必要がある。

未登録データの入力により資料の利用促進、利用者へのサービス向上、図書管理業務の効率化が期待される。

#### (4) 資料の保存

##### <資料保存における問題と対策>

- 雑誌の保存館リストの改訂を行い、「資料収容力確保策に関する実務指針」に基づき、各館室で書架狭隘化に対する資料整理・廃棄を行った。また、製本雑誌廃棄指針の再検討および製本雑誌の共同利用書庫への移管指針の検討を行い、海事科学分館について、廃棄・移管指針に基づき調査を実施した。
- 館室間での雑誌所蔵巻号単位での重複調査を行うためのプログラムやインターネットで入手可能な資料の他機関所蔵状況を調査するためのプログラムの作成を進めており、大枠としては完成した。今後は調整しながら、重複調査の効率化と資料整理・廃棄作業を進める。

- ・ 自然科学系図書館の共同利用書庫について、海事科学分館の改修が先送りとなったことから共同利用書庫としての運用を行う。
- ・ 海事科学分館書庫のカビ発生資料について、保存の要否により燻蒸・クリーニング処理または廃棄を行った。残りのカビ除去未処理資料の対応を引き続き実施する。
- ・ 社会科学系図書館貴重書室の環境整備に努め、出納資料の冷凍処理、定期的な清掃、害虫モニタリング調査を実施した。
- ・ 資料保存のための環境整備に努めた。主なものは以下のとおり。  
人文科学図書館：書庫にドレン排水工事を実施し除湿機2台設置  
人間科学図書館：新書庫壁面に書架増設、書庫1層ドレン排水工事を実施し除湿機1台設置  
医学：地下書庫にタンク式除湿機1台設置  
海事科学分館：書庫2集密書架に除湿機2台設置、データロガー追加設置
- ・ 震災文庫資料保存のための媒体変換については「4. 社会連携・情報発信」の「(2) 震災文庫」に記載。

#### ◆評価と課題

本年度は更に整理作業を進めるべく保存館リストの改訂をおこない、前年度改訂を行った「資料収容力確保に関する実務指針」とあわせて、資料の除籍を実施し書庫狭隘化の課題解決に取り組んだ。また、自然科学系図書館の共同利用書庫への資料移管調査に、重複調査用のプログラムを作成し作業を進めるなど効率化を図っている。今後は、共同利用書庫への移管作業を順次実施し、附属図書館全体および各館室における体系的な資料整備を進めていく必要がある。

書庫の除湿機設置と適切な運転でのカビ対策を実施しているが、大量にカビが発生してしまうとその除去には労力も経費も費やすことになる。突発的な空調機の故障や豪雨に伴う雨漏りなど想定外の事態に備えて、なお一層の書庫環境の保全維持、資料保存の適切な環境整備に努めていく必要がある。

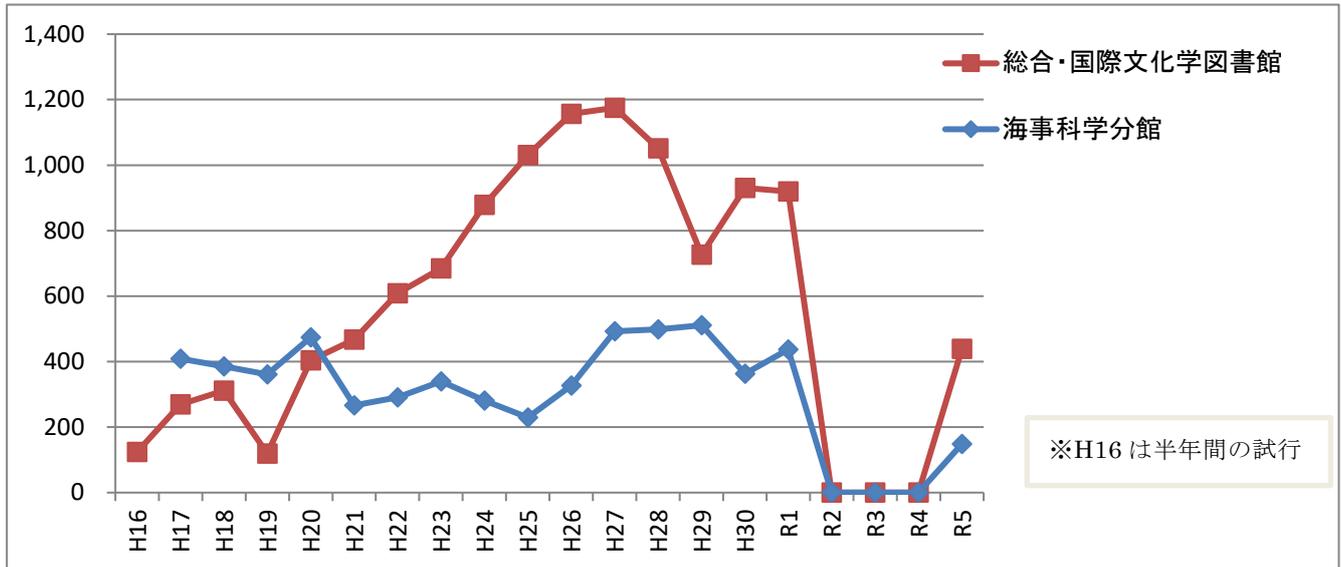
## 4. 社会連携・情報発信

### (1) 一般市民への資料提供サービス・展示会の開催

#### <一般市民の図書館利用>

- ・ 総合・国際文化学図書館と海事科学分館において一般市民への貸出サービスを実施している。新型コロナウイルス感染症対策として学外者の入館は令和2年3月から原則不可となっていたが、本年度は5月から学外者の入館と来館貸出を再開し、一般市民の利用登録者数は両館合わせて137名、貸出冊数は587冊であった。

### <貸出冊数の推移>



### <展示会の開催>

#### ・資料展「1933—社会科学系図書館誕生 90 周年」

会期 令和5年10月13日(金)～12月20日(水)

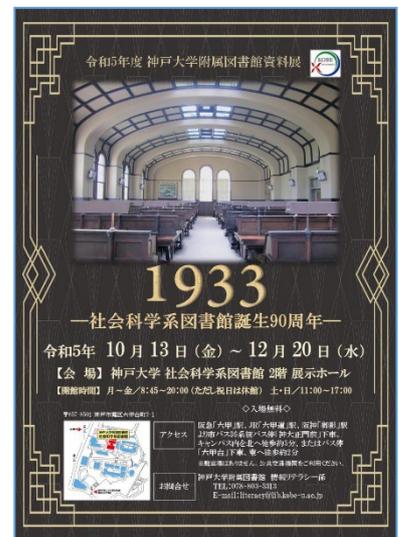
会場 社会科学系図書館【2階 展示ホール】

時間 月～金 8:45～20:00 (ただし祝日は休館)

土・日 11:00～17:00

内容 社会科学系図書館本館および書庫の一部は当時を代表する学校建築物として2003(平成15)年に登録有形文化財に登録されている。本年が、神戸大学の前身である神戸商業大学が葺合地区から六甲台へ移転し現在の社会科学系図書館本館が竣工された1933(昭和8)年から数えて90周年の節目にあたることを記念し、当時の図書館や大学内外の姿を以下の4つのサブテーマに沿って紹介した。

- 1) 建築と意匠
- 2) 昭和初期の図書館と貴重書
- 3) 筒台から六甲台へ
- 4) 神戸の暮らし



- ・ 前年度に続き展示ホールで開催した。感染症対策には留意しつつもコロナ禍前の令和元年度以前とほぼ同じ状況下での開催となった。
- ・ 広報送付先は、前年度は神戸市灘区、東灘区、中央区の中学・高校に限定していたが本年度は神戸市内の図書館や公共施設へ範囲を広げた。開催期間中の学外者入館数は1,137名(下記ホームカミングデイを除く)であった。
- ・ 会期中の10月28日(土)に開催された「神戸大学ホームカミングデイ」では学外者100名の来館があり、職員による展示案内と館内案内を実施した。
- ・ 前年度から引き続き、人文学研究科の授業での見学を受入れ、40名の学生に対し展示案内を行った。
- ・ アンケート回収数は86件(内、会場での回収60件、上記授業での回収26件)で、「よかった」と

の回答が全体の約 90%と高い評価を得た。また自由記述の内容においても各テーマについて偏りなく好意的な意見が大半を占めた。

### ＜学内巡回展、その他の展示、他組織主催の展示の受入等＞

- ・ 前年度から再開した阪神・淡路大震災の発生した 1 月 17 日にあわせて例年実施している震災資料展のリバイバル展示は、本年度は会期を第 4Q 授業終了日まで延長して開催した（会期：令和 6 年 1 月 12 日～2 月 8 日）。内容はほぼ前年度のものを踏襲したが、新たな試みとして震災文庫デジタルアーカイブが検索できるよう端末機を設置、またサンテレビより寄贈された阪神・淡路大震災関連映像の映写も実施した。
- ・ 海事博物館や人文学研究科と連携した展示企画「神戸大学サテライト巡回展」の一環として、以下のパネル展示を社会科学系図書館展示ホールにて実施した。  
**海事博物館巡回展「ありがとう深江丸」**（主催：海事博物館、会期：令和 5 年 4 月 22 日～5 月 31 日）  
**神戸大学史巡回展「学生寮の昔と今—神戸大学史にみる寮文化の軌跡—」**（主催：大学文書史料室、会期：令和 6 年 2 月 17 日～3 月 25 日）
- ・ 国際文化学研究科教員を研究代表者とする史料整理事業・共同研究の成果を、企画展「海の見える教会から—多文化都市神戸とユニオン教会—」として開催した（主催：神戸大学大学院国際文化学研究推進インスティテュート、会期：令和 5 年 6 月 27 日～9 月 27 日）。

### ◆評価と課題

一般市民への資料の貸出サービスは、開始以来、総合・国際文化学図書館では平成 19 年度に改修工事の影響で一時的に貸出冊数は落ち込んだものの、その後は増加を続け平成 28 年度からの減少傾向も平成 30 年度から増加の兆しがあり、海事科学分館では平成 21 年度に書庫立ち入り制限の実施により大きく減少しその後はほぼ横這い状態が続いたが、平成 27 年度から増加傾向にあり平成 29 年度は過去最高の貸出冊数となるなど、館室・年度によって増減はあるものの全体として地域社会への貢献活動のひとつとして定着していた。

令和 2 年度からは新型コロナウイルス感染症対策として学外者の入館は原則不可となっていたが、本年度 5 月に学外者の入館と来館貸出を再開し、社会に開かれた図書館としての役割を果たすことができるようになった。

資料展については、令和元年以来 4 年ぶりに、コロナ禍前に近い体制で会場開催することができた。恒例の資料展以外に巡回展や他組織主催の資料展受入によって、年間通じてほぼ会期が途切れず多くの展示を行い、それぞれに高い評価を得られたことから社会科学系図書館 2 階展示ホールの有効活用ができたと考える。

所蔵資料・古文書・普段は見ることのできない特殊な資料の紹介、また地域の歴史、それも一般にはあまり知られていない事柄の紹介としても有意義であったと評価できる。

## （2）震災文庫

### ＜資料収集と一般公開＞

- ・ 引き続き、様々なチャンネルからの情報収集を行い、購入や寄贈依頼等の積極的な収集活動に努めた。新規に 361 件の資料を受入、資料所蔵総数は約 5 万 7 千件を超えた。

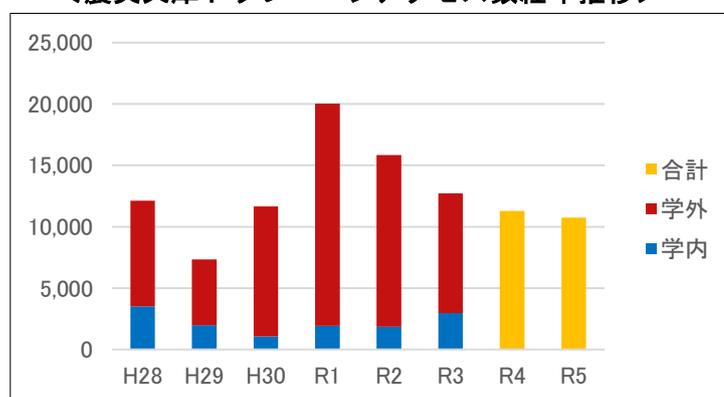
資料形態	R5 全件数	資料形態	R5 全件数
図書資料	9,265	地図資料	162
雑誌資料	16,880	動画資料	864
新聞・広報誌資料	8,100	音声資料	266
パンフレット資料	4,100	その他	6,159
一枚もの資料	3,452		
写真資料	7,969	<b>総合計</b>	<b>57,217</b>

注1) 資料形態の「その他」には、シンポジウムの配布資料、論文要旨などが含まれる。

注2) 本年度中に取り下げデータが2件あった。

- ・ 震災文庫トップページアクセス数は、本年度は約1万件だった。

### <震災文庫トップページアクセス数経年推移>



注) 令和4年8月に行った図書館システム改修に伴い、以降は学内・学外の区別が不可能になった。

- ・ 震災文庫の利用はコロナ禍前と同様、予約なしで利用できる平常利用に戻した。利用者数は274名であった。

### <震災文庫デジタルアーカイブ>

- ・ 株式会社サンテレビジョンから寄贈を受けた阪神・淡路大震災直後の取材映像150件を新たに公開した。うち、インターネットでの公開が適切ではないと判断された映像11件については、震災文庫の室内設置端末限定で公開した。これにより、平成7年1月18日（震災発生2日後）までに撮影されたサンテレビジョン提供の全映像の処理が完了した。
- ・ 本年度は、著作権の許諾が得られて公開したデジタル化資料は154件であった。データベース全体のデジタル化資料総数は12,870件となった。
- ・ 国立国会図書館東日本大震災アーカイブ「ひなぎく」とのデータ連携を継続して行っている。

### <震災文庫の活動>

- ・ 総合教養科目「阪神・淡路大震災 B」にてオンデマンド授業（受講者12名）、総合教養科目「阪神・淡路大震災と都市の安全」で対面授業（受講者126名）を行い、震災文庫の利用方法を説明した。
- ・ 附属図書館公式YouTubeチャンネルで公開していた震災文庫利用案内動画を改訂した。
- ・ 令和5年10月に日本学術振興会の「人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業」に採択され、震災文庫のデータ拡充にあたる事務補佐員を1名雇用した。今後は、未受入資料の調

査を進める予定である。

## ◆評価と課題

サンテレビジョン寄贈の取材映像については、1月18日までに撮影された分の登録処理が完了した。今後も引き続きサンテレビジョンおよび本学人文学研究科地域連携センターと協力し、映像の閲覧提供およびデジタルアーカイブでの公開を進めていく。

来館利用について、平常利用に戻ったものの、コロナ禍前の水準までは戻っていない。

さらなる活用促進のための活動実施のほか、個人情報保護等の観点から一般公開が難しい資料の受入・運用についての検討が必要である。例えば、インターネットでの公開が適切ではないと判断された映像は、室内設置端末限定で公開しているが、今後も検討を更に積み重ねていく。

## (3) 電子図書館システムによる情報発信

### <「神戸大学電子図書館システム」によるデジタルアーカイブ構築・運用>

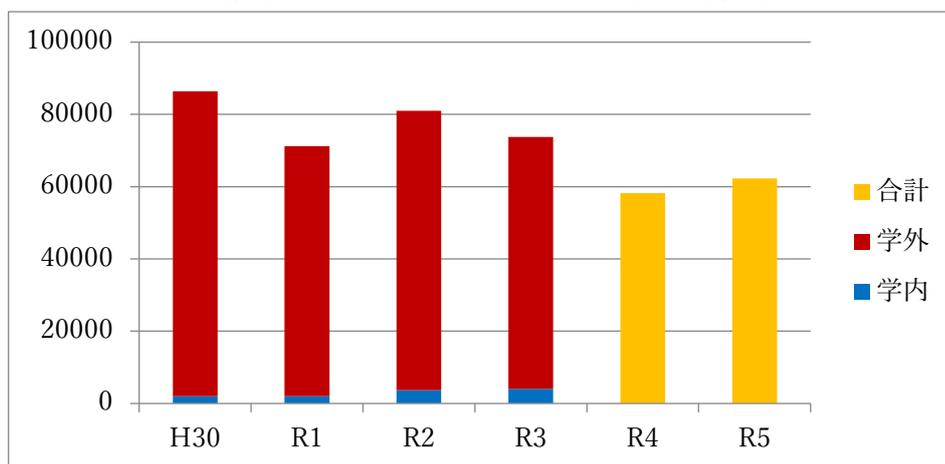
- ・ 同システムは当初全国5大学に「先導的電子図書館プロジェクト」として予算措置されたもので、本学には平成10年度補正予算で措置され、平成11年から稼働している。法人化後は電子図書館事業費として学内経費化され、運営を続けている。
- ・ 「震災関係資料」、「経済関係資料」、「学内研究成果」を3本柱に事業を推進し、デジタル化した資料をWeb上で公開してきた。経費には上記の電子図書館事業費と、科学研究費補助金研究成果公開促進費(平成11-15年度 震災デジタルアーカイブに措置、平成16-23,25,27,28,30年度、令和4年度 戦前期新聞経済記事文庫に措置)を充ててきた。
- ・ 令和4年9月には電子図書館システムのリプレースを実施した。利用および外部データベースとの連携、維持管理の行いやすいシステムの構築を目的とし、IIIFやJPCOARスキーマといった共通規格への対応を行うと同時に、公開方式を統一し「震災文庫」「新聞記事文庫」「貴重書・特殊コレクション」「神戸大学学術成果リポジトリ(Kernel)」の4コレクションを公開している。また、電子化画像の保存用環境も整備した。
- ・ 本年度「人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業」(実施期間:令和5年10月1日~令和10年3月31日)に採択され震災文庫、新聞記事文庫、貴重書(郷土資料)の電子公開の拡充およびJDCat(人文学・社会科学総合データカタログ(Japan Data Catalog for the Humanities and Social Sciences))との連携を目指すこととなった。
- ・ コンテンツのうち震災関係資料については、前節で述べたとおりである。
- ・ 平成31年1月から、一部のコレクションの画像については、従来必要だった申請手続を廃して、自由に二次利用可能とした。これらについては利用時の報告を任意で依頼しており、本年度1件の報告があった。それ以外にも、各機関から転載申請が22件あり、許諾回答した。
- ・ 平成24年5月から新聞記事文庫データベースの「活用事例集」として公開してきたWebページをリニューアルし、新聞記事文庫以外も含めたデジタルアーカイブの活用事例を紹介した。

### <経済関係資料および貴重書・稀観書のデジタル化>

- ・ 新聞記事文庫について、準備の完了したテキストデータ3,915件を附属図書館デジタルアーカイブに追加登録した。
- ・ 前年度に実施した新聞記事文庫のジャパンサーチへの連携に続き、本年度は貴重書・特殊コレクションのうち二次利用に制限のない資料について国立国会図書館サーチおよびジャパンサーチとの連携を行った。

- ・ 拠点大学として参加した国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」事業のデータベース構築のため、住田文庫資料を含む各館古典籍 16 点(1,092 コマ)の電子化を行い附属図書館デジタルアーカイブで公開した。電子化した画像は国文学研究資料館が提供する「国書データベース」からも順次公開される予定である。本事業で電子化し、附属図書館デジタルアーカイブで画像公開を行ったメタデータ件数は累計 2,472 点となり、本年度はこれらの画像公開画面に計 9,034 件のアクセスがあった。なお本事業は本年度、終了した。
- ・ 神戸大学海事科学振興財団から助成を受け、海事科学分館所蔵の「渋谷文庫」のうち計 15 点を、資料保存の目的で電子化した (1,131 コマ)。
- ・ 地域連携センターとの連携事業にて大学院生アルバイトを雇用し、令和 3 年 6 月に遺族から寄贈された若林泰氏収集資料(若林家文書)の電子化公開に向けた作業を前年度に引き続き実施した。
- ・ 「デジタルアーカイブフェス 2023-デジタルアーカイブで地域の価値を再発見する-」(令和 5 年 8 月 25 日・オンライン開催、内閣府知的財産戦略推進事務局および国立国会図書館主催)にて、地域アーカイブの域内連携・活用及びジャパンサーチとの連携事例報告として、新聞記事文庫の報告を行った。

＜新聞記事文庫トップページアクセス数経年推移＞



注)令和 4 年 8 月に行った図書館システム改修に伴い、以降は学内・学外の区別が不可能になった。

#### ◆評価と課題

本年度は「人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業」採択により、新聞記事文庫のテキストデータの作成を進めることができた。本事業は JDCat との連携を主要な目的としており、今後提供するメタデータ作成にあたり本事業の中核機関である東京大学史料編纂所、東京大学社会科学研究所との調整が必要となってくると思われる。

そのほか、「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」事業での住田文庫を含む古典籍の電子化・画像公開や、地域連携センターとの連携による「若林家文書」の電子化公開準備を実施した。今後も学内外との協力によりコンテンツを拡充していきたい。

また、令和 4 年 9 月にはシステム改修を実施し、IIIF 等の共通規格への対応や各コレクションの公開形式の統一を実施することで、外部データベースとの連携や長期的な維持管理が行いやすくなった。前年度の新聞記事文庫のジャパンサーチとの連携に続き、本年度は二次利用に制限のない貴重書・特殊コレクションのジャパンサーチとの連携を実現し、外部データベースとの連携の拡大に努めている。また、「人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業」の採択によりデジタルアーカイブ全体で電子公開画像の大幅な増加が見込まれることから、保存容量の確保等、さらなる環境整備の検討も進め

ていく。

#### (4) 機関リポジトリによる情報発信

##### <コンテンツ収集活動>

- 平成 18 年度に稼動を始めた神戸大学学術成果リポジトリ (Kernel) は、比較的順調に成長を続けている。本年度末時点のコンテンツ数は 38,550 件となり、1 年間で 2,063 件増加した。

##### <機関リポジトリコンテンツ種別件数>

一般雑誌記事	167 (167)	図書	228 (231)
会議発表論文	145 (146)	データセット	2 (3)
紀要論文	22,374 (48,418)	学術雑誌論文	9,506 (10,159)
教材	24 (24)	会議発表用資料	420 (420)
研究報告書	551 (2,703)	テクニカルレポート	848 (1,271)
学位論文	3,415 (12,312)	その他	870 (877)
プレプリント	0 (0)	合計	38,550 (76,731)

注)括弧内は書誌情報のみ(本文ファイルなしも含んだデータ数

- 学位規則改定後の平成 25 年 4 月以降に学位授与された博士学位論文は要旨・全文ともに原則としてリポジトリからインターネット公表することとなったため、非公表・公表延期を除く論文を公開した。前年度以前の授与分を対象に、本年度は合計 181 件の本文を公開した。
- 神戸大学研究者紹介システム「KUID」や「Web of Science」より抽出したデータを元に、学内研究者に論文登録照会作業を行い学術雑誌掲載論文の収集に努めた。
- 「オープンアクセス推進 WG」では、本年度も重点的な取組として、神戸大学研究者紹介システム「KUID」に登録された論文情報 3,322 件の各ジャーナルの著作権調査を手分けして実施し、公開可能なもののうち 282 件について著者へ登録依頼し、116 件を登録した。

##### <広報・啓発活動>

- 学内教員への浸透を図るため、『Kernel 通信』の第 29 号、第 30 号を発行し、オープンアクセス・オープンサイエンスに関する情報等を掲載してその周知につとめた。
- 10 月のオープンアクセスウィークには、リポジトリの周知および論文登録促進のため、論文抜き刷り送付用学内便封筒を教員ポストに配布した。
- Springer Nature 社との転換契約パイロットプロジェクトによる OA 出版プロモーションのため参加者へのインタビューを行い附属図書館サイトにて公開した。
- 登録者へのサービスとして、毎月 1 回ダウンロード数お知らせメールの配信を継続して実施している。
- 博士論文インターネット公表に関する博士課程後期学生向け配布資料 (日本語・英語) を、本学の大学院新入生向け Web サイトへ掲載した。
- 令和 4 年 7 月、教育研究評議会の承認により「神戸大学研究データ管理・公開ポリシー」が策定され、「神戸大学 研究データ管理・公開ポリシー解説 (暫定版)」とあわせて公開された。引き続き「神戸大学 研究データ管理・公開ポリシー実施 ガイドライン」策定に向け学内で検討が進められており「オープンサイエンス検討 WG」のメンバーも図書館内での検討に参加した。

## ◆評価と課題

リポジトリ開設から公開論文数は着実に数を伸ばしている。平成 30 年度以降に図書館内に設置した「オープンアクセス推進 WG」で論文の公開ポリシー調査を行うことで、リポジトリでの学術論文の公開を着実に進めることができているため、今後も引き続きこの取り組みを行っていきたい。但し本年度は従来からの活動に加えて令和 7 年度新規公募分から義務化される公的資金による研究成果の即時オープンアクセス化への対応を行う必要がある。館内での体制整備および機関リポジトリの機能高度化の検討・実施に加え、学内での周知活動・情報発信を積極的に行っていく。

研究データ管理に関しては「神戸大学 研究データ管理・公開ポリシー実施 ガイドライン」の早期の策定が望まれる。本ガイドラインを足掛かりに図書館における研究データ公開支援のあり方を検討していきたい。

＜Kernel 公開論文数及びダウンロード数推移＞



※R4.9 図書館システム改修により集計方法変更  
R5 年度 web サイトのサイトマップ変更およびクローリング可否の設定変更を行い  
月間ダウンロード数は 2023.4 26,441 件から 2024.3 151,896 件へ上昇

## (5) 国際連携

### ＜海外派遣＞

#### ・国立大学図書館協会ビジョン 2025 推進事業

令和 5 年度国立大学図書館協会ビジョン 2025 推進事業の助成を受け、英国オープンアクセス政策対応に関する調査のため係長 1 名を英国に派遣した。

派遣期間：令和 6 年 2 月 10 日～18 日

派遣先：英国ロンドン

派遣機関：Imperial College London

University College London

King's College London

University of Kent

Jisc

調査テーマ：「英国オープンアクセス政策対応等の調査」

<https://www.janul.jp/ja/projects/sirc>

この調査の結果は3月18日にオンラインで報告された。報告会には209名の参加があった。

#### ・国際デジタルキュレーション会議（IDCC2024）への参加

神戸大学附属図書館として参加している「オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）」の「研究データ作業部会」にて活動中の係員1名と当館オープンアクセス推進WGの係員1名が、「国際デジタルキュレーション会議（IDCC2024）」に出席ならびに現地の大学の視察を行った。

派遣機関：令和6年2月17日～25日（うち19日～21日はIDCC2024出席）

派遣先：英国エディンバラ

派遣機関：University of Edinburgh

University of Glasgow

調査テーマ：「IDCC参加による研究データ関連の情報収集、

及びスコットランドの大学へのインタビューによる即時OA対応先行事例の調査」

[https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/news/2023#news\\_20240226-2](https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/news/2023#news_20240226-2)

この調査の結果は3月15日にオンラインで報告された。

#### <その他>

#### ・日本古典籍研究国際コンソーシアムへの参加

神戸大学附属図書館として令和3年3月から登録参加している。日本国内に限らず世界の機関・大学・図書館の参加も多く、時間と場所を選ばないWeb形式での活動が中心であり、連絡窓口として職員1名が担当している。

#### ◆評価と課題

本年度は、新型コロナウイルス感染症対策として海外渡航が制限されて以来4年ぶりに、国内他機関からの依頼と学内推薦を受け、職員3名を海外に派遣した。国内他機関との連携による活動の場は、海外にも広がっている。

今回の成果はオンラインによる報告会で国内の関係者に広く共有された。職員の海外派遣事業への参加は派遣者個人の資質の向上とともに、館内に海外での調査研究・発表の経験やノウハウが蓄積され、次の海外派遣へとつながっている。今後も海外の動勢を把握し、次の派遣に備えることが重要である。

海外派遣事業をはじめとする国際連携は、グローバルな視点を持って大学図書館を担っていく職員の育成のために非常に重要である。しかしその実現には予算の確保が不可欠であり、今後も外部資金の獲得などを積極的に行っていく必要がある。

## 5. 管理運営等

### （1）図書館組織と運営

#### <管理運営全般>

令和5年4月から土佐幸雄教授（農学研究科）が附属図書館長の任に当たっている。3名の副館長と海事科学分館長も本年度から交代しており、医学分館長は前年度から継続している。

副館長の役割分担は以下のとおりである。

- ・ 重富 公生 副館長（経済研究科教授）：社会科学系図書館
- ・ 羅 志偉 副館長（システム情報学研究科教授）：自然科学系図書館、広報担当

- ・ 田畑 暁生 副館長（人間発達環境学研究科教授）：評価担当、国際交流担当

### ＜館内諸会議＞

\*開催日時、議事内容等は、＜付録＞附属図書館諸会議 に掲載

#### ① 附属図書館運営委員会

- ・ 本年度は6回開催した。2回をメール回議とし、他4回をWeb会議にて開催した。

#### ② 附属図書館長・副館長・分館長懇談会

- ・ 本年度は5回開催した。1回をハイブリッド会議とし、他4回をWeb会議にて開催した。

#### ③ 附属図書館評価委員会

- ・ 本年度はメール回議にて1回開催した。

#### ④ 附属図書館研究開発室会議

- ・ 本年度は電子化部会をメール回議にて1回開催し、令和5年度電子図書館事業計画（案）について協議した。また、日本学術振興会の「人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業」申請に係る書類作成において、室員の教員から意見・助言を得た。
- ・ 電子化部会の震災関係資料小委員会については、サンテレビジョン提供の映像公開における検討において、委員の教員2名から助力を得た。また震災文庫での資料の整理について助言・協力を得た。
- ・ 教育研究支援部会の懇談会をWeb会議にて3月25日に開催し、本年度と次年度の情報リテラシー教育事業について、室員の教員と意見交換を行い、助言を得た。

#### ⑤ 附属図書館情報サービス課連絡会議

- ・ 令和2年度からWeb会議にて定例開催となり、本年度は13回開催した。

### ＜教育研究基盤資料の充実＞

第4期中期計画期間前半（令和4～6年度）の教育研究基盤資料整備費による整備方針については、令和2年10月8日の部局長会議において、令和2年に購読している「全学利用」及び「特定主題」資料を維持するため、上限4.1億円の承認を得ている。その承認に基づき、本年度は4.03億円（決算ベース）が措置され、中心となる電子ジャーナル及びデータベースについては前年度の予算規模を維持することができた。しかし、急速な円安等に伴い令和6年度は上限4.1億円を超える約4.24億円を予定しており、今後も価格の高騰や為替の影響が予想されるため、令和7年度以降の契約に向けて整備方針を検討していく必要がある。

### ＜大学文書史料室＞

平成30年度から学長直下の室として独立したが、事務は引き続き附属図書館が担当している。

### ＜神戸大学出版会＞

事務担当部局として出版会運営委員会を1回、出版会出版委員会を対面とWebのハイブリッド形式で3回、メール回議で3回の計6回開催した。本年度は新刊書を6冊刊行した。

- ・ 家森信善編『地域金融機関による企業支援の新しい展開 事業性評価に基づく人材マッチングの可能性を探る』2023年9月
- ・ 家森信善編『未来を拓く ESG 地域金融 持続可能な地域社会への挑戦』2024年2月

- ・ 國部克彦著『価値という思考 (VS Booklet 2)』2024年3月
- ・ 斎藤公太著『日英対訳で読みひらく新しい日本文化史 A New and Open History of Japanese Culture in Bilingual Japanese-English Translation』2024年3月
- ・ 神戸大学大学院工学研究科グラフィクスリテラシー教育研究センター編  
『グラフィカルな表現法による複雑現象の理解 連続セミナー講演録』2024年3月
- ・ 神戸大学 V. School 編  
『価値の創造を考える 2022年度神戸大学 V.School の取り組みの軌跡』2024年3月

## ◆評価と課題

附属図書館運営委員会においては、例年教育研究基盤資料（電子ジャーナル・データベース等）の整備が懸案事項となっている。第4期中期計画前半（令和4～6年度）の教育研究基盤資料整備費による整備方針について、令和2年10月8日の部局長会議において、上限4.1億円として承認を得た。しかしながら、所要額の上昇、大学予算の削減等により依然として非常に厳しい状況が続いており、今後の整備方針の検討が課題である。

研究開発室については、電子化部会と教育研究支援部会がそれぞれ、室員の教員から意見・助言を得ることができ、設置目的のとおり高度な図書館サービスの実現に寄与している。

情報サービス課連絡会議は、各館室の問題や状況を共有することにより、均一のサービス提供や問題点の解決につながっている。

大学文書史料室は平成30年度から、学長直下の室として独立したが事務は引き続き附属図書館が担当している。また、神戸大学出版会についても事務を担当し、本年度は新刊書を6冊刊行した。

## （2）事務組織と人事管理

### <図書館事務組織>

- ・ 人事異動は主に4月1日付、7月1日付の2回であったが、その他に期限満了、退職に伴う異動があった。本年度末時点で、附属図書館事務部は2課2グループ11係、定員48名、非常勤職員35名の83名であった。また経済経営研究所図書係は、定員3名を配置している。
- ・ 平成22年4月に設置した大学文書史料室は、令和4年10月から定員1名を採用し、本年度末時点で定員3名（特命助教1名、政策研究職員1名・再雇用職員1名）、非常勤職員2名を配置している。
- ・ 3月31日付で定員1名（係長）が退職した。
- ・ 9月から資料整備グループ雑誌担当専門職員を情報管理課課長補佐が兼任している。
- ・ 令和6年3月時点の職員の配置状況は、以下のとおりであった。なお、巻末付録には令和6年7月時点の組織図を掲載している。

地区	館室	配置係数等	定員職員	非常勤職員	計
六甲台地区	総合・国際文化学 図書館	1係	2	5	7
	社会科学系図書館	部長 管理課長・補佐 2グループ 3係	25	15	40
	自然科学系図書館	サービス課長・補佐 2係	7	4	11

	人文科学図書館	1 係	3	2	5
	人間科学図書館	1 係	3	2	5
楠地区	医学分館	サービス課課長補佐 1 係	3	4	7
名谷地区	保健科学図書室	1 係	2	1	3
深江地区	海事科学分館	1 係	2	2	4
	URA	1 名	1		
		計	48	35	83

六甲台地区	経済経営研究所 図書館	1 係	3	0	3
	大学文書史料室		3	2	5

- ・ 社会科学系図書館が事実上の中央館として機能しており、企画係・管理係が全館の総務機能を、資料整備グループ受入担当・雑誌担当・目録担当・整備担当は、当該業務に係る全館調整機能と社会科学系図書館及び総合・国際文化学図書館の整理業務を担当している。
- ・ 電子情報グループ電子図書館担当、同情報システム担当（社会科学系図書館配置）及び情報サービス課の情報リテラシー係（自然科学系図書館配置）は、当該業務の全館調整機能を果たしている。
- ・ 各館室に配置する情報サービス係は、主に各館室のサービス業務を担当し、社会科学系図書館及び総合・国際文化学図書館以外は、各館室の整理部門も担当している

### <職員の採用と育成>

- ・ 近畿地区国立大学法人等職員採用試験図書系専門試験合格者の中から、令和 5 年 4 月に定員 3 名を採用した。
- ・ 上記 3 名が「兵庫県下教育機関事務系職員（新規採用者）研修」と「神戸大学新任職員研修」を受講した。
- ・ 大阪大学附属図書館と人事交流を実施している（定員 1 名、令和 4～6 年度の 3 年間）。
- ・ 本年度から、国立情報学研究所に定員 1 名を出向（3 年間）させている。
- ・ 3 月 1 日付で新たに図書館担当の特命政策研究職員(URA)を採用した。
- ・ 附属図書館では、事務系職員の「職員調書」とは別に図書系職員の「意向調書」を実施している。本年度も職員のキャリア形成に係わる目標や希望に加えて、業務内容やスキルの分析、業務目標の達成度評価等を盛り込み、よりの確な聴取に努め、その結果を研修計画等に反映した。
- ・ 例年開催される研修の多くは Web での開催となり、大学図書館職員長期研修は係長 1 名が Web にて受講した。他機関・他団体等の主催する各種研修、主題専門知識の研修等も Web にて多数開催され、職員が参加し、スキルアップに努めた。本年度参加の主な研修は次のとおりである。

※参加者：「専門職員」→「係長」、「事務員」→「係員」に統一表記

区分	研修名	主催	日程	参加者
若手職員向けの基礎研修	大学図書館近畿イニシアティブ初級研修 (Web 開催)	近畿イニシア	8/22-23	係員 3
	図書館等職員著作権実務講習会 (オンデマンド配信、対面開催)	文化庁	10/16- 11/21,28	係員 3

中堅職員向けの研修	近畿地区係長研修	人事院近畿事務局	6/26-28	係長 1
	大学図書館職員長期研修 (Web 開催)	筑波大学	7/3-14	係長 1
	神戸大学係主任・中堅職員研修	神戸大学	9/15,20	係員 1
	国立大学協会近畿地区支部係長研修 (Web 開催)	京都大学	1/16-17	係長 1
管理職向けの研修	神戸大学管理監督者(課長・課長補佐相当)研修 (対面、Web 開催)	神戸大学	7/12,26	課長 1 課長補佐 2
	人事評価に係る研修会	神戸大学	8/30	課長 2
	大学経営人材育成セミナー	神戸大学	10/12,24,11/9,28	課長補佐 2
	幹部職員セミナー	神戸大学	12/21	館長 1 部長 1 課長 2 課長補佐 2
	トップマネジメントセミナー (対面、Web 開催)	神戸大学	2/8	館長 1 部長 1 課長 2
個別業務の専門的知識のための研修	漢籍整理長期研修	東京大学	6/5-9, 9/4-8	係員 1
	アーカイブズ研修 II (Web 開催)	国立公文書館	6/21-22	教員 1 室長補佐 1 係員 1 補佐員 1
	目録システム書誌作成研修 (対面、Web 開催)	国立情報学研究所	9/14-15,11/17	係員 1
	漢籍担当職員講習会	京都大学	9/25-29(初級) 11/6-10(中級)	係員 1
	近畿地区国立大学法人等会計事務研修 (Web 開催)	神戸大学	10/12-13	係員 1
	NDL レファレンスサービス研修 科学技術情報の調べ方 (Web 開催)	国立国会図書館	11/2	係員 2
	NDL レファレンスサービス研修 人文情報の調べ方 (Web 開催)	国立国会図書館	12/7	係員 3
その他の講演会・研修会等	・転換契約の交渉本格化に向けた説明会 ・オープンアクセスセミナー2023 ・(神戸大)アンコンシャスバイアス研修	国立情報学研究所、国会図書館、日本医学図書館協		管理職を含め のべ 84

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(NII)学術情報基盤オープンフォーラム 2023</li> <li>・ Japan Open Science Summit (JOSS2023)</li> <li>・(JANUL OS 小委員会)COAR 年次大会の基調講演を読み解く会</li> <li>・JPCOAR OA 推進検討 TF 公開ミーティング</li> <li>・国立国会図書館障害者用資料検索「みなサーチ」β版説明会</li> <li>・JUSTICE 電子資料契約実務研修会</li> <li>・第2回 東海地区学術データ基盤セミナー</li> <li>・JMLA コア研修</li> <li>・(神戸大)スキルアップ研修「未来洞察・アイデアソン(デザイン思考)職員研修</li> <li>・(神戸大)アプリケーションソフトウェア研修「Excel データクレンジング」</li> <li>・令和5年度 IDE大学セミナー「大学教育と図書館」</li> <li>・(神戸大)令和5年度ハラスメント相談員研修会</li> <li>・シンポジウム「研究の自動化と AI が切り拓く科学と社会」</li> <li>・(神戸大)第一種衛生管理者試験受験準備講習会</li> <li>・兵庫県大学図書館協議会施設見学会</li> <li>・第3回学術コミュニケーションセミナー(JPCOAR Webinar)</li> <li>・(神戸大)障害のある学生の避難に関して</li> <li>・第25回図書館総合展</li> <li>・(神戸大)漆と古典を使ったワークショップ</li> <li>・令和5年度国立大学図書館協会東海北陸地区協会助成事業研修会「大学間連携・コミュニティの可能性を考える 最新事例をまじえて」</li> <li>・第2回研究データポリシー策定のためのワークショップ</li> <li>・SPARC Japan セミナー2023</li> <li>・(国会図書館)障害者サービス担当職員向け講座</li> <li>・(神戸大)メンタルヘルス II 種試験受験</li> </ul>	<p>会、JUSTICE、SPARCJapan、JPCOAR</p> <p>国立大学図書館協会、文部科学省、IDE 大学協会、日本学術会議、兵庫県大学図書館協議会、研究大学コンソーシアム、図書館総合展運営委員会、Elsevier 社、シュプリンガーネイチャー、北海道大学、東北大学、千葉大学、名古屋大学、神戸大学</p>		
--	--	--	--	--

	<p>を含む研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 7 回 JMLA 学術集会</li> <li>・令和 5 年度国立大学図書館協会シンポジウム</li> <li>・(JMLA)診療ガイドライン講演会および文献検索ワークショップ</li> <li>・学術情報流通に関する連続セミナー 第 1 回「学術論文の著作権とクリエイティブ・コモンズの関係」</li> <li>・第 4 回 千葉大学アカデミック・リンク /ALPS セミナー</li> <li>・令和 5 年度国立大学図書館協会 セミナー「オープンサイエンス時代における場としての大学図書館:事例から見るライブラリー・スキーマ」</li> <li>・国大図協東北地区事業「これからも紙の本を守るために:大学図書館資料の修理と保存」</li> <li>・(神戸大)CMS 講習会</li> <li>・国大図協北海道地区事業「ChatGPT を使い倒そう」</li> <li>・(神戸大)2023 年度神戸大学ダイバーシティフォーラム</li> <li>・(文部科学省)「2030 デジタル・ライブラリー」推進に関する検討会(第 5 回)</li> <li>・令和 5 年度国立大学図書館協会システム委員会 勉強会企画「電子資料共有のための基礎知識:ILL・著作権・発見可能性」</li> <li>・「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」に関する懇話会</li> <li>・第 13 回被災地図書館情報交換会</li> </ul>			
--	--	--	--	--

## <業務の改善と効率化・合理化>

### ① 業務の標準化・合理化

係横断的なワーキンググループ（以下 WG）を組織し、業務の合理化及び質的向上を図った。本年度は、総合図書館資料選定委員会（選書 WG）・情報リテラシー教育支援 WG・図書館アウトリーチ WG・業務改善 WG・展示 WG・オープンアクセス推進 WG・オープンサイエンス検討 WG・図書館リニューアル WG（海事科学分館）が活動した。前年度、研究データ管理に関する事項を検討するために設置した研究データ管理検討 WG は、オープンサイエンス検討 WG と名称変更した。

## ② アウトソーシング

図書装備付納品、電子化コンテンツの作成業務、資産点検業務のアウトソーシングを実施した。図書装備付納品については、資材高騰による装備費の値上げや発注冊数の減少などにより、アウトソーシングするメリットがなくなったこと、現状の係体制で対応可能であることから、自然科学系図書館および人間科学図書館では実施しないこととした。また、総合・国際文化学図書館および社会科学系図書館では、従来通り図書装備付納品を実施するとともに、次年度に向けた見直しを行った。

## ③ 業務改善の検討

前年度に続き附属図書館内での事業として、WGを中心に図書館事務部全体で業務改善に取り組んだ。前年度からの継続事項12件は4件完了し8件継続、本年度の提案事項27件は16件完了し11件継続となった。なかでも、図書延滞者宛督促メールの一本化については、各館室ごとに送信していた督促メールを全館統一した形式で一括して送信することで、返却率の向上および督促作業の効率化を図った。また、製本雑誌の遡及入力についても、目録カードや台帳から作成したデータによる一括登録を行うことで、一冊当たりの遡及作業に費やす時間が大幅に短縮した。

## ◆評価と課題

3月1日付で新たに図書館担当の特命政策研究職員(URA)を採用した。

本年度も新型コロナウイルス感染症の影響でWebでの研修が中心となったが、場所・時間の制約なく参加できるという利点から、職員は積極的に学内外の研修を受講し、個々のスキルアップに努めることができた。また、対面開催が再開した研修も増加したため、特に対面での参加が必要な専門主題に関わる研修を中心に職員派遣を行った。今後も厳しい予算状況ではあるが、対面とオンラインの研修をうまく使い分け、職員のスキルアップを行っていききたい。なお、研修の報告は全職員にメール送付することで成果を共有し、他の職員の能力開発にも役立てている。

ワーキンググループについては、具体的な業務目的を負ったものに絞って設置し、図書館リニューアルWG以外はいずれも活発に活動し成果をあげている。図書館リニューアルWGについては、海事科学分館の改修工事を令和6年度概算要求にあげていたが不採択となったため、活動中断となった。今後は、深江キャンパスや他のキャンパスでの改修計画の動向に注視するとともに、各図書館の環境改善にも取り組む必要がある。

アウトソーシングによる効率化については、図書装備付納品の見直しを行い、業務委託に係る経費やそのための対応と担当係での業務量を比較考量したうえで、業務委託を縮小することとなった。業務改善については、継続検討となった課題に新規事項も加え、DXによる業務の効率化も視野に入れながら、引き続き取り組んでいく。

## (3) 予算及び財務会計業務

### ＜本年度附属図書館予算・決算＞

#### ① 既定経費（経常運営費・経常事業費）等

- ・ 経常運営費は当初予算配分155,660千円、途中追加配分により3,670千円を加えた結果、最終配分総額159,330千円、決算額162,612千円であった。前年度の当初予算配分140,318千円から増額となり、追加配分も多くあったことから前年度決算額147,683千円からも増額となった（当初予算額R4予算比15,342千円10.9%増、決算額R4決算比14,929千円10.1%増）。
- ・ 経常事業費は当初予算配分89,195千円、SciFinderおよびOA出版受益者負担額14,153千円を

加えた結果、最終配分総額 103,348 千円、決算額 98,093 千円であった。前年度の当初予算配分 108,518 千円から減額となり、前年度決算額 121,140 千円からも減額となった（当初予算額 R4 予算比 19,323 千円 17.8%減、決算額 R4 決算比 23,047 千円 19.0%減）。

- ・本年度の学生用資料費は、前年度に続き、運営費交付金のミッション実現加速化係数（1.6%）の減額を適用せず、当初配分は前年度と同額の 40,000 千円を維持した。電気料金等光熱水料の価格上昇に対応するため、年度当初は各館室への配分額の 30%を保留とし、予算の状況をみて保留の解除及び執行を行い、SciFinder 分（9,133 千円）を除いた決算額 41,271 千円となった。大学文書史料室管理運営経費は前年度から 1.6%減の 6,019 千円とした。
- ・附属図書館長裁量経費から、医学分館空調機取替に伴う天井工事として 700 千円を、転換契約に伴う追加料金として 945 千円を、社会科学系図書館書籍移動作業として 259 千円を執行した。
- ・各部局が施設面積に応じて負担している建物老朽化対策経費 4,617 千円が差引かれているが、収入確保インセンティブ経費より繰入れ充当している。
- ・以上の既定経費（経常運営費と経常事業費、大学文書史料室運営経費、神戸大学出版会既定経費合計）の当初予算配分は 250,874 千円で、前年度の当初予算配分 254,953 千円から 4,079 千円 1.6%の減であった。年度中の複写料収入を含む収入確保インセンティブ経費等からの繰入を加えた既定経費の予算総額は 273,289 千円、決算総額は 271,257 千円となり、予算残額は 2,031 千円となった。

## ② 臨時的経費

- ・教育研究基盤資料整備費として確保した 402,964 千円により、外国雑誌を含む電子ジャーナル・データベースの維持及び整備を実施した。
- ・図書館時間外開館経費として確保した 6,533 千円により、全館室（経済経営研究所図書館を除く）の時間外開館を実施した。
- ・学内予算措置による入退館管理システム更新（18,810 千円）を、社会科学系図書館、自然科学系図書館、医学分館の 3 館で実施した。
- ・施設営繕事業として医学分館の換気設備改修工事（5,783 千円）を実施、また建物老朽化対策経費にて、社会科学系図書館の書庫 B 棟防水改修工事（4,971 千円）、人文科学図書館の C 棟等外壁補修工事（649 千円）を実施した。

## ③ その他の経費

- ・シナジーマーケティング社との間でネーミングライツ・パートナーの協定が締結され、社会科学系図書館 1 階ラーニングcommonsを令和 5 年 7 月から 3 年の期間「SynergyMarketing 101 Studio」と呼称することとなった。ネーミングライツ料として年間 180 万円（税抜）の収入があり、50%が図書館への配分となる。



(SynergyMarketing 101 Studio ネーミングライツ施設開設記念式典 令和 5 年 7 月 25 日開催)

- ・電子ジャーナルの契約では、1社との転換契約を前年度から継続し、OA出版を希望する場合は、著者から図書館に一定額を負担してもらうことで、著者が高額なAPCを支払うことなくOA出版することが可能となっている。本年度は著者負担額として6,300千円の振替があった。
- ・「人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業委託業務」の申請が採択され、令和9年度までの5年間実施する。初年度の令和5年度は、「新聞記事文庫」などの経済関係資料や震災文庫、貴重書などのデジタル化を推進し図書館HPで公開した。
- ・学術情報流通活性化経費として9,850千円が配分され、URAを1名採用した。

#### ④ 特記事項

- ・学修環境の向上のため、株式会社オカムラ神戸支店から、ミーティングチェア5脚の寄付があり、自然科学系図書館3階ラーニングcommonsに設置した。
- ・収入確保インセンティブ経費に計上しているILL等収入については、複写機使用料含め本年度は5,530千円となり、前年度6,271千円から約12%の減少となった。

#### ⑤ 学内貸付・預り制度の利用

- ・図書館内設置の目録検索用端末を更新する目的で、平成30年度に研究科長等運用経費として借入れた2,000千円の返済のため、400千円を充てた（5年返済の5年目）。

(単位:千円)

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	合計
目録検索用端末 更新経費	貸付制度	2,000						2,000
	返還		400	400	400	400	400	2,000

※令和5年度附属図書館予算及び決算を巻末に添付する。

### <図書資産の管理>

#### ① 図書資産点検

- ・本年度の資産点検は、社会科学系図書館、人文科学図書館、医学分館及び保健科学図書室で実施し、点検総冊数は223,804冊であり、アウトソーシングの契約により実施した。

#### ② 不明資料の追跡調査

- ・令和2年度～前年度資産点検時から不明となっている資料について、追跡調査を実施した。  
(資産点検時不明資料4,408点、追跡調査による発見資料3,548点、追跡調査後不明資料860点)

#### ③ 不用決定

- ・不明後3年以上経過している資料(令和元年度資産点検時からの不明資料)を不用決定した。(11点、資産価格7,139円)
- ・令和元年度以前に退職等により離籍した教員の研究室不明図書を不明後3年以上経過している資料として不用決定した。(2,622点、資産価格9,275,570円)
- ・重複資料やオンラインで利用可能となった資料等を不用決定した。(20,582点、資産価格89,571,155円)

## ◆評価と課題

本年度の当初予算配分額は、前年度から 4,079 千円減額の 250,874 千円となり、光熱水料の高騰や物価高対応などもあり苦慮することとなった。

時間外開館の実施においては、既定経費の減少により、前年度に続いて本年度も令和元年度以前の実施規模の維持が困難であったことから、学内予算要求を行い、6,533 千円の予算措置を受けた。図書館配分の 10,000 千円とあわせて、経済経営研究所図書館を除く全館室にて、時間外開館を実施したが、前年度改修工事中のため休館していた自然科学系図書館の時間外開館が再開したことから、各館あたりの経費としては減少となったため、5 月から開館時間の短縮や総合・国際文化学図書館の日曜開館を行わないなどの対応に迫られた。図書館の既定経費で時間外開館を維持することは難しく、今後も予算確保が課題である。

また、学生用資料費についても、いままでは維持に努めていたが、これ以上の経費節減が難しくなってきたことから、令和 5 年度第 6 回附属図書館運営委員会で 1.6%の削減を提案し承認された。

なお、外部資金としては、ネーミングライツ 2 社、「人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業委託業務」、学術情報流通活性化経費などを得ることができた。

今後もネーミングライツをはじめ外部資金の獲得にも注力しつつ、限られた規模の予算を適切に執行していく必要がある。

## (4) 施設整備・システム整備

### <各館室の施設整備・設備更新>

- 本年度における主な事項は、以下のとおりである。

社会科学系図書館	空調機修理(1 階リフレッシュルーム)、入退館管理システム更新、書庫入退館管理システム修理、自動貸出装置修理、書庫 B 棟防水改修工事、閲覧室照明器具取替(フロンティア館 1 階)、管理棟自動火災報知設備受信機改修・基板交換
自然科学系図書館	無線アクセスポイント 5 台入替、入退館管理システム更新、ブックチェッカー更新、既存書架の改造および間仕切り設置工事(集密書庫 2 階、3 階)、ラーニングコモンズ什器追加購入(昇降式机 5 台、椅子 10 脚)、会議室用什器更新(机 12 台、椅子 25 脚、台 2 台)、中庭階段設置
人文科学図書館	天井および床補修工事、除湿機ドレン処理(A 棟 1 階書庫)、C 棟等外壁補修工事、内装(床板腐食等)修繕(C 棟地階集密書庫)、空調修理(C 棟 1 階貴重書室)
人間科学図書館	除湿機更新、スチール書架新設(A 棟 1 階書庫)、照明設備改修(A 棟 2 階閲覧室)
医学分館	空調・換気設備更新および天井修理、入退館管理システム更新、除湿機設置(地階書庫)、電動式集密書架部品交換(地階書庫)
保健科学図書室	監視カメラ更新
海事科学分館	自動貸出装置修理、除湿機設置(2 階書庫)、トイレ照明取替・便座取替

### <安全点検>

- 前年度は改修工事中のため行わなかった衛生管理者による自然科学系図書館の安全衛生巡視を復活させた。附属図書館安全衛生会議を、構成単位である社会科学系図書館と自然科学系図書館と大学

文書史料室の3館室のみならず、附属図書館全体の安全衛生事項の周知・報告の場として運用しており、本年度はメール回議にて4回開催した。

- 安全衛生活動計画を策定し、週1回の衛生管理者による巡視を実施した。また、年1回図書館独自の自衛消防・防災訓練の実施を計画し、全館室で実施した。
- 火元責任者による防火防災の自主点検を実施した。

### <情報機器の更新>

- 利用者用PC等の設置台数は次のとおりである。

	総・国	社会	自然	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
PC台数	8	18	4	11	7	0	5	3	3	59
蔵書検索用端末等(*1)	(8)	(14)	(4)	(5)	(6)	(0)	(5)	(3)	(2)	(47)
スタンドアロン	(0)	(4)	(0)	(6)	(1)	(0)	(0)	(0)	(1)	(12)
貸出用PC	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10
ノート	(10)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(10)
無線LANAP(*2)	6	8	11	3	2	0	4	5	3	42

注)

(\*1)「図書館向けデジタル化資料送信サービス」「歴史的音源(れきおん)配信サービス」に対応する端末を含む

(\*2) 附属図書館内に情報基盤センターが設置

### <システム整備>

- 令和4年9月に更新した図書館システムについて、機能改善や問題点の解消を随時行った。
- 業務用PCについて、使用年数が長い機器を優先に機器更新を実施した。

### <自動貸出装置等>

- 自動貸出装置等の設置場所は次のとおりである。

自動貸出装置	全館室(研究所を除く)
入退館管理システム	全館室(研究所を除く)
BDS(無断持出防止装置)	全館室(研究所を除く)
24時間入退館管理システム	医学分館
セルフ式コピー機(コイン式等)	全館室

### ◆評価と課題

雨漏り等による水濡れ解消のため、社会科学系図書館書庫の防水改修工事および人文科学図書館C棟外壁補修工事を建物老朽化対策経費によって実施した。

空調機については、前年度から予算要求をしていた医学分館の空調・換気設備更新およびそれに伴う天井修理を学内営繕費にて実施完了した。また、本年度は医学分館に加え、社会科学系図書館1階リフレッシュルームと人文科学図書館貴重書室の空調機も修理を行った。ただし、夏季の高温多湿に機器の老朽化も相まって常に故障の懸念があるため機器本体の更新の必要性は高く、厳しい予算状況が続く中、限られた範囲で適切に対応するとともに、施設部や大学執行部等に予算措置の必要性を引き続きアピールしていく必要がある。

前年度完了した自然科学系図書館施設改修によって、学修支援機能の強化を目的としたラーニングコモンズ設置と、資料収容力強化を目的とした書庫増床を果たし、令和5年4月にリニューアル開館した。4階のイノベーションスタジオ、コラボレーションルーム(3室)、3階のオンラインポッ

ド（個室・4室）、サイレントスペースは常に高い利用率となっており改修の効果が顕著になっている。3階ラーニングcommonsの座席もおおむね満席なことが多いことから学修に適した什器増設を行い、学修環境がより向上したと言える。

海事科学分館建物の改修については、施設部、海事科学研究科とも意見交換を行いつつ、ラーニングcommons・イノベーションcommonsの新設による教育研究支援と地域貢献の機能強化を図ることを目指して、令和6年度概算要求を行ったが不採択となった。引き続き深江キャンパス全体の改修のマスタープランの動向を踏まえつつ、改めて準備する。また、改修により書庫面積が減少することも想定し、除籍等で不用な図書の整理を引き続き進めていく。

医学分館においては、図書館を含む管理棟の建物が数年後に改修が必要となる築年数を迎えると、施設改修が遠からず実施となる可能性があり、その場合は医学分館も改修工事を実施することになるため、動向に留意する。また医学研究科によるラーニングcommons設置工事が行われ、令和6年度前半に竣工予定であり、医学分館の学修環境の整備計画を策定する際には、ラーニングcommonsの運用と実際に考慮する必要がある。

なお、各館室改修等の進め方については、『神戸大学附属図書館今後10年の運営方針について』において、その指針を示している。

システムについては、学内予算措置により、入退館管理システムの更新を、社会科学系図書館、自然科学系図書館、医学分館の3館で実施した。図書館システムについては、令和4年9月のリプレイス以降、概ね問題なく稼働している。今後はシステムの安定した運用の維持と、改善を要する点への対応が課題である。また、令和7年度中に予定されている次期キャンパス情報ネットワークシステム（KHAN2025）への更新、令和8年度中に予定されている次期会計業務システムへの更新について、円滑に移行できるよう対応する必要がある。

## （5）図書館界での諸活動

### <国立大学図書館協会>

- ・ 令和5年6月末まで西ブロックの監事館を務めた。
- ・ オープンサイエンス小委員会、システム委員会の委員を務めた（事務部長）。
- ・ オープンサイエンス小委員会タスクフォースに、係長2名が参加した。
- ・ 令和5年度国立大学図書館協会近畿地区協会助成事業の実施担当となり、「西洋古典資料保存講習会」を開催した（12月1日、実施形式：対面、Zoomによるハイブリッド形式）。全国の国公立大学図書館、大学共同利用機関から31機関82名の参加申込みがあり、うち対面参加28名、オンライン参加54名であった。
- ・ 京都大学・大阪大学・神戸大学が主担当で実施する国立大学図書館協会近畿地区協会助成事業「きみも大学図書館で働いてみないか」（通称：キダハミ）に係員2名がワーキングメンバーとして参加した。
- ・ 令和5年度国立大学図書館協会ビジョン2025推進事業の助成を受け、英国オープンアクセス政策対応に関する調査のため係長1名を英国に派遣した。（派遣期間：2月10日～18日）

### <オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）>

- ・ 運営委員会委員を務めた（事務部長）。
- ・ 係員1名が作業部会員を務めた。
- ・ 作業部会にて活動中の係員1名と当館オープンアクセスWGの係員1名が、英国で開催された「国際デジタルキュレーション会議（IDCC2024）」に出席ならびに現地の大学の視察を行った。（派遣

機関：2月17日～25日　うち19日～21日はIDCC2024出席)

### <国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター拠点連携委員会>

- ・ 係長1名が拠点連携委員会委員を務めた。(令和元年度から継続)

### <兵庫県大学図書館協議会>

- ・ 引き続き、会長館、事務局として協議会の運営にあたった。
- ・ 7月28日に第122回総会をZoomによるオンライン形式にて開催し、30機関45名が参加した。相互協力便覧について利用頻度の調査を実施し、次年度以降の事業継続を協議すること、次年度の会費については徴収しないことが承認された。また、学生による図書館サポーターについて事例報告と質疑応答を行った。
- ・ 今後の事業について、1月15日～2月16日の期間で加盟館にアンケート調査を行った。
- ・ 研修事業については、研修担当館として、前述の「西洋古典資料保存講習会」を国立大学図書館協会近畿地区協会と共催で企画・実施した。また、見学会を9月22日に追手門学院大学・総持寺キャンパスのアラムナイライブラリーで実施した。

### <研修等への講師・発表者の派遣>

- ・ 他機関、団体が開催する研修や講習会の講師・担当者等として、当館職員を次のとおり派遣した。

研修名	主催	会場	日時	講師等
第2回 JPCOAR Webinar	JPCOAR	オンライン	8/8	電子図書館担当係員
デジタルアーカイブフェス 2023	国立国会図書館 内閣府知的財産 戦略推進事務局	オンライン	8/25	震災文庫担当係長
ワークショップ 2025 即時 OA 対応 を考える	国立大学図書館 協会資料委員会	オンライン	11/27	情報システム担当係長
障害者サービス担当職員向け講座 (講義、実習)	国立国会図書館 日本図書館協会	オンライン	11/29、 30	自然科学系情報サービス 係員

### <その他>

- ・ 近畿地区国立大学法人等職員採用図書系専門試験実施委員会の委員を務めた。
- ・ 大学図書館近畿イニシアティブ運営委員会の委員を務めた。

### ◆評価と課題

国立大学図書館協会や兵庫県大学図書館協議会の活動において、本年度も Web 等での活動をとおして会員間の連携と協力を図ることに努め、それぞれの図書館機能の向上を支援するとともに、学術情報資源の共同整備と相互利用を促進している。

他機関が開催する研修事業に講師や担当者等を積極的に派遣することは、図書館諸団体の活動・運営に寄与するのみならず、参加する職員の資質向上につながるものであり、大いに評価できる。今後も推進が期待される。

# 令和5年度 神戸大学附属図書館年次報告

## <付録>

神戸大学附属図書館今後10年の運営方針について	付録1
KU VISION 2030	付録2
達成度評価	
令和5年度事業年度に係る業務の実績（第4期中期目標）	付録3
数値結果実績（第3期～第4期）	付録4
達成度評価の根拠資料	付録5
図書館利用者アンケート結果	
附属図書館開催イベント・セミナー等のアンケート結果	
附属図書館に関する自己点検・評価結果、 及びそれを踏まえた対応措置	付録6
基本統計表	
蔵書・受入等の現況（各館室別）	付録7
サービス業務の現況（各館室別）	付録8
電子的情報サービスの現況	付録9
図書館組織図・事務組織図	付録10
附属図書館諸会議（議題一覧、委員名簿）	付録11
附属図書館予算・決算表（運営経費、資料費）	付録12
附属図書館活動日誌	付録13

神戸大学附属図書館今後10年の運営方針について  
(平成29年11月8日～令和9年3月31日)

趣旨

神戸大学附属図書館は、神戸大学の使命に基づき、世界トップクラスの教育・研究活動を将来にわたって支える学術情報基盤としての役割を担うとともに、人類の知の発展を導く卓越した研究成果を世界に発信する拠点となることを理念として掲げ、学内外にサービスを提供してきた。しかし、法人化後3度目の中期目標期間を迎えて、大学をとりまく環境は大きく変容し、大学図書館の果たすべき役割も、大学の基本機能としての従来在り方に加えて、教育・研究支援組織としての新たな方向性が求められている。本方針は、今後10年を視野に置き、図書館機能の強化と革新のために用いるものとして定める。

1. 知を創出する「場」の提供

(1-1) アクティブラーニング等新しい学習スタイルに対応した環境の整備

神戸大学ラーニングコモンズ(LC)検討ワーキンググループ報告書の構想に基づき、附属図書館のうち4館に基幹となるLCが整備された。LC未設置の館室においても、改修に合わせてLCのスペースを確保し、双方向型授業やアクティブラーニングなどの課題解決型の能動的学習の推進を支援する。また、PC必携化等の学生のICT環境の変化に対しても多様な利用形態に対応した学習空間を整備する。

(1-2) 分野を超えた研究をつなぐ場としての環境整備

本学が掲げる文理融合の研究を強力に推進するため、自然科学系図書館に大学院生レベルの研究ディスカッション、プレゼンテーションの練習、サイエンスカフェ等が行えるスペースを確保し、部局を越えた融合研究を醸成する場として展開する。

(1-3) 各館室の改修

前2項を達成することを主眼とし、(2-4)に掲げる蔵書の分担収蔵も考慮しながら、未改修の医学分館、海事科学分館の改修計画を各キャンパス関係部局及び財務部・施設部等と調整・立案し、実現に向けた予算要求を実施する。

2. 蔵書ならびに知識や情報の共有

(2-1) 電子ジャーナルをはじめとする研究基盤としての資料整備

先端研究と文理融合を掲げる本学にとって研究基盤の充実は不可欠である。大手出版社の電子ジャーナルパッケージやデータベースは、価格の上昇や為替変動、消費税の影響を受けながら契約規模を維持してきた。現在は教育研究基盤資料整備費として全学予算の中に

組み入れられており、多くの利用実績がある。今後、限られた予算の中で最大限の研究基盤を、全学的な合意を得ながら整備していく。

#### (2-2) 学習の基礎となる学生用図書整備

附属図書館は法人化以降、学生用図書費の確保を最重点事項として、資料整備に努めてきた。平成25年度からは、教員と連携してシラバス型パスファインダー（授業に関連する参考文献リスト）「KULiP」を作成し、掲載図書を複数冊備えたコーナー設置を開始した。今後も協力教員を拡大し、授業で指定される参考文献・必読図書を網羅的に収集し、利用に供するとともに、多数の同時アクセスが可能で学外からも利用でき、大規模授業への教材提供に適した電子書籍を積極的に導入し、自学自習に必要な学生用図書の整備をさらに進める。

#### (2-3) 国際化に対応した資料整備、サービスの提供

グローバル人材育成事業から配分を受けて整備した英語多読テキスト、各言語の検定試験問題集等の語学資料や留学関係資料を引き続き充実させ、本学の学生の国際性を一層涵養する。また世界から参集した優秀な留学生・研究者に対して、資料整備に加えて外国語によるレファレンス等の多文化・多言語サービスを提供し、学習・研究活動をサポートする。

#### (2-4) 全館室の効率的な資料収集と、蔵書の分担収蔵

9館室で構成される附属図書館は、従来より総合・国際文化学図書館を学部1・2回生向け、及び複合分野・基礎的資料の重点館とし、他の館室はそれぞれ学部3回生以上を対象に専門的な資料を収集する方針としている。各館室間で資料を流通させる図書館デリバリーサービスを利用することにより、館室間での資料重複購入を最小限とする。また、すでに所蔵している重複資料については可能な限り処分するとともに、利用頻度の低い資料や製本雑誌の管理については、共同利用書庫としての手動式集密書架を要求し、スペースの有効活用を図る。

#### (2-5) 大学固有の学術情報資源、教育研究成果のオープン化の推進

社会への説明責任及び大学のブランディングの観点から、神戸大学の所有する学術情報資源や教育研究成果のオープン化を推進し、長期的な保存をはかる。「神戸大学オープンアクセス方針」（平成29年1月学長裁定）に基づき、本学教員著作の学術論文をリポジトリに登録する業務を図書館が積極的に担い、さらにエビデンスとしての研究データの登録が可能なように、一部の部局や情報基盤センターと連携してシステム・サーバ構築の最適化を図る。

### 3. 人材の育成と参画

### (3-1) 教員・学生・一般利用者など多様な人材の参画

図書館の活動は多様化しており、これまでも教員の協力を得て展示会やライティングセミナーなどを開催したり、学生の提案を広報活動に生かしたりしてきた。今後は図書館に関わる様々なステークホルダーに積極的に働きかけ、教員、職員、学生、一般利用者等と緊密に連携しながら、それぞれのスキルや知識を活かしつつ、新たな知の共有と創出を促す。

### (3-2) 新たな人材の確保と職員の資質向上

各館室のサービスと蔵書構築に必要な専門的知識の習得など、職員の資質向上のための研修を行う一方、オープンデータの推進に関わるなど新たな人材の確保や育成を目指す。また、学術情報流通の変化に伴い、海外の動向を踏まえた新たな知識やスキルの習得が求められているため、職員を国際会議に参加させたり海外事例の調査研究に継続して派遣したりするなど、組織として育成の環境を整える。

## 4. 財政的な課題ほか

### (4-1) 各館室維持費の確保

全館室総計で2万㎡を超える面積を保有・運用している。利用対象者は学生・教職員合わせて2万人を超え、年間300日以上開館するための光熱水費、備品・設備・建物の維持・更新には一定の金額が必要である。附属図書館は外部資金等による補填が期待できないため、維持経費を安定的に確保することが重要である。

### (4-2) 外国雑誌センター・電子図書館事業について

外国雑誌センターは一橋大学とともに人文・社会科学分野における外国雑誌の収集拠点として設置されている。また、電子図書館事業も全国15大学に配分され、本学の電子図書館は震災文庫・新聞記事文庫をはじめとしたコンテンツが外部から高い評価を受けている。もともと法人化前に措置されていた予算が運営費交付金に組み入れられており、これらの事業は今後とも堅実に運用していく責任がある。

### (4-3) 大学文書史料室及び大学出版会について（附属図書館が事務を担当する部署）

附属図書館は従来からの図書館業務以外に、大学文書史料室（平成22年度）、大学出版会（平成29年度）の事務を担当している。それぞれに予算や人員、設備等の課題があるが、関連する部局等と連携しながら安定的な運用と発展をめざす。

（平成29年11月8日 附属図書館運営委員会承認）

（令和2年7月6日 附属図書館運営委員会改訂）

（令和3年7月6日 附属図書館運営委員会改訂）

## 教育支援

教養・専門教育を支え新たな価値創造環境を強化する

### ■学修資料の整備

- ・教科書・シラバス掲載資料など、教養教育・専門教育を支える基本的な資料を整備する
- ・百科辞書・専門分野の事典などを整備する
- ・電子ブック・新聞データベース・電子教材などを整備する

### ■情報の活用支援

- ・「情報」の探し方等に関する基本的な情報リテラシーの習得を支援する
- ・文献管理ソフトウェアなど情報活用ツールの利用を支援する
- ・学生の能動的学修を誘発する広範な支援を行う

### ■研究資料の整備

- ・研究に不可欠な電子ジャーナルやデータベースなどの購読を維持する
- ・費用対効果に留意し、大学が必要とする資料を戦略的に整備する

### ■学術成果のオープンアクセスの推進

- ・神戸大学の教育研究成果（学術論文・博士学位論文・紀要論文・教材・研究データなど）を集中的に整備し、DOIを付与して学術成果リポジトリにより公開することで他機関等からの可視性、利便性を向上させる
- ・様々な方法での学術成果のオープンアクセスへの支援を行う

## 社会貢献

大学や地域の記録を保存するとともに電子化・公開を進める

### ■デジタル・アーカイブの構築を通して デジタル・ヒューマニティーズの基盤を形成

- ・図書館が所蔵する貴重書など様々な資料の電子化・公開を進める（震災文庫、新聞記事文庫、神戸開港関係資料ほか）
- ・関係部局等と連携して大学や地域の記録を収集・保存し、電子化・公開を進める

### ■神戸大学の歴史を伝える

- ・大学文書史料室を中心に神戸大学の歴史に関する資料（歴史公文書等）を収集・保存するとともに一般の利用のため調査業務や展示・公開を行う

### ■学修環境の整備

- ・多様なアイデアを引き出し主体的な学修活動を促進するため「ラーニングコモンズ」を整備する
- ・個人学習のための「自習室」を整備する
- ・資料を用いて学習・調査するための「閲覧室」を整備する

### ■資料を活用した知の交流

- ・独自性のある資料や教科書にでてくるような著名な図書を活用した展示・解説をおこなうなど知の交流事業を実施する

## 研究支援

研究のインフラを維持するとともに神戸大学の教育研究成果を公開することで可視性を向上させる

## 知の広場

神戸大学全構成員の情報インフラとして現実空間・仮想空間双方に知の交流のための広場を展開する

# 知的刺激と交流をひろげる 附属図書館



## 課題と現状

DX進展への対応

### ■デジタルアーカイブの構築・学術成果のオープンアクセスの推進

### ■情報リテラシー教育の推進

- ・図書の探し方、情報の探し方、データベースの検索方法などの講習会を実施

### ■ラーニングコモンズの整備

- ・人文科学図書館(2013),社会科学系図書館(2014),総合・国際文化学図書館(2015),保健科学図書室(2021),自然科学系図書館(2023)

### ■図書館室の協同によるスペースの有効活用

## 展望

2023 から 2030 へ

- ・資料電子化に要する経費の確保をはかるとともに大学・地域の記録・記憶である資料や貴重資料等の電子化・公開を行うとともに、リポジトリや様々な方法での学術成果の公開を進める

- ・YouTubeやZoom等を活用し、情報の取扱いに関するセミナー等の内容を充実させる

- ・多様な人との交流・議論・協同・創造的学習のための空間であるラーニングコモンズを海事科学分館・医学分館にも設置し、イノベーションをうみだす価値創造空間としての活用を促進する

- ・全学の図書館室が協力し、各館の特色を活かしつつ、全学的観点からスペースの有効活用を図る

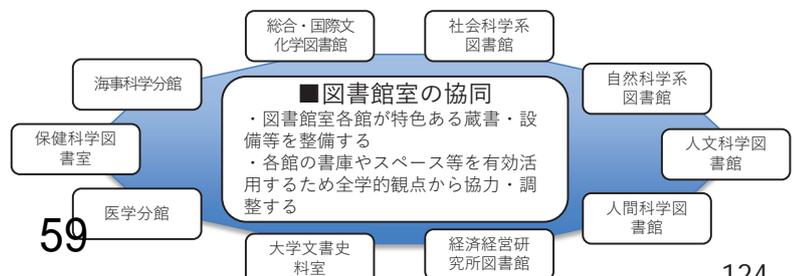


新聞記事文庫  
Newspaper Clippings Collection

震災文庫  
Great Hanshin-Awaji Earthquake Disaster Materials Collection

貴重書・特殊コレクション  
Special Collections

神戸大学学術成果リポジトリ  
KERNEL - Kobe University Repository



# 2030年までのロードマップ



中期計画期間	第4期						第5期
	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028～2030年度
教育支援	学修資料の整備 (学生用資料・電子ブック・新聞データベース・電子教材など)						学生用資料費確保による学修資料の整備
	学生用資料の充実、電子ブック拡充、学習用データベース・電子教材等の提供による教育支援						
知の広場	情報リテラシー教育・利用者支援の推進 (ガイダンス・セミナー等の充実)						図書館DX推進による利用者支援
	図書館DXによる利用者支援の検討・推進						
社会貢献	ラーニングコモンスの整備 (自然科学系図書館・海事科学分館に設置)						ラーニングコモンス活用による学習支援
	自然科学系図書館 ラーニングコモンス完成 梅地区 ラーニングコモンス予定 海事科学分館 深江キャンパス再開発による改修予定 図書館室の協同によるスペースの有効活用 (ラーニングコモンス・書庫等の共同利用)						
研究支援	資料を活用した知の交流事業 (資料展)						社会貢献となる資料展の継続開催
	2022年度資料展 古典籍でみる鎖国下の漂流 2023年度以降 震災資料・古典籍等を利用した資料展						
社会貢献	デジタルアーカイブの構築						新聞記事文庫 戦前期 公開完成
	新聞記事文庫のテキスト化・公開 (科研費等外部資金獲得による公開促進)						
研究支援	貴重資料などの電子化・公開、歴史的典籍ネットワーク事業による古典籍の電子化・公開						資料電子化・公開推進
	学術成果のオープンアクセスの推進						
研究支援	神戸大学の教育研究成果 (学術論文・博士学位論文・紀要論文・教材・研究データなど) の公開						学術成果の電子化・公開推進
	教育研究基盤資料の整備 (電子ジャーナル・データベース)						
研究支援	第4期中期計画期間前半(2022-2024) 上限4.1億円			第4期中期計画期間後半(2025-2027) 未定			電子ジャーナル・データベースの維持提供による教育研究支援

令和5年度事業年度に係る業務の実績(第4期中期目標)

国立大学法人神戸大学 第4期中期目標

I 教育研究の質の向上に関する事項

1 社会との共創

2 教育

3 研究

4 その他社会との共創、教育、研究に関する重要事項

II 業務運営の改善及び効率化に関する事項

III 財務内容の改善に関する事項

IV 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する事項

V その他業務運営に関する重要事項

KU VISION 2030

たゆまざる情報の収集・発信と利活用促進(附属図書館情報戦略)

KU VISION 2030		実績(アウトプット/アウトカム)
教育支援	<p>教養・専門教育を支え新たな価値創造環境を強化する</p> <p>■学修資料の整備 ■情報の活用支援</p>	<p>【アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生用資料費として当初配分で40,000千円を確保し、各館室の学生用資料やシラバス掲載資料等の整備を実施。E-Study事業費は別枠として4,664千円確保。</li> <li>・郵送による資料貸出を通常サービスとして実施。(R5年度3月末時点で延べ14件、22冊)</li> <li>・チャットによる利用者相談受付を通常サービスとして実施。(R5年度3月末時点で延べ169件)</li> <li>・全学共通科目「情報基礎」(1年次必修)の1コマ(90分)を、附属図書館各館室の職員で構成する「情報リテラシー教育支援ワーキンググループ」のメンバー12名が担当、昨年度同様オンデマンド型遠隔授業で実施。(前期後期計23回、2,641名受講)。</li> <li>・初年次セミナーにおける図書館ツアー・ガイダンスを、8学部に対しまして対面で計45回実施、1,495名受講。前年度から実施学部が2学部、回数が7回増え、受講者数は2倍弱となった。</li> <li>・教員などからの依頼を受けガイダンスを行うオーダーメイドガイダンスを計36回実施、962名の参加があった。</li> <li>・教養教育院の授業(総合教養科目)「阪神・淡路大震災と都市の安全」をオーダーメイドガイダンスとして対面(受講者126名)にて実施、また震災文庫の紹介を「阪神・淡路大震災B」でオンデマンド型(受講者12名)にて行った。</li> <li>・学生の多様なニーズを直接選書に反映させる学生選書ツアーは、前年に続き店頭選書で開催し、10/27午前と午後の2回実施し、14名参加、128冊(277,559円分)購入。交流会を12/8に開催し、4名参加した。選書ツアーで選んだ本の感想の紹介や、選書ツアーで選んだ図書POPを作成し展示を行った。</li> <li>・R5年度末時点でのシラバス型パスファインダー「KULiP」は公開数41件、資料/情報の探し方ガイドは公開数22件、セルフラーニング資料は新規作成17件、更新12件の計29件登録。YouTubeチャンネルは公開数33件、更新13件であった(セルフラーニング資料との重複あり)。YouTubeのチャンネル視聴回数は17,828件と前年度10,040件から増加している。</li> <li>・学生と職員の協働の取組として、学生サポートチームULiCSが読書会、おすすめ本の展示、全国大学ビブリオパトル予選会の開催などのイベントを行い、活発に活動した。広報誌は年2回(4月,10月)に発行・Webにて公開している。</li> </ul> <p>【アウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学部生及び大学院生の図書貸出冊数は、231,684冊(R5年度末)となり、前年度(217,652冊)より1割弱増加。</li> <li>・電子ブックコレクションMaruzen eBook Libraryのアクセス回数は27,009回(R5年度末)となり、前年度(31,763)より若干減少したが、利用傾向としては定着した感がある。</li> <li>・全学共通科目「情報基礎」、学生アンケート(回答者1,613名)では、昨年度と同様に肯定的な評価を得ている。</li> <li>・利用者アンケート(回答者1,062名)では、「学習・教育・研究に必要な資料がそろっている」に大多数の同意を得ており、肯定的な評価を得ている。</li> <li>・初年次セミナーにおける図書館ツアー・ガイダンス、実施担当教員へのアンケート(回答者34名)にて全員から肯定的評価を得た。</li> <li>・学生選書ツアー、アンケート回答者11名のうち全員が満足と回答。</li> </ul>
	<p>神戸大学全構成員の情報インフラとして現実空間・仮想空間双方に知の交流のための広場を展開する</p> <p>■学修環境の整備 ■資料を活用した知の交流</p>	<p>【アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類感染症になったことから、閲覧席数などの制限を解除し開館を行った。時間外開館については、時間外開館経費10,000千円、事業経費は前年同様6,533千円の予算配分があり、自然科学系図書館時間外開館の再開分等により経費が前年度より増額となったことから、全館室にて全体的に短縮して時間外開館を実施した(経済経営研究所図書館を除く)。</li> <li>・自然科学系図書館が令和5年4月にリニューアルオープンし、グループワークに適した内装と機器、什器等を備えたスペース、ハイブリッド会議やプレゼンが可能な機器を備えたイノベーションスタジオ、畳コーナーやオンライン利用のための個室等様々なタイプの学修エリアを整備した。</li> <li>・自然科学系図書館の利用促進を目的に、図書館内の資料を使って問題を解きながら館内を巡るゲーム「スカベンジャーハント」(4/17-5/31、回答用紙配布数188名、回答用紙提出数50名)「スカベンジャーハントお疲れ様でした会」(6/14、参加者18名)、化合物をカードゲームにした「芳香族神経衰弱」(6/23、参加者13名)のリニューアル記念イベントを開催した。</li> <li>・シナジーマーケティング社とのネーミングライツが締結され、社会科学系図書館ラーニングコモンズが7月から「SynergyMarketing101 Studio」の愛称となり、汚れの目立ってきたホワイトボードを入れ替えるなど環境の整備を行った。</li> <li>・「SynergyMarketing101 Studio」にて、シナジーマーケティング社主催のセミナー「自己分析の落とし穴と満足度の高い就活の進め方」(1/9、参加者7名)を開催した。</li> <li>・学生の読書推進及び図書館利用・貸出促進のため、前年度に続き「読書マラソン」を開催(11/15~1/31、延べ31名参加)。LINEを使用して読書した冊数によりポイントが貯まり、ポイントに応じて景品を受け取ることができる。参加者から送信された読書の記録をOPAC書評機能で公開。</li> </ul> <p>【アウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R5年度の年間入館者総数は520,038となり、前年度より4割以上入館者数が増加したが、コロナ禍以前の入館者数の6割程度に留まっている。</li> <li>・利用者アンケート(回答者1,062名)では、学習・教育・研究のスペース、設備、情報機器、環境について、大多数で肯定的な評価を得ている。また、グループワークスペースについては、十分ではないという意見も一定あるが、概ね肯定的な評価を得ている。</li> <li>・施設部と共同で実施した改修後自然科学系図書館アンケート(回答108名)にて、9割以上から高い評価を得た。</li> <li>・読書マラソン、アンケート(回答9名)全員から肯定的評価を得た。</li> <li>・スカベンジャーハント、アンケート(回答31名)半数以上からよかったとの肯定的な評価を得た。</li> </ul>

KU VISION 2030		実績(アウトプット/アウトカム)	
研究支援	研究のインフラを維持するとともに神戸大学の教育研究成果を公開することで視性を向上させる	<p>■研究資料の整備</p> <p>■学術成果リポジトリの整備</p>	<p>【アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電子ジャーナルなどの全学共同利用する教育研究基盤資料を計画的・安定的に提供するため、R6年度整備費を予算要求し、424,557千円を確保。</li> <li>電子ジャーナル購読料とOA出版料(APC)の包括契約1社との締結により、R5年度は56論文がOA出版となった。</li> <li>学術情報流通活性化を目的とした経費の配分があり、R6年3月からURA1名を配置し、学術情報流通の現状把握や本学研究者の論文出版状況の調査・分析を実施。</li> <li>「学術成果リポジトリ」のコンテンツ収集に努め、その公開を推進した。(登録総数: 38,550件(R5年度末))。</li> <li>オープンアクセス推進WGの成果として、KUID 登録論文3,322件の著作権調査を実施し、公開可能なものうち前年度以前の調査分も含め282件について登録依頼した結果、116件を登録できた。また、オープンアクセス・オープンサイエンスに関する情報収集を行い、その内容を記事として掲載の上、ニュースレター『Kernel通信』を8月と2月の2回発行した。</li> <li>博士論文インターネット公表に関する説明資料を、神戸大学合格者向けWebサイトにて日本語版・英語版で情報提供している。</li> <li>「人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業委託業務」の申請が採択され、令和9年度までの5年間実施。初年度の令和5年度は、1,300万円の配分があった。「新聞記事文庫」などの経済関係資料及び震災文庫や貴重書などのデジタル化を推進し図書館HPで公開。新聞記事文庫は、テキストデータ3,620記事分を作成し、登録準備をすすめており、テキスト作成済データ3,916件の追加登録を行った。(新聞記事文庫デジタル化記事公開件数327,955件(R5年度末現在))電子図書館事業では、若林泰氏収集文庫に関し、メタデータのチェックおよび不備画像の再撮影を行った。また寄贈者から画像提供のなかった資料のうち1,745点の撮影が完了した。貴重書については、一部破損甚大なものが含まれるため今後の修復作業のための現状調査、修復前の現状調査としての写真撮影等を行った。また同時に史料への理解を深めるための調査研究を行い、翻刻作業も開始している。</li> <li>「デジタルアーカイブフェス2023-デジタルアーカイブで地域の価値を再発見する-」(8/25・オンライン開催、内閣府知的財産戦略推進事務局および国立国会図書館(NDL)主催)にて、地域アーカイブの域内連携・活用及びジャパンサーチとの連携事例報告として、新聞記事文庫の報告を行った。</li> <li>収蔵スペースの有効活用を図るため、重複図書・雑誌等の廃棄を実施。(9館で計16,600冊廃棄)</li> <li>資産点検における不明図書について毎年追跡調査を行い、不明期間が3年以上経過した資料の不用決定を実施(社会系)。</li> </ul>
		<p>【アウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電子ジャーナルのアクセス数は、1,443,730件であった。</li> <li>学術成果リポジトリの年間ダウンロード数は748,225、新聞記事文庫トップページアクセス数は、62,292件となった。</li> <li>KUID 登録論文の著作権調査を実施し、登録依頼した116件を登録できた。</li> </ul>	
KU VISION 2030		実績(アウトプット/アウトカム)	
社会貢献	大学や地域の記録を保存するとともに電子化・公開化を進める	<p>■デジタル・アーカイブの構築を通してデジタル・ヒューマニティーズの基盤を形成</p> <p>■神戸大学の歴史を伝える</p>	<p>【アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>震災文庫における阪神・淡路大震災関係資料の収集・保存・公開を継続して実施。震災デジタルアーカイブ、メタデータレコード、総数: 57,217件、入力件数: 154件、新規受入資料数: 361件(R5年度末)</li> <li>サンテレビジョンと本学が締結した包括連携協定における主要な取組として、サンテレビジョンより提供された阪神・淡路大震災の取材映像(150件)を、人文科学研究科地域連携センターの協力を得て、震災デジタルアーカイブで公開開始(1/16)。</li> <li>国文学研究資料館の構築する古典籍データベースに収録公開のための古典籍電子化として、今年度電子化分16点をR5年10月に、本学デジタルアーカイブにて画像公開、所蔵資料の電子化公開を推進した。「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」は、平成26年度から10年計画で実施された大型プロジェクトの最終年度となり、拠点大学として、歴史的典籍NW事業で撮影・電子化映像公開を行った資料点数は累計2,364点となり、令和5年度中に9,034件のアクセスがあった。</li> <li>資料展「1933-社会科学系図書館誕生90周年-」を会場にて開催し、壁画『青春』の画稿や蔵書印、太平洋戦争中に疎開した貴重書など歴史を物語る品々や資料を館員が作成した説明を付与して学生や広く一般にも公開した。(会期: R5,10/13-12/2)。</li> <li>阪神・淡路大震災発生日にあわせ、震災文庫のリバイバル展示を開催。(会期: R6,1/12-2/8)</li> <li>海事科学博物館・巡回展「ありがとう深江丸」を社会科学系図書館展示ホールにて開催。(会期: R5,4/22-5/31)</li> <li>企画展「海の見える教会から—多文化都市神戸とユニオン教会」(国際文化学研究科教員等による主催)を社会科学系図書館展示ホールにて開催。(会期: R5,6/27-9/27)</li> <li>神戸大学史・巡回展(神戸Ⅱ)「学生寮の昔と今」を社会科学系図書館展示ホールにて開催。(会期: R6,2/17-3/25)</li> <li>国大協近畿地区協会助成事業として「西洋古典資料講習会」を兵庫県大学図書館協議会および一橋大学社会科学古典資料センターと共催で、12/1に対面とオンラインのハイブリッド形式により開催した(31機関82名参加)。</li> <li>中学生の職業体験である「トライやる・ウィーク」に協力し、神戸市内の中学校3校(各校2名、1週間)大学図書館の職業体験として受入した。</li> <li>「KOBE NIGHT PICNIC 2023 みなとアートDAYS」(R5,11/3-5開催、メリケンパーク協議会等主催)のイベント「青空図書館」に協力した。</li> <li>卒業生・放送大学生・EU研究修了証プログラム登録者の入館・貸出を実施した。一般市民への図書館開放や資料の館外貸出サービスを、令和5年5月15日から再開した。</li> </ul>
		<p>【アウトカム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルライブラリーの震災文庫トップページアクセス数は、10,750件であった。</li> <li>デジタルアーカイブ全体の利用数は、406,705件であった。</li> <li>資料展「1933-社会科学系図書館誕生90周年-」アンケート回答者86名のうち9割近くの77名がよかったと回答。</li> <li>「西洋古典資料講習会」、アンケート回答者58名ほぼ全員が「参考になる」との評価があり、参加者より好評を得た。</li> </ul>	

H30~R5 (2018~2023) 年度 数値結果実績 (第3期~第4期)

項番	区分	指標	第3期				第4期		備考(根拠など)
			2018	2019	2020	2021	2022	2023	
			H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5	
1		図書館入館者数	823,380	812,400	76,659	193,979	370,273	520,038	
2		総開館日数(9館の合計)	2,524	2,528	1,759	2,088	2,219	2,475	
3		時間外開館時間数	9,746	9,966	568	1,246	6,497	6,005	サービス業務現況表
4		貸出冊数	250,767	252,937	115,731	224,989	254,356	269,547	
5		学生一人当貸出冊数	12.4	12.5	5.6	11.7	13.3	14.2	
6		学内デリバリー貸出冊数	33,324	34,700	14,298	21,534	25,095	25,503	サービス業務現況表
7		電子書籍アクセス数(丸善)	1,765	3,005	15,171	33,133	31,763	27,009	年次報告
8	教育体制	(新)電子書籍アクセス数(主な海外提供元電子ブック)				9,259	10,210	16,398	
9		ガイダンス等の実施件数	180	171	54	92	117	118	情報基礎,初年次セミナー,ガイダンス等(オーダーメイドガイダンス,新入生向け図書館ツアー,図書館主催ガイダンス,オリエンテーション),英語セミナー,ライティングセミナー
10		ガイダンス等の参加人数	6,603	6,829	2,935	5,451	5,589	6,635	
11		パスファインダー等作成・更新件数(R2までパスファインダー作成件数)	46	33	33	73	84 (180)	88	KULiP (公開件数=作成・更新) 授業資料ガイド及び (作成・更新件数)資料/ 情報の探し方ガイド,セルフラーニング(PDF・動画)の合計 ( )年度末時点での公開件数
12		YouTube利用件数	1,174	1,473	8,967	9,604	10,040	17,828	YouTubeチャンネル視聴回数(4.1~翌3.31)
13		(新)イベント回数(資料展示・巡回展示・各館テーマ展示・トークイベントほか)	60	60	15	41	43	54	資料展示(デジタル資料展含む),各館テーマ展示(テーマ展示/仮想展示/巡回展示(のべ)),トークイベント,読書マラソン/オンライン読書室,選書ツアー,書評・キャッチコピーテスト,その他 年次報告記載より
14		OPAC検索回数	2,642,383	1,954,918	1,500,063	1,716,776	1,981,405	2,032,867	電子的情報サービス現況表
15		アカウントサービス提供回数					208,187	226,081	
16		申込件数・文献複写	6,933	6,353	5,270	6,082	5,367	4,177	
17		申込件数・現物貸借	1,504	1,326	1,079	1,381	1,128	1,017	
18		申込件数・学生希望	1,849	1,866	877	1,486	1,327	1,439	
19		申込件数・貸出期間延長	32,050	34,598	41,154	113,442	130,837	146,802	
20		利用状況確認件数・貸出・デリバリー・予約	49,484	51,656	29,927	56,814	65,573	68,496	
21		利用状況確認件数・文献複写・貸借	8,004	7,838	5,580	6,845	3,402	3,136	
22		その他・メールアドレス登録・変更・削除	382	367	182	201	229	239	

項番	区分	指標	第3期				第4期		備考（根拠など）	
			2018	2019	2020	2021	2022	2023		
			H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5		
23		その他・タグ（新規登録件数）	203	44	128	205	273	659		
24		その他・タグ（人数）	21	15	17	22	51	116	（OPAC）タグ：各自で目印がつけられる機能	
25	研究 体制	EJタイトル数	35,287	35,579	36,418	37,077	37,668	37,836	蔵書・受入等現況表	
26		EJアクセス数	1,201,452	1,265,457	1,334,576	1,420,345	1,419,910	1,443,730	電子の情報サービス現況表	
27		主要データベース	27	26	26	26	26	26	26	年次報告
28		リポジトリ登録数（年間増加数）	1,796	2,851	2,015	1,728	2,021	2,063		
29		リポジトリ登録数（累計数）	27,872	30,723	32,738	34,466	36,487	38,550	年次報告	
30		リポジトリ利用数	1,123,313	1,445,459	2,050,717	2,488,851	1,258,543	748,225	論文等ダウンロード回数	
31		リポジトリ学術論文登録総数	4,588	5,661	6,653	7,539	8,530	9,506	本文まで公開件数	
32		リポジトリ博士学位論文登録総数	2,539	2,720	2,887	3,065	3,234	3,415	本文まで公開件数 修士論文も含む	
33		震災文庫トップページアクセス数	11,661	20,037	15,849	12,734	11,279	10,750	電子の情報サービス現況表	
34		（新）震災文庫メタデータ詳細画面表示数	-	-	-	-	-	93,170	E-Catsから取得	
35	（新）震災文庫ダウンロード数	-	-	-	-	-	43,630	E-Catsから取得		
36	震災文庫資料総数	59,291	60,595	61,516	62,392	56,858	57,217	年次報告		
37	震災文庫新規受入資料数	1,230	1,304	921	876	403	361	R4年度のシステムリプレイスにより、件数の算出方法が変更		
38	震災デジタルアーカイブ・入力件数	4,930	3,088	3,190	2,427	111	154			
39	新聞記事文庫トップページアクセス数	86,405	71,190	81,011	73,734	58,193	62,292	電子の情報サービス現況表		
40	（新）新聞記事文庫メタデータ詳細画面表示数	-	-	-	-	-	271,278	E-Catsから取得		
41	社会 貢献	新聞記事文庫デジタル化記事件数	303,986	311,113	326,956	356,325	327,636	327,955		
42		（新）新聞記事文庫デジタル化記事件数（テキスト作成件数）	-	-	-	-	累計（ ） 新規 （8733）	3,620	年次報告	
43		新聞記事文庫作成件数	15,880	10,383	2,087	11,988	-	-	完了	
44		（新）貴重書・特殊コレクションメタデータアクセス数	-	-	-	-	-	42,269		
45	（新）貴重書・特殊コレクションダウンロード数	-	-	-	-	-	2,514			
46	デジタル・アーカイブ利用数	-	-	-	-	124,301	406,705	R4年度のシステムリプレイスにより、デジタルアーカイブ全体の、メタデータ画面へのアクセス数が算出可となった。R4年度はR4年9月～R5年3月までの値。		
47	展示会年間開催回数	10	7	1	1	5	5	全体		

神戸大学附属図書館  
利用者アンケート調査結果概要  
(令和5年度)

詳細は附属図書館ホームページに掲載

<https://lib.kobe-u.ac.jp/media/enquete-result-2023.pdf>

期間：2024年1月18日（木）～2月29日（木）

## 令和5年度神戸大学附属図書館利用者アンケート調査結果概要

この報告書は、附属図書館のサービス改善のため、2024（令和6）年1月18日から2月29日までの43日間にわたって行った利用者アンケートの調査結果をまとめたものである。調査には、大学が発行するアカウントでのログインが必要な Microsoft Forms を利用し、神戸大学在籍者（学部学生、大学院生、教職員等）から回答を受け付けた。回答数は1,062件であった。

1-1では回答者の利用者区分を、1-2では回答者の所属を確認し、1-3や1-4では社会人大学院生、留学生の別を調べた。在籍者数に占める回答者の比率は約5%（1,062人 / 21,437人）、学生に限れば約6%（1,024人 / 17,162人）であった（在籍者数は『神戸大学データ資料集2023』による）。回答者のうち、最も多かった利用者区分は「学部1年」で、「学部3年」、「学部2年」と続く。また、最も多かった所属は「理学」で、「工学」、「法学」と続く。「学部1年」に限ると、「工学」が最も多く、次いで「経営」、「国際人間」であった。

2-1「図書館に行った目的」で最も多かったのは「個人学習」で、回答者の9割以上が選択しており、次いで「図書の利用」、「休憩・時間つぶし」の順であった。

2-2「よく利用した図書館」で最も多かったのは、「自然科学系図書館」で、次いで「社会科学系図書館」であった。「学部1年」に限ると、「総合・国際文化学図書館」が49%で最も多く、次いで「自然科学系図書館」が30%であった。1-2「回答者の所属」と掛け合わせると、回答者が所属する部局の図書館室がよく利用される傾向にある。「総合・国際文化学図書館」は主に学部1年から2年にかけて履修する全学共通科目が開講されるキャンパスに位置する図書館であるため、他の利用者区分とは異なる傾向にあると考えられる。

2-3「図書館の設備・環境」では、項目ごとに満足度を調査した。各館における5段階評価で示した満足度の平均値は以下の通りである。

### (2-3.5 段階評価の平均値)

	総合・国際	社会	自然	人文	人間	経研	医学	保健	海事
一人で静かに学習・研究できるスペース	4.2	4.3	4.2	4.0	4.5	4.1	4.1	4.2	4.3
グループで利用できるスペース	3.7	4.0	4.2	3.4	2.9	3.9	2.7	3.2	2.9
資料	4.1	4.2	4.1	3.6	3.9	4.0	3.9	4.2	3.8
設備	4.2	4.2	4.1	3.8	4.2	4.0	4.1	4.4	3.9
情報機器	4.1	3.9	4.0	3.7	3.4	3.7	4.0	3.9	3.6
環境（空調など）	4.0	3.7	4.2	3.9	4.0	3.7	3.9	4.2	3.9

「ラーニングコモンズなどグループで利用できるスペース」に対する満足度は、改修によって整備された自然科学系図書館が高くなっている一方で、人間科学図書館や医学分館、海事科学分館の評価は低かった。いずれも館内にグループ学習室を設けているが、ラーニングコモンズが整備されていない図書館である。

2-4 では、「授業・試験期間中」「長期休暇中」それぞれの利用頻度を調べた。最も多かった回答は、「授業・試験期間中」では「週に1~2日」、「長期休暇中」では「利用しない」であった。「学部1年」に限ると、「授業・試験期間中」に最も多い回答は「週に3~4日」で、他の利用者区分とは異なる傾向が見られた。2-2「最もよく利用した図書館」で「医学分館」を選択した回答者に限ると、「授業・試験期間中」に「週に5日以上」という回答が20%を超えて、図書館別では最も多かった。

2-5「よく利用する時間帯」では、「平日14:00-16:00」の回答が最も多く、次いで「平日16:00-18:00」となっており、どの館も平日午後によく利用されていることがわかる。逆に最も少ないのは「土日12:00まで」であった。

3「図書館にあってほしいもの、拡充を望むもの」では、「飲食ができるスペース」や「オンライン授業等を受けられる個人ブース」など設備面の回答が多かった。資料に限ってみると、「授業関連図書」が最も多く、「気軽な読み物」にも一定のニーズがあった。

4-1「目的の情報が見つけれられるか」については、約90%の回答が「たいていの場合、見つけられる」あるいは「どちらかという、見つけられる場合が多い」となっている一方で、「たいていの場合、見つけられない」との回答も約1%あった。

4-2「データベース等の利用度」では、「OPAC」や「検索エンジン（Google等）」を「よく使う」という回答がいずれも60%以上あり、よく使われていることがわかる。また、CiNii及びGoogle Scholarについても「よく使う」「使ったことがある」という回答が多かった。一方、その他のデータベースについては「知らない」あるいは「知っているが使ったことはない」という回答が半数以上を占めており、そのひとつである「Web of Science」はガイダンスで利用方法などを伝える機会の多いデータベースであるが、全体的な認知度は低く、学部生はいずれの学年でも「知らない」という回答が半数以上を占めた。機関リポジトリKernel、ディスカバリー、新聞記事データベースについては、一定の認知度（「知らない」以外の回答）はあるものの使ったことのない層が多く見られた。このうち機関リポジトリKernelの認知度は約64%であったが、教員と大学院生（博士）に限ると約94%であった。全体的な傾向として、学年が上がるにしたがって各検索ツール・データベースの利用頻度も上がっていく相関が見られた。

4-3「レファレンスサービスの利用度」では、最も利用度（「よく使う」と「使ったことがある」を合算）が高い「カウンタでの対面によるレファレンス」でも約25%であった。学部学生に限ると、利用度と認知度（「知らない」以外の回答を合算）ともに「学部1年」が最も高い。学部2~4年生は、新型コロナウイルス感染拡大防止措置として図書館が対面サ

ービスに制限を設けていた時期に入学したことが影響していると推測される。

4-4「資料の電子版の利用」では、電子書籍、電子ジャーナル、データベースいずれも 9 割近くが利用できなかったことはないという回答であった。

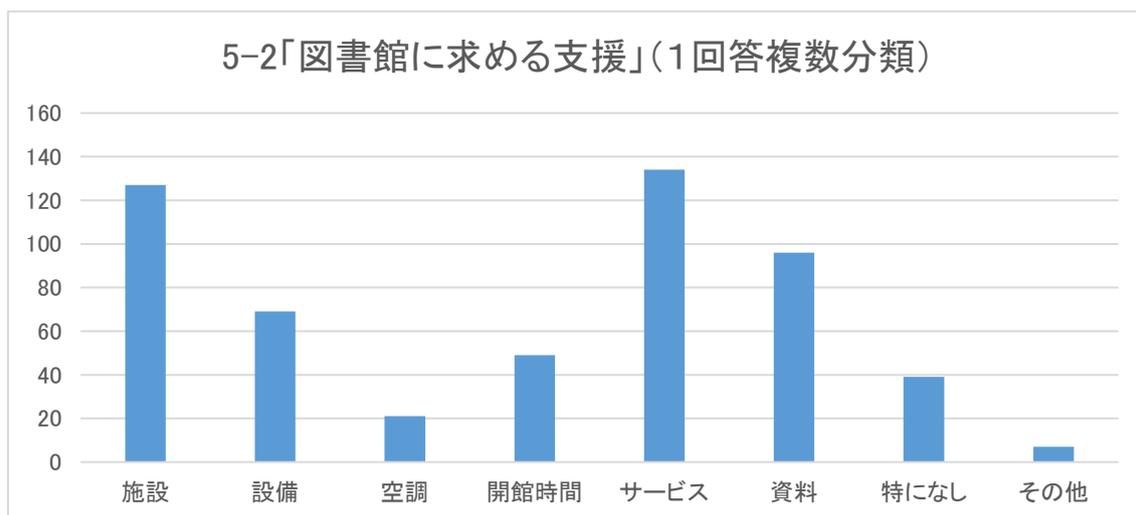
4-5「冊子体と電子体のどちらを希望するか」について、図書では冊子体を希望する回答が約 58%で電子体の約 23%を上回り、雑誌は電子体を希望する回答が約 39%と冊子体の約 37%を上回った。学生に限ると、学部 1～3 年では図書と雑誌共に冊子体を希望する回答が電子体を上回り、学部 4 年以上と大学院生では雑誌のみ電子体が冊子体を上回った。教員に限ると、図書の電子体を希望する回答が約 36%となっており、冊子体の約 33%を上回った。学年が上がるごとに、より電子媒体への志向が強まる傾向が見られた。

4-6「電子版を利用する資料」では、回答の多い方から「研究に必要な文献」、「教科書」、「授業で指定されているもの」の順であった。4-6 及び 4-7「電子版を利用する場面」いずれの項目でも、約 16%の回答者が「利用しない」を選んでいた。

4-8「資料の入手手段」では、「所属大学の図書館」が約 89%と最も多く、「Google、Yahoo などの検索結果」、「購入」と続く。

5-1「参加したイベント」では、「その他」が最も多く、その内訳のほとんどは「参加していない」であった。次に多かったのは「資料展」で、回答者の約 21%が選択していた。

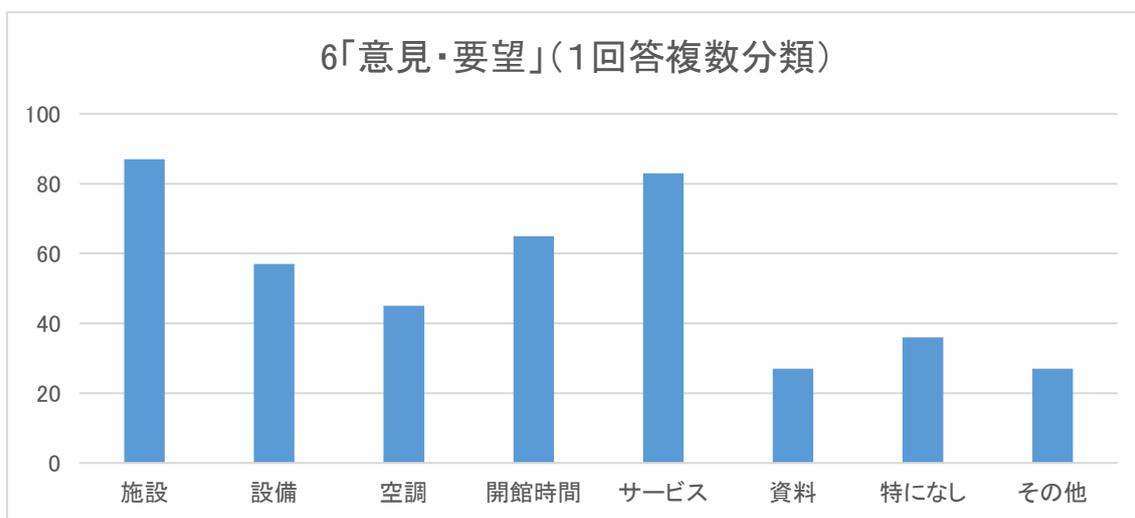
5-2「図書館に求める支援」は自由記述式で回答を募り、「施設」「設備」「空調」「開館時間」「サービス」「資料」「特になし」「その他」の 8 個の項目に分類して集計したところ、以下の通りとなった。分類作業には生成 AI の Microsoft Copilot を使用した。



「サービス」に対する回答が最も多く、「図書館に行かなくても図書館の空き状況がスマホなどでわかるようになってほしい」といったオンライン（ウェブサイト・OPAC）上の機能拡充に関する意見や、「教員推薦図書、授業に関係のある図書の展示の拡充」「各研究分野ごとの、学部学生向けの教科書紹介」など、学習や研究に必要な図書の探しやすさの向上や

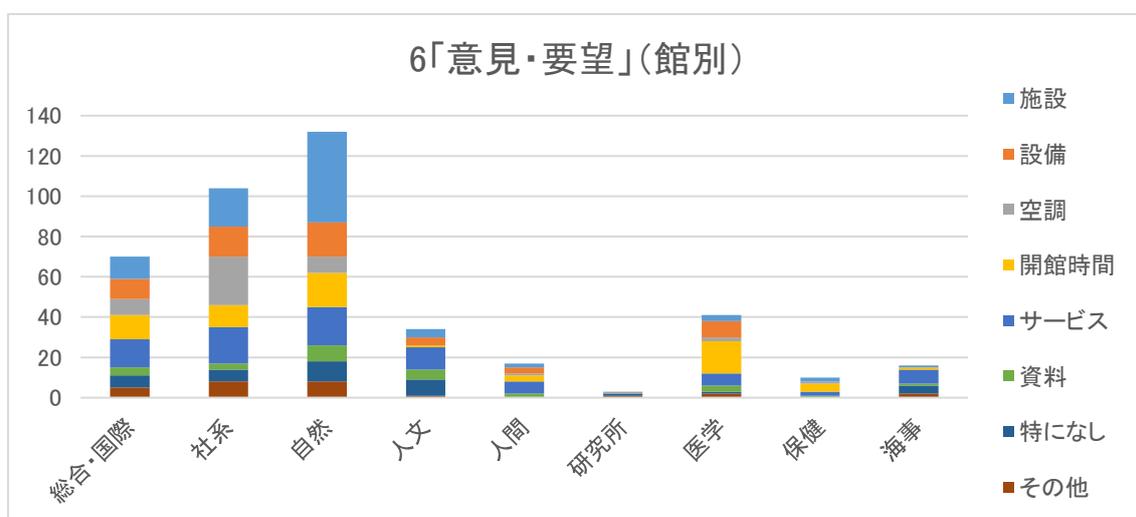
わかりやすい紹介を求める声があった。また、「電子書籍をどのように閲覧できるか分からないので、分かりやすく教えてほしい」「必要な文献がうまく見つからないときに助けてほしい」といった、スタッフによる支援が可能な回答もあった。次いで多かった「施設」に対する回答では、特に「授業や就活などで自分が声を出しても気にならない、自由に使えるスペースがあると良い」「オンラインなどの際に、声を出しても大丈夫な環境が欲しいです」など、個人ブースへの要望が多く見られた。また、3「図書館にあってほしいもの、拡充を望むもの」で多くの回答があった「飲食ができるスペース」に対する要望や、自習スペースの拡充、電源の増設等を求める声もあった。「個人ブース」はコロナ禍以降のリモート会議の普及によりニーズが大幅に増しているものであり、「飲食ができるスペース」については、コロナ禍のもとでの飲食の在り方と、キャンパス内における学生のためのフリースペースの問題が根底にあるが、いずれも図書館が単独で対応しなければならないものではなく、大学全体にとっての問題・要望である。「資料」に対する回答では、電子資料の拡充のほか、教科書・資格試験に関する図書の更新、小説等の学術書以外の図書を求める回答も見られた。

6「意見・要望」では、自由記述式で意見や要望を募った。回答を「施設」「設備」「空調」「開館時間」「サービス」「資料」「特になし」「その他」の8個の項目に分類して集計したところ、以下の通りとなった。分類作業には生成AIのMicrosoft Copilotを使用した。



5-2「図書館に求める支援」と同様に「施設」「サービス」に対する回答が多く、最も多かった「施設」に対する回答として、「もう少し個別ブースが欲しい」「飲食可能なスペースを設けて欲しい」などの意見・要望があった。また、改修された自然科学系図書館については「きれいになって快適になった」など好意的な意見が多く、「ほかの図書館も（自然科学系図書館同様）に整備して欲しい」などの要望があった。次いで多かった「サービス」に対する回答では、図書館サービスの拡充に対する要望や図書館キャラクター「うりこ」のグッズ化を求める意見、図書館スタッフの対応に感謝する声があった。「開館時間」に対する回答

では、開館時間の延長や開館日数の増加を求める意見・要望がほとんどであった。2-2「よく利用した図書館」と掛け合わせると、社会科学系図書館は「空調」、自然科学系図書館は「施設」に対する回答が多かった。医学分館における「開館時間」に対する要望は20件程度あり、その全てが、新型コロナウイルス感染拡大防止措置として2020（令和2）年4月初旬以降中止していた、医学分館の24時間開館の再開についてのものであった。中止後に入学した、当該サービスの利用経験のない学年の学生からも数件自由記述欄に記載があった。なお24時間開館は、毎日24時（午前0時）までの開館に変更して2024（令和6）年度当初より再開し、要望に応えることとなった。



図書館サービスのデジタル化やオンライン化がここ数年で進んだが、自由記述式の設問で快適な学習環境を求める回答が多く寄せられている。多くの学生は図書館の施設面の拡充を求めていることがうかがえ、場としての図書館が引き続き必要とされていることがわかる。特に設備面における電源コンセントや無線LAN環境に関する要望が、複数館で改修からの年月の長短に関係なく見られることから、PCやスマートフォン等モバイル機器の使用は学生生活では不可欠であり、その使用場所としての図書館の存在とニーズの大きさは看過しがたいものだと言える。

自然科学系図書館 改修後アンケート結果 (回答数 108)

(実施:2023年11月22日～12月14日)

神戸大学所属の方ですか

はい	107	99.1%
いいえ	1	0.9%
合計	108	

1. 建物の安全性

1.-1 建物の安全性についてうかがいます

	避難経路はわかりやすいか		危険だと感じる場所(手すりの高さ、段差、突起物等)はあるか	
	件数	割合	件数	割合
そう思う	43	39.8%	4	3.7%
ややそう思う	41	38.0%	8	7.4%
あまり思わない	16	14.8%	29	26.9%
思わない	5	4.6%	65	60.2%
無回答	3	2.8%	2	1.9%
合計	108		108	

1.-2 危険と感じる場所があると思われる方、具体的(●階のどこ)にお教えてください

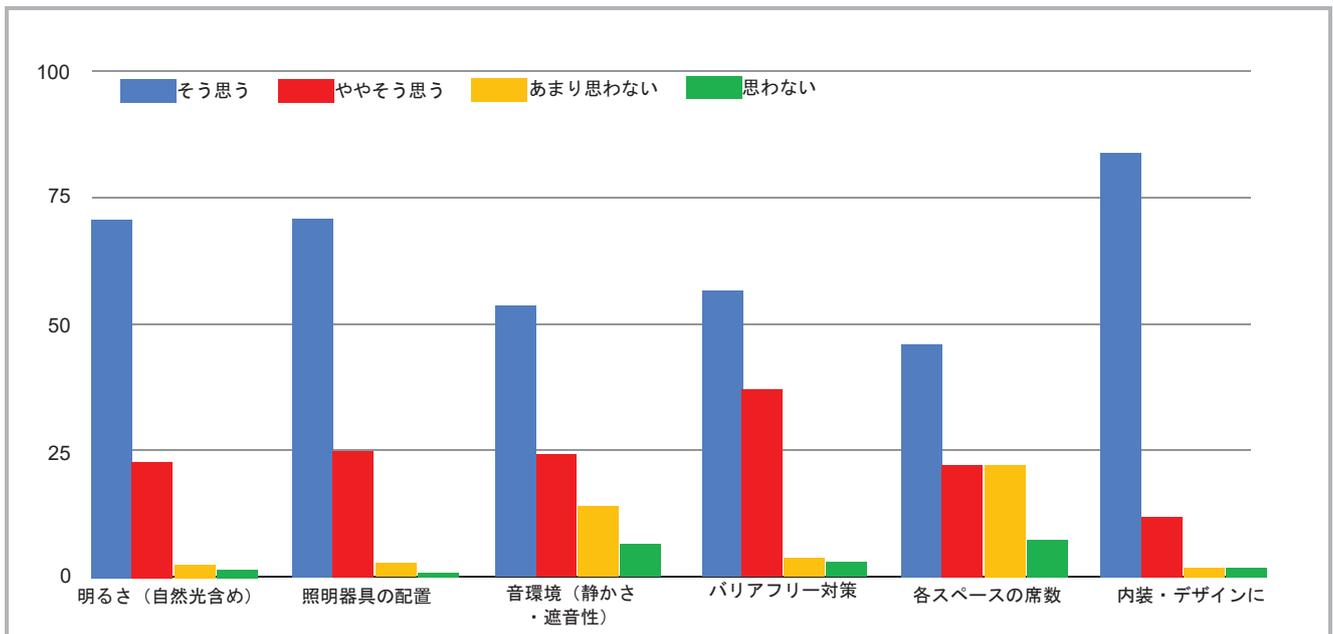
本が配架されている棚から落ちて来そう(2階)
2階の化学や宇宙物理系の本棚の間にある机が通路から死角になっていて急に飛び出されると怖い思いをすることがある
3階の背の高い椅子は震度6が揺れると危険ではないか

2. 建物内の環境整備

2.-1 建物内の環境は適切と思いますか

	明るさ		照明位置		音環境		バリアフリー	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
そう思う	76	70.4%	75	69.4%	57	52.8%	60	55.6%
ややそう思う	25	23.1%	27	25.0%	26	24.1%	39	36.1%
あまり思わない	3	2.8%	3	2.8%	15	13.9%	4	3.7%
思わない	2	1.9%	1	0.9%	7	6.5%	3	2.8%
無回答	2	1.9%	2	1.9%	3	2.8%	2	1.9%
合計	108		108		108		108	

	席数		内装	
	件数	割合	件数	割合
そう思う	50	46.3%	90	83.3%
ややそう思う	24	22.2%	13	12.0%
あまり思わない	24	22.2%	2	1.9%
思わない	8	7.4%	2	1.9%
無回答	2	1.9%	1	0.9%
合計	108		108	



2. - 2 建物内の環境整備についてご意見等ございましたらお聞かせください

件名	件数	概要
座席	18	座席数を増やしてほしい
建築/設計	17	木造なのが良い/椅子と机の高さが不適切/会話可・不可スペースへの不満
音環境	14	騒がしい
配置	8	机のスペースが狭い / 書架と机の距離が狭い
電源	5	コンセントを増やしてほしい
空調	4	冷房が効きすぎる / 効いていない
照明	4	玄関の照明多い / イノベーションスタジオの照明が少ない
什器	3	椅子が適切でない
ルール	2	予約制にしてほしい席がある / 案内があってわかりやすい
マナー	1	ドアを閉めない人がいるため騒がしくなることがある
自販機	1	良い

★座席数を増やしてほしいという意見が多かった。また、1-2階吹き抜けの構造上騒がしいとの意見も多く今後の課題

2. - 3 畳スペースやイノベーションスタジオのようなスペースは、他の図書館や学内にもっとあった方が良いと思いますか

	畳		ポッド(個室)		ホワイエ		イノベーションスタジオ	
そう思う	54	50.0%	72	66.7%	66	61.1%	59	54.6%
ややそう思う	23	21.3%	19	17.6%	30	27.8%	28	25.9%
あまり思わない	20	18.5%	11	10.2%	5	4.6%	11	10.2%
思わない	6	5.6%	2	1.9%	2	1.9%	5	4.6%
無回答	5	4.6%	4	3.7%	5	4.6%	5	4.6%
合計	108		108		108		108	

### 3. 施設・設備の充実度

#### 3-1 施設・設備の充実度についてうかがいます

	サイン見えやすいか		電源仕様は満足か	
そう思う	67	62.0%	38	35.2%
ややそう思う	34	31.5%	33	30.6%
あまり思わない	3	2.8%	21	19.4%
思わない	1	0.9%	12	11.1%
無回答	3	2.8%	4	3.7%
合計	108		108	

#### 3-2 「電源仕様は満足ですか」について「思わない」「あまり思わない」と回答された方、その理由を具体的にお教えてください

件名	件数	概要
電源の数	28	少ない
電源の仕様	5	コンセント位置が近すぎて並べて同時に使えない / 他人と一緒に使いづらい
電源の場所	2	席から遠い
Wi-Fi	1	遅い

★電源が少ないという意見が圧倒的に多い

#### 3-3 各スペースの使いやすさについて

	閲覧室		LC		畳		ポッド(個室)	
使いやすい	96	88.9%	95	88.0%	85	78.7%	89	82.4%
使いづらい箇所がある	6	5.6%	3	2.8%	10	9.3%	9	8.3%
使いづらい	2	1.9%	3	2.8%	2	1.9%	1	0.9%
無回答	4	3.7%	7	6.5%	11	10.2%	9	8.3%
合計	108		108		108		108	

	ホワイエ		イノベーションスタジオ		コラボレーションルーム	
使いやすい	96	88.9%	91	84.3%	92	85.2%
使いづらい箇所がある	4	3.7%	6	5.6%	4	3.7%
使いづらい	1	0.9%	1	0.9%	2	1.9%
無回答	7	6.5%	10	9.3%	10	9.3%
合計	108		108		108	

#### 3-4 各スペースについて、使いやすい点、使いづらい点があればそれぞれについてお教えてください

件名	件数	概要
オンラインポッド	4	音が漏れる / 空調が効いていない
畳スペース	3	マナーが悪い / 暑い
コラボレーションルーム	2	音が響く

★3階のオンラインポッドの音漏れ、畳スペースでのマナーについての回答が多かった

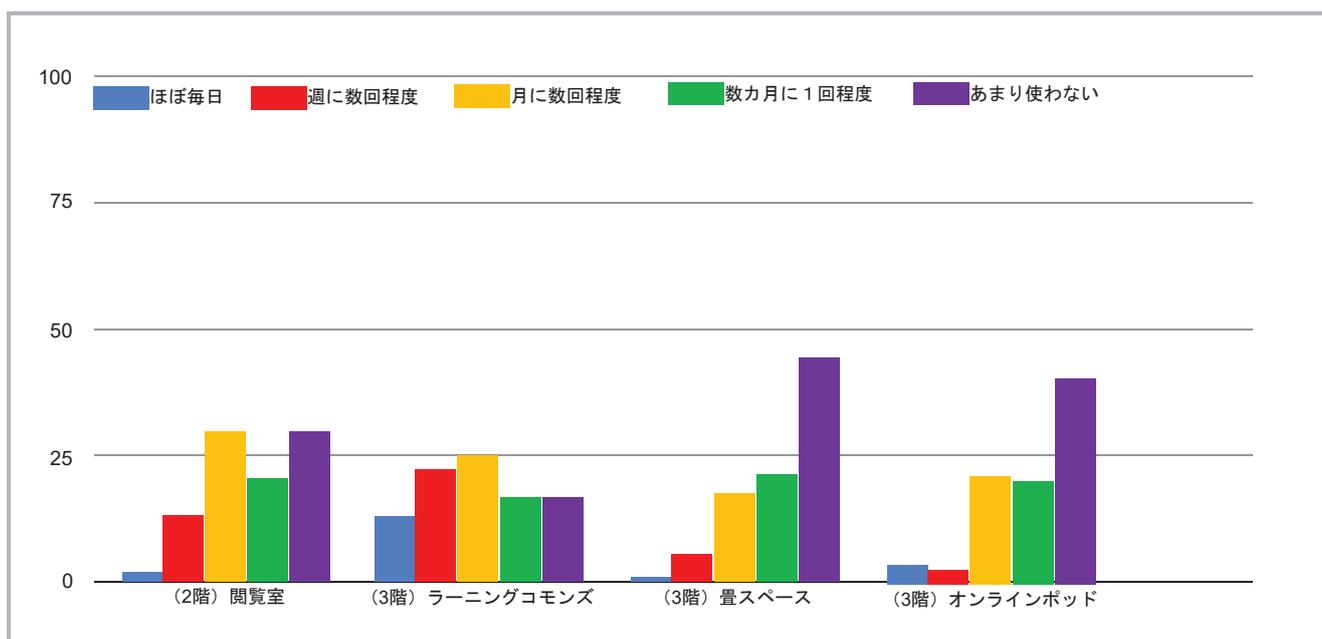
#### 4. 利用についての満足度

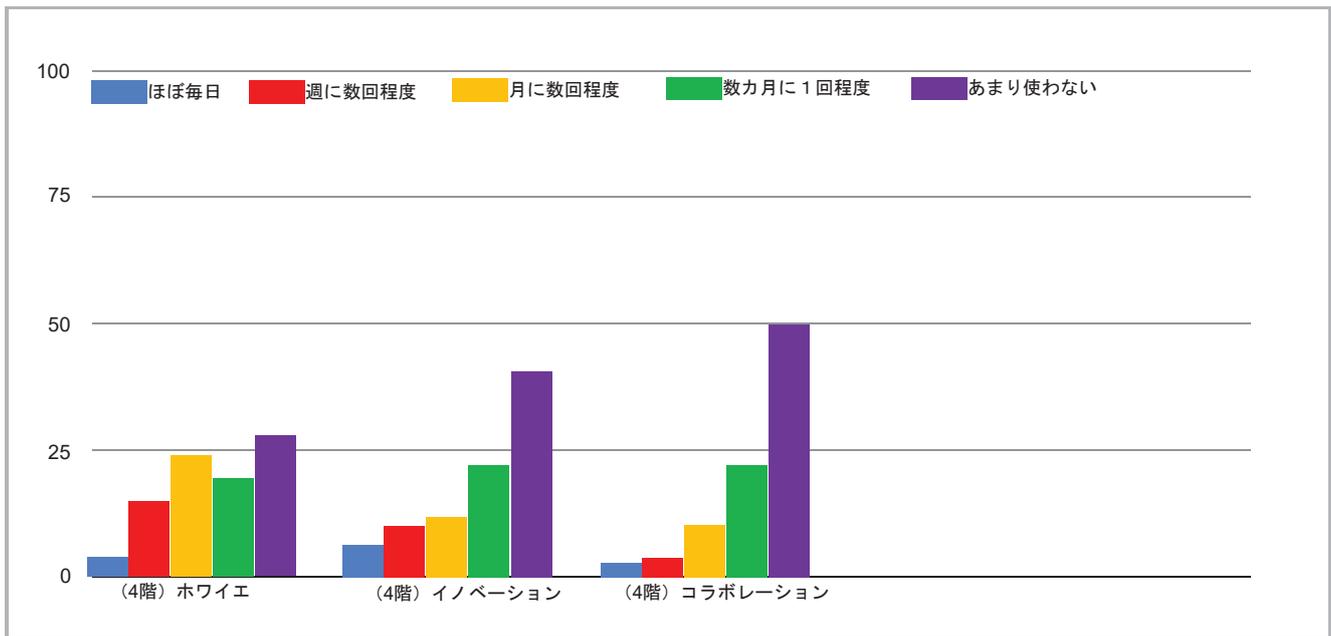
##### 4-1 各スペースの利用頻度について教えてください

	閲覧室		LC		畳		ポッド(個室)	
ほぼ毎日	2	1.9%	14	13.0%	1	0.9%	4	3.7%
週に数回	14	13.0%	24	22.2%	6	5.6%	3	2.8%
月に数回	32	29.6%	27	25.0%	19	17.6%	23	21.3%
数カ月に1回	22	20.4%	18	16.7%	23	21.3%	22	20.4%
あまり使わない	32	29.6%	18	16.7%	48	44.4%	44	40.7%
無回答	6	5.6%	7	6.5%	11	10.2%	12	11.1%
合計	108		108		108		108	

	ホワイエ		イノベーションスタジオ		コラボレーションルーム	
ほぼ毎日	4	3.7%	7	6.5%	3	2.8%
週に数回	16	14.8%	11	10.2%	4	3.7%
月に数回	26	24.1%	13	12.0%	11	10.2%
数カ月に1回	21	19.4%	24	22.2%	24	22.2%
あまり使わない	30	27.8%	44	40.7%	54	50.0%
無回答	11	10.2%	9	8.3%	12	11.1%
合計	108		108		108	

★使いやすいとの回答が多い割には各スペースは「あまり使わない」が一番多い。オンラインポッドやイノベーションスタジオなどは人気ではあるが、従来の閲覧室やラーニングコモンズで学習することが多いと推測される





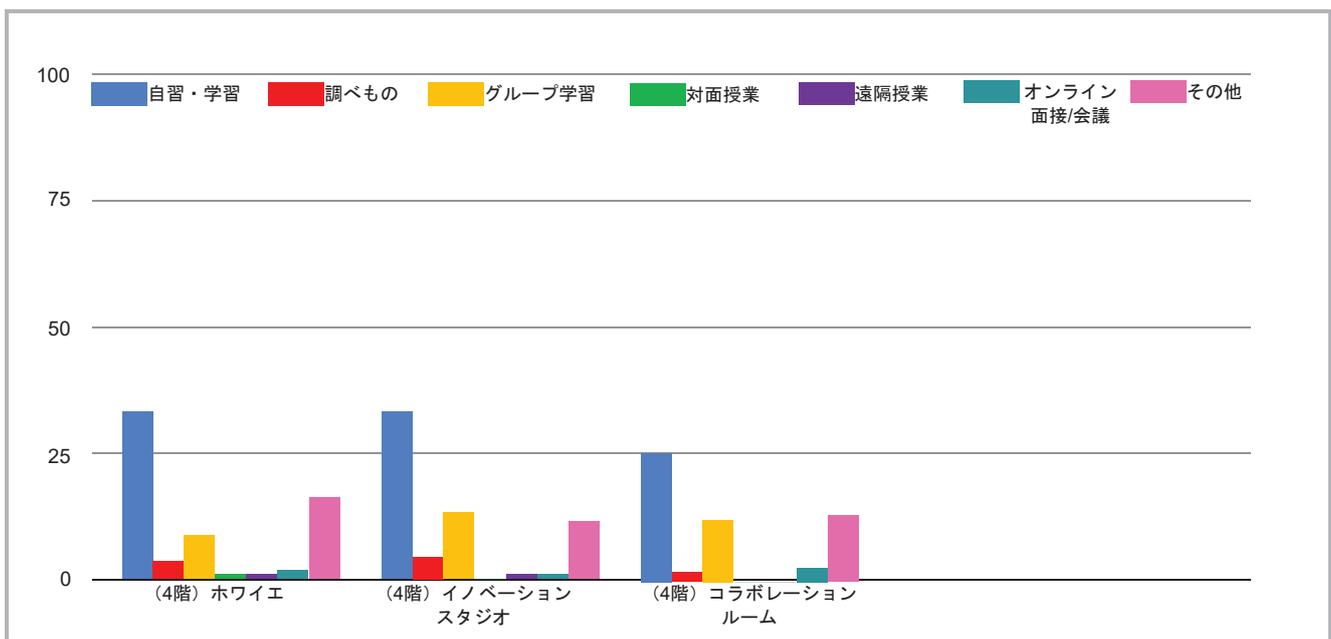
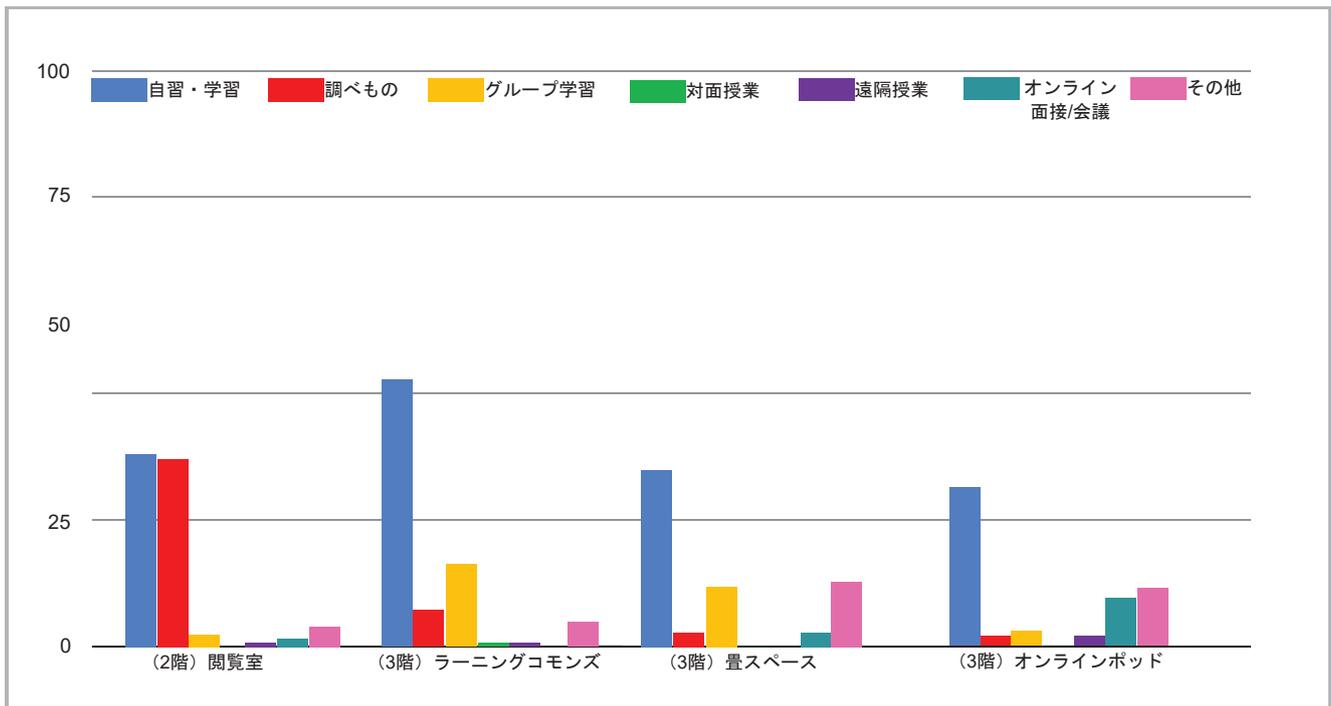
4-2 各スペースの主な利用目的について教えてください

(複数回答可)

	閲覧室		LC		畳		ポッド(個室)	
自習・学習	48	36.6%	66	50.8%	41	35.3%	33	30.3%
調べもの	47	35.9%	9	6.9%	3	2.6%	2	1.8%
グループ学習	3	2.3%	20	15.4%	14	12.1%	3	2.8%
対面授業	0	0.0%	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
遠隔授業	1	0.8%	1	0.8%	0	0.0%	2	1.8%
オンライン面談/会議	2	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	10	9.2%
その他	5	3.8%	6	4.6%	11	9.5%	12	11.0%
無回答	25	19.1%	27	20.8%	47	40.5%	47	43.1%
合計	131		130		116		109	

	ホワイエ		イノベーションスタジオ		コラボレーションルーム	
自習・学習	38	31.9%	38	32.2%	28	25.0%
調べもの	4	3.4%	5	4.2%	2	1.8%
グループ学習	10	8.4%	15	12.7%	13	11.6%
対面授業	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
遠隔授業	1	0.8%	1	0.8%	0	0.0%
オンライン面談/会議	2	1.7%	1	0.8%	3	2.7%
その他	19	16.0%	13	11.0%	14	12.5%
無回答	44	37.0%	45	38.1%	52	46.4%
合計	119		118		112	

★目的は「自習・学習」「調べもの」が圧倒的に多く、ラーニングコモンズやイノベーションスタジオでの「グループ学習」、オンラインポッドでの「オンライン面談/会議」での利用との回答が予想よりはるかに少ない。「無回答」の多さは不明



4-3 その他の利用目的について具体的にお教えてください（どこを何の目的で）

件名	件数	概要
ホワイエ	11	飲食 / 休憩 / 勉強
イノベーションスタジオ	1	打ち合わせ
コラボレーションルーム	1	打ち合わせ

★「ホワイエ」の回答が圧倒的に多く、その目的は「飲食」「休憩」「勉強」の順に多かった

4-4 図書館利用内容についてうかがいます

	資料見つけやすいか		予約施設(コラボ、ポッド、会議室)予約方法や利用ルール(利用時間・人数など)は適切か		会話可能なエリアと会話不可のエリアの割合は適切か		設置されているディスプレイや貸出用機器(無線プレゼンツール)は使いやすいか	
そう思う	56	51.9%	49	45.4%	55	50.9%	54	50.0%
ややそう思う	43	39.8%	45	41.7%	31	28.7%	40	37.0%
あまり思わない	5	4.6%	4	3.7%	10	9.3%	5	4.6%
思わない	0	0.0%	3	2.8%	6	5.6%	1	0.9%
無回答	4	3.7%	7	6.5%	6	5.6%	8	7.4%
合計	108		108		108		108	

	各エリアの机と椅子は利用目的に適しているか	
そう思う	61	56.5%
ややそう思う	31	28.7%
あまり思わない	6	5.6%
思わない	3	2.8%
無回答	7	6.5%
合計	108	

4-5 「資料をみつけやすいですか」の設問に「思わない」「あまり思わない」と回答された方、その理由をお教えてください

番号の並べ方がわかりやすい
図書館の人に聞いたほうが早い
旧図書館だけで3つも分かれているから

4-6「各エリアの机と椅子は利用目的に適していますか」の設問に「思わない」「あまり思わない」と回答された方、その理由をお教えてください。また、使い心地やご希望などあればお書きください

サイレントスペースの机が椅子に対して高い(椅子が低い)
複数人での作業に適した形にして欲しい
椅子が硬いので臀部が痛くなる

4-7 4階に設置されている自動販売機について

満足	61	56.5%
やや満足	30	27.8%
あまり満足でない	6	5.6%
満足していない	3	2.8%
無回答	8	7.4%
合計	108	

4-8 自然科学系図書館内の飲食ルールは知っていますか

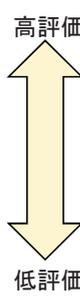
知っている	94	87.0%
知らない	7	6.5%
無回答	7	6.5%
合計	108	

4-9 自然科学系図書館内の飲食ルールについてご意見があればお書きください

今のところ不満はなく、フロア別のルールもわかりやすくよいと思う
きっちり分かれていていいと思います。なぜ他のスペースで使ってはいけないかの添え書きもあり、ちゃんと守ろうと思えます
軽食は許してほしいです

5. 総合評価

5-1 自然科学系図書館を総合的に評価すると

 <p>高評価</p> <p>低評価</p>	5	68	63.0%
	4	33	30.6%
	3	4	3.7%
	2	2	1.9%
	1	1	0.9%
合計		108	

5-2 その他、図書館についてのご意見をお聞かせください

件名	件数	概要
快適	7	使いやすい / 勉強のモチベーション向上
空調への不満	2	効が悪い

★「快適」との意見が多かったが、空調への不満がそれなりにある

全学共通教育必修科目「情報基礎」  
図書館担当コマ「第5回 情報の活用」  
学生アンケート集計結果

集計: 選択項目 回答数: 1613名

(1) 図書館ホームページの利用方法について理解できましたか.	回答数	割合	
1.理解できた	1267	78.6%	97.8%
2.少し理解できた	311	19.3%	
3.少し難しかった	33	2.0%	2.2%
4.難しかった	2	0.1%	
(2) 図書館での情報検索の方法について理解できましたか.	回答数	割合	
1.理解できた	1267	78.6%	97.6%
2.少し理解できた	307	19.0%	
3.少し難しかった	37	2.3%	2.4%
4.難しかった	2	0.1%	
(3) 引用のルールなどアカデミックマナーについて理解できましたか.	回答数	割合	
1.理解できた	1126	69.9%	95.8%
2.少し理解できた	420	26.1%	
3.少し難しかった	61	3.8%	4.2%
4.難しかった	6	0.4%	
(4) 動画・PDF資料は、授業を理解する上で役に立ちましたか.	回答数	割合	
1.大変役に立った	1175	72.9%	98.1%
2.少し役に立った	408	25.3%	
3.あまり役に立たない	28	1.7%	1.9%
4.全く役に立たない	2	0.1%	
(5) 今後、学修・研究のために図書館を利用したいと思いますか.	回答数	割合	
1.ぜひ利用したい	1298	80.5%	98.8%
2.少し利用したい	295	18.3%	
3.あまり利用するつもりはない	17	1.1%	1.2%
4.全く利用したくない	3	0.2%	

集計: 自由記述 回答人数(延べ数): 307

分類の内容	回答数	割合*
1. 図書館の使い方やアカデミックマナーなど、役に立った	53	17%
2. 説明や内容がわかりやすかった	24	8%
3. これからも図書館を使いたい	141	46%
4. 難しい、分からない	2	1%
5. 簡単すぎる	0	0%
6. 疲れる、長すぎる、無駄だ	0	0%
7. 教材(動画・PDFの表示方法等について)、課題、授業について	22	7%
8. 図書館への要望	19	6%
9. 図書館ホームページ、検索について	1	0%
10. その他	2	1%
未分類. 単なる謝礼や感想、もしくは無意味な内容	43	14%
計	307	100%

\*回答数に占める割合

2023年度 初年次セミナーアンケート  
アンケート(令和5年4月17日-令和5年5月22日)  
回答総数:34

Q0_部局	全回答数	割合
文学部	1	2.94%
国際人間科学部	12	35.29%
法学部	9	26.47%
経済学部	4	11.76%
経営学部	1	2.94%
理学部	1	2.94%
医学部	0	0%
保健学科	0	0%
工学部	1	2.94%
農学部	0	0%
海洋政策科学部	5	14.71%

**【選択式回答】**

Q1_初年次セミナーにて図書館に授業を依頼するのは今回何回目ですか？	全回答数	割合
0 無回答	0	0%
1 はじめて	14	41.18%
2 2年目	3	8.82%
3 それ以上	8	23.53%
4 学部で依頼している	9	26.47%
Q1-2_どのような形態の実施を依頼しましたか？		
0 無回答	0	0%
1 対面	33	97.06%
2 オンライン	0	0%
3 オンデマンド教材	0	0%
4 その他	1	2.94%
Q2_初年次セミナー授業の実施において、図書館担当授業は役立っていますか？		
0 無回答	0	0%
1 役に立っている	31	91.18%
2 どちらかという役に立っている	3	8.82%
3 どちらでもない	0	0%
4 あまり役立たない役立っていない	0	0%
5 役に立っていない	0	0%
Q3_今回の図書館担当授業は、受講した学生にとって有意義だと思いますか？		
0 無回答	0	0%
1 大いに思う	32	94.12%
2 どちらかと思う	1	2.94%
3 どちらともいえない	1	2.94%
4 あまり思わない	0	0%
5 全く思わない	0	0%

**【自由記述】 ⇒別紙参照**

別紙

【自由記述】

Q2\_欄外への記述

学部	コメント
海洋政策	20分では短かすぎると思います。あまり長すぎるとダメですが、今回は20分ずつで各所を回していますので、2枠分の40分くらいでやっていただいた方がよいように思います。あくまで依頼側であるこちらの問題とします。

【自由記述】

Q4\_今回の図書館担当回について、その他日頃のサービス等、神戸大学附属図書館についてご意見ご感想ご要望等、ありましたらご自由に記載をお願いします。

学部	コメント
理	リニューアルオープンという機会に図書館から来て頂き、タイミング良く学生に周知できましたので、大変有意義でした。今後ともよろしくお願いいたします。
国際人間	学生には本をどんどん読んでほしいと思っています。読書欲をかきたてるような図書館としてのイベント、しかけを是非お願いします。
国際人間	特に人文社会科学系の教員・学生にとって、図書館は大学の心臓のような場所です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
工	新しい施設で、学生たちにとっても初めての施設で、また、今後一番よく利用する施設であることから、その利用方法を知る事が出来たのは大きかったと思います。また、以前とは異なり、ラーニングコモンズのスペースが充実し、学生にも使いやすい形になっていると思いました。
国際人間	いつもありがとうございます。
国際人間	やはり実際に訪れないと馴染みもわいてこないもので、多少興味が散漫な新生児であっても重要なイベントであると思います。今後の私の初年度セミナーでは実際に借りたい本を検索してもらい、棚から取って借りてくる練習もさせる予定です。丁寧にやさしくご解説くださりどうもありがとうございました！
国際人間	書庫の使い方まで説明いただいたので学生にとっても大変有益だったと思います。時間の関係上、厳しいかもしれませんが、実際に学生が何らかの資料を検索し探す体験ができれば、より実践的かもしれないという感想を持ちました。
国際人間	限られた時間の中で、丁寧に説明して下さって、ありがとうございました。もう少し時間をかけることができるならば、学生が自分で検索をして、異なる配架場所に本を取りに行ったり、貸出手続きをしたり、レポートの印刷などをする直接の経験ができれば、図書館の使い方をマスターした気持ちが強まるかもしれないと感じました。とはいえ、時間も限られていますので、今回の形式でも十分かと思えます。
国際人間	国文の図書館には良い本がたくさん揃っていますし、学生にはどんどん図書館を活用してほしいですから、初年次セミナーの中でツアーをご案内頂けてとても良い機会でした。グループ学習室があることなど、私も勉強になりました。どうもありがとうございました。
国際人間	丁寧な対応で何も問題ありません。ありがとうございました。
国際人間	過不足なく必要な紹介をしていただき、学生たちも大変勉強になったかと思えます。ありがとうございました。
海洋政策	担当者の方の説明が丁寧で分かりやすかったです。学生にとっても図書館を知る良い機会であり、大変有意義であると感じました。
海洋政策	いつもお世話になっており、ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。
海洋政策	初年次に図書館の活用方法を学習したことは、学生たちが大学での勉強や研究だけでなく、資格の取得や就職活動にも大いに役立つと考えます。
海洋政策	図書館のHPからはeollによる企業データ入手や新聞を読んだり、記事検索をしたりできます。私はこれらのサービスは神戸大学の学生だからこそ使える大変有意義サービスだと考えています。これらのサービスについては別途講義で説明されるかもしれませんが、学生さんは説明されないと辿り着くことができないと思います。実際、私が大学院生の時に途中まで日経テレコンの存在を知らなかったため、日経新聞を自分で買っていました。時間の制約もありますので全てを説明するのは難しいかもしれませんが、可能でしたらこのようなサービスについても簡単に説明していただけると幸いです。
文	やむを得ない措置とはいえ、閉館時間が繰り上がってしまったことが返す返す残念に思います。
法	いつも快適に利用させていただいております。ありがとうございます。
法	教室での文献・資料の検索方法についてのご案内も、社会科学系図書館での施設内のご案内も、新生児に必要な有益な情報を提供して下さるものであったかと存じます。お忙しいところ大変行き届いたご対応を賜りましたみなさまに、この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

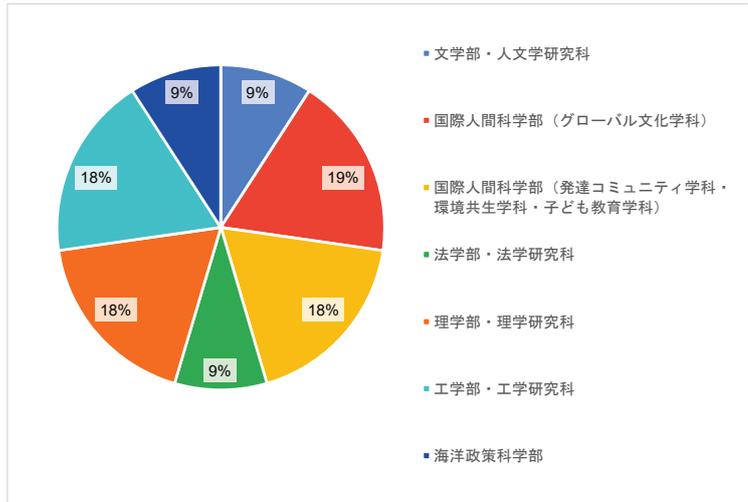
経済	一通りの説明が終わった後、ツアー参加者に特定の資料を探しに行ってもらい「ミッション」を与え、当該資料をカウンターまで持ってきた参加者に何かちょっとした記念品をプレゼントするというオリエンテーションのような要素を加えるのはいかがでしょうか。
経営	ある程度、事前に打合せができていたので、ある程度円滑に実施できました。ありがとうございました。
経済	学生諸君にはもっと図書館を活用してもらいたいものと考えています。今回は新入生向けでしたが、卒業論文執筆に取り掛かる3年生後半～4年生に対して論文執筆に関連する図書館利用法のガイダンスなどがあればありがたいと思います。
経済	大変充実したものであると思います。ありがとうございました。
法	文献検索のレクチャーで、学生からの質問の時間をとっていただくとさらに良かったかと思います。引き続きよろしく申し上げます。
法	毎年大変お世話になっております。ありがとうございます。ただ、今年度は3回目の授業日に当たる4月24日(月)に図書館ツアーが実施されなかったため、授業内容を入れ替えるなどしてやりくりせざるを得ませんでした。 種々御事情はあるものと思いますが、できるだけ満遍なく開催していただけますと助かります。御高配いただけますと幸いです。
経済	新年度のお忙しいところ、どうもありがとうございました。いつもご丁寧にご案内してくださって、申し訳ないくらいです。やはり、1回生に図書館ツアーで案内していただくと全然違うと思います。もちろん、細部にわたっては、学生は憶えていないかもしれないのですが、図書館で勉強してみようとか、調べてみようとか、図書館に行ってみる動機づけになっているようです。学問とか研究の香りを感じるだけでも、神戸大学の社会科学系の学部に入ったと実感できますし、うちのゼミでは3回生で再度ツアーをお願いした時に、再度やる気になるようです(コロナでツアーが初めてという学生もいるようです)。私自身、神戸大学に赴任して間もなく図書館に入った際、学問をする伝統ある場所に戻ってきたという実感が湧いた覚えがあります。図書館ツアー以外でも、学生にもっと図書館を利用して勉強してほしいと思っていますので、また相談させてください。
法	いろいろお世話になっておりありがたいと思っています。
法	学生は、1年生ですが、既にほぼ全員が図書館を利用したことがあると言っていました。ただ、9割が自習に利用したとのことで、1割が図書の貸し出しをうけたとのことでした。ツアー後、同僚の教員から「検索の方法」や「レポートの書き方」などについてもガイダンスを図書館にお願いできると聞いたのですが、今からでもお願いできるものでしょうか。可能であれば、第2Qの前半のどこかでお願いできますと幸いです。
法	今回はお出まじいただき、ありがとうございました。1年生にとって、大変、有益なことをご教示いただき、感謝しております。

【アンケート集計結果】学生選書ツアー2023[開催日:2023年10月27日(金)]

回答数: 11

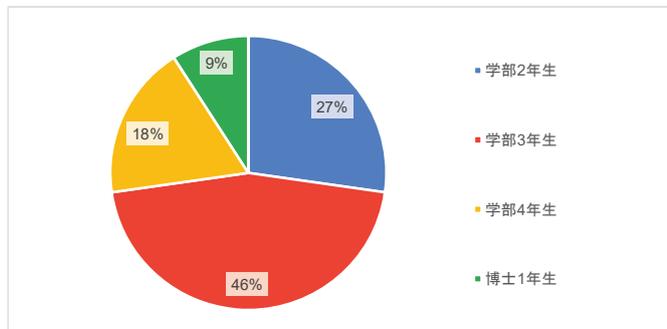
1. 所属学部・研究科を選択してください。

文学部・人文学研究科	1
国際人間科学部（グローバル文化学科）	2
国際人間科学部（発達コミュニティ学科・環境共生学科・子ども教育学科）	2
国際文化学部・国際文化学研究科	0
発達科学部・人間発達環境学研究科	0
法学部・法学研究科	1
経済学部・経済学研究科	0
経営学部・経営学研究科	0
理学部・理学研究科	2
医学部（医学科）・医学研究科	2
医学部（保健学科）・保健学研究科	0
工学部・工学研究科	2
農学部・農学研究科	0
海事科学部・海事科学研究科	0
海洋政策科学部	1
システム情報学研究科	0
国際協力研究科	0
科学技術イノベーション研究科	0
その他	0



2. 学年を選択してください。

学部1年生	0
学部2年生	3
学部3年生	5
学部4年生	2
学部5年生	0
学部6年生	0
修士1年生	0
修士2年生	0
博士1年生	1
博士2年生	0
博士3年生	0
その他	0

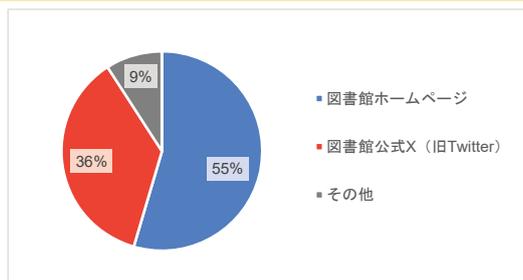


3. 参加された回を選択してください。

10:00~	5
14:00~	6

4. このイベントを知ったきっかけを教えてください。

図書館ホームページ	6
図書館公式X（旧Twitter）	4
ポスター	0
友人	0
その他	1



▼「その他」の回答

職員からの紹介

5. 学生選書ツアーに参加した理由をお教えてください。【複数回答可】

ポスター・チラシを見て興味を持ったから	7
実際に本屋で探るのが楽しそうだったから	9
前回行けなかったから	2
図書館の選書に不満があったから	0
その他	1



▼「その他」の回答

直接かつ一度にリクエストしたかったから

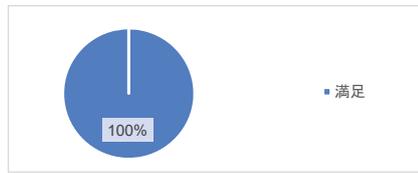
【アンケート集計結果】学生選書ツアー2023[開催日:2023年10月27日(金)]

6. 【4で「図書館の選書に不満があったから」を選んだ方】 不満の内容を教えてください。

(回答なし)

7. 今回の学生選書ツアーはいかがでしたか。

満足	11
どちらともいえない	0
満足ではない	0



8. 一人あたりの選書金額は適当でしょうか？

多い	1
ちょうどいい	8
少ない	2

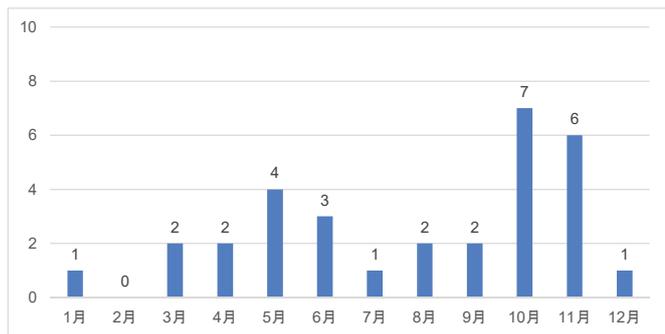


9. 今回の選書ツアーについて、感想・気づいた点・要望がございましたら、ご記入ください。

- ・普段は本は1冊ずつしか買わないので、あちこちの棚をめぐる一気に手に入れるのは想像以上に楽しかったです。うりこのクリアファイルももらったので最高でした。
- ・読みたいと思った本が図書館に所蔵されてた場合も、「次これ借りよう」と今後読みたい本が見つかったのが良かったです。図書館で本を探すのと本屋さんで探すのはまた違う発見がありました。企画いただきありがとうございました。
- ・選書した本を実際に読む前に推薦文を書くので、芯を食ったことを書けず申し訳ないです
- ・大学の蔵書が多い事は知っていたが、予想していた以上に蔵書が多かったので大学にない本を探すことが難しかった。

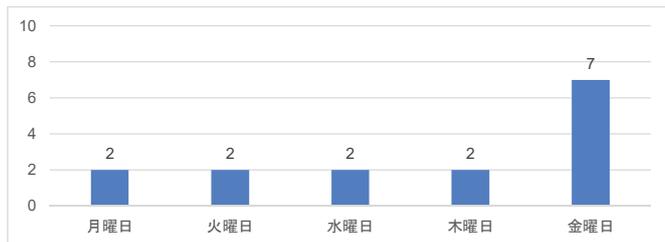
10. 学生選書ツアー実施時期は何月ごろがよいですか？【複数回答可】

1月	1
2月	0
3月	2
4月	2
5月	4
6月	3
7月	1
8月	2
9月	2
10月	7
11月	6
12月	1



11. 選書ツアーやガイダンスのようなイベントに参加しやすい曜日をお教えてください。【複数回答可】

月曜日	2
火曜日	2
水曜日	2
木曜日	2
金曜日	7



12. 今後図書館で開催希望のイベント等がございましたら、ご記入ください。

(回答なし)

回答数: 3

1. 所属学部・研究科を選択してください。

文学部・人文学研究科	0
国際人間科学部（グローバル文化学科）	1
国際人間科学部（発達コミュニティ学科・環境共生学科・子ども教育学科）	2
国際文化学部・国際文化学研究科	0
発達科学部・人間発達環境学研究科	0
法学部・法学研究科	0
経済学部・経済学研究科	0
経営学部・経営学研究科	0
理学部・理学研究科	0
医学部（医学科）・医学研究科	0
医学部（保健学科）・保健学研究科	0
工学部・工学研究科	0
農学部・農学研究科	0
海事科学部・海事科学学研究科	0
海洋政策科学部	0
システム情報学研究科	0
国際協力研究科	0
科学技術イノベーション研究科	0
その他	0

2. 学年を選択してください。

学部1年生	0
学部2年生	0
学部3年生	1
学部4年生	2
学部5年生	0
学部6年生	0
修士1年生	0
修士2年生	0
博士1年生	0
博士2年生	0
博士3年生	0
その他	0

3. 学生選書ツアー2023には参加されましたか。

参加した	3
参加しなかった	0

4. 参加されたプログラムを選択してください。

第1部 まごまご読書倶楽部（参加者として参加）	2
第1部 まごまご読書倶楽部（見学者として参加）	0
第2部 レンタルULICS文庫（①展示コーナーに掲示するポップづくりに参加）	1
第2部 レンタルULICS文庫（②ULICS文庫におすすめの本を選んで展示に参加）	0
その他	0

5. このイベントを知ったきっかけを教えてください。

担当者からの案内・メール	3
図書館ホームページ	0
ポスター	0
友人	0
通りすがり	1
その他	0

6. 参加した理由をお教えてください。【複数回答可】

ポスター・チラシなどを見て興味を持ったから	3
選書ツアーに行けなかったから	0
その他	0

7. 今回の交流会はいかがでしたか。

満足	3
どちらともいえない	0
満足ではない	0

8. イベントの開催時間は適当でしょうか？

●第1部 まごまご読書倶楽部

長い	0
ちょうどいい	2
短い	1
参加していない	0

●第2部 レンタルULiCS文庫

長い	0
ちょうどいい	2
短い	0
参加していない	1

9. 今回の交流会について、感想・気づいた点などがございましたら、ご記入ください。

とても楽しかったです！自分の好きな本の話をしてもらえなかな興味を持ってもらえないこともあるので、本好きの方に囲まれて喋るのはとてもいい機会でした。

10. 選書ツアーやガイダンスのようなイベントに参加しやすい曜日をお教えください。【複数回答可】

月曜日	0
火曜日	0
水曜日	1
木曜日	2
金曜日	3

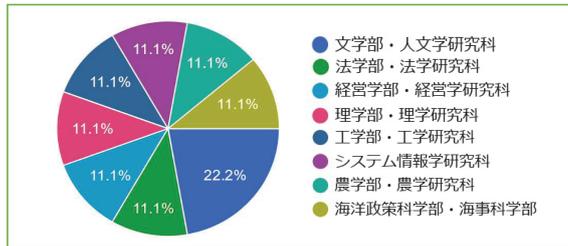
11. 今後図書館で開催希望のイベント等がございましたら、ご記入ください。

もしも、うりこグッズがあり余るようなことがあれば、配布イベントで放出してください。絶対行きます。

読書マラソン2023アンケート（回答数9）

Q1. ご所属等を選択してください。

所属	人数
文学部・人文学研究科	2
法学部・法学研究科	1
経営学部・経営学研究科	1
理学部・理学研究科	1
工学部・工学研究科	1
システム情報学研究科	1
農学部・農学研究科	1
海洋政策科学部・海事科学部・海事科学研究科	1



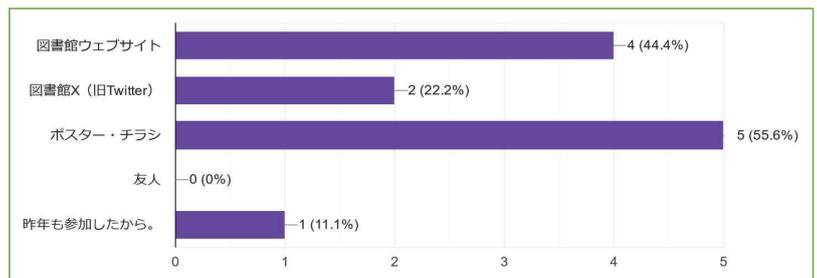
Q2. 学年等を選択してください。

学年等	人数
学部1回生	1
学部2回生	6
学部4回生	1
修士1回生	1



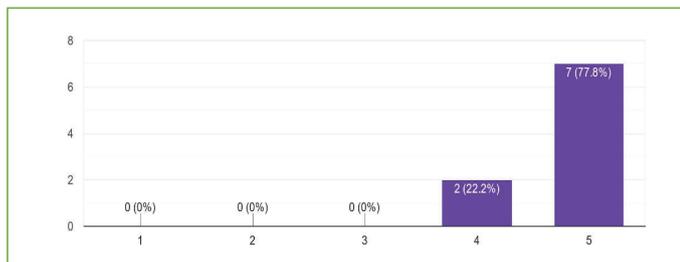
Q3. 「読書マラソン2023」を知ったきっかけを教えてください。（複数回答可）

きっかけ	人数
図書館ウェブサイト	4
図書館X（旧Twitter）	2
ポスター・チラシ	5
友人	0
その他	
昨年も参加したから	1



Q4-1. 「読書マラソン2023」はいかがでしたか？

満足度	人数
1（つまらなかった）	0
2	0
3	0
4	2
5（面白かった）	7



Q4-2. その理由を教えてください。（※4人目の回答者以降に追加）

- ・他の人の書評を読めるので。
- ・達成感があるから
- ・読みたいと思っていた本を読む良い機会になった。
- ・本を読むきっかけになって良かったです。景品も可愛くて好きです。

Q5. 実施時期（11月中旬～1月下旬）はいかがでしたか？

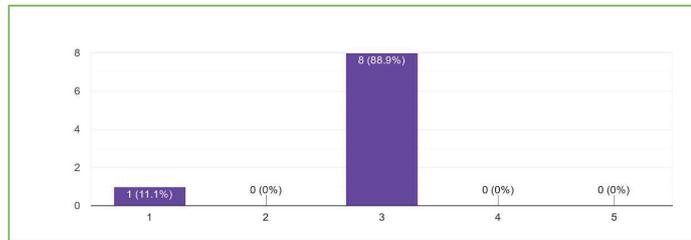
実施時期	人数
ちょうどよかった	9
別の時期がよかった	0

Q6. 【Q5で「別の時期がよかった」を選択された場合】参加しやすい時期を教えてください。

回答なし

Q7. 給水ポイント・ゴール到達に必要な読書冊数（1冊・4冊・7冊・10冊）はいかがでしたか？

満足度	人数
1 (少ない)	1
2	0
3	8
4	0
5 (多い)	0



Q8. 今後、図書館で参加してみたいイベントがございましたら教えてください。

- ・ 著者の人が実際にきて講演してくれるようなイベント。
- ・ うりこグッズの販売

Q9. その他ご要望、ご感想等ご自由にお聞かせください。

- ・ もっとうり子のグッズを出して欲しい
- ・ いつもありがとうございます！
- ・ 毎年楽しみにしています！去年と景品のデザインが変わっていて可愛かったです！

スカベンチャーハント (4/17-5/31)

アンケートまとめ

フォームにて、回答用紙提出者 50 人を対象に実施。内、31 人から回答あり。

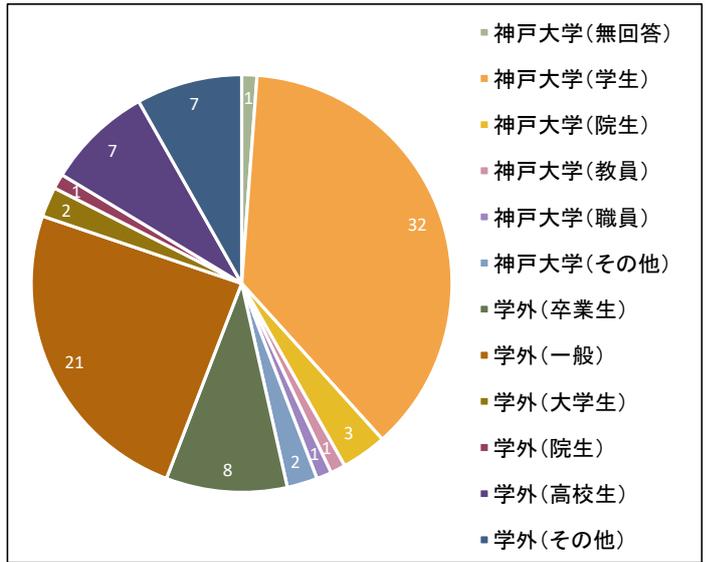
難しかった	24
まあまあ難しかった	6
普通	1
合計	31

これを機に資料探しについて学ぶことができました。あの鳩の画像を発見したとき、とても感動しました。探せるものですね。
一問一問よく練られていて、本当に感動しました。ネットでなんでも検索できるような錯覚に陥ってしまうこともあります。図書館の素晴らしさを再認識することができました。ありがとうございました！
かなり難しかったですが、たくさん考えてできたので面白かったです！図書館綺麗で大好きです！
書庫に行く良い機会になりました。楽しかったです。
検索を上手くできるかどうか問われたクイズで、ジャンルも多岐に渡っていて解いていたとても楽しかったです。第二弾もあればやりたいので、楽しみにしています。
様々なイベントを企画していただき、ありがとうございます。楽しみながら自然科学図書館についてより深く知ることができました。
わからない問題もたくさんありましたが、楽しめました！ありがとうございました！
とても面白く勉強になることがたくさんありました。また開催されるなら挑戦したいと思います。ありがとうございました。
根気の要る問題が揃っていて解きごたえがあったので良かった。似たイベントがあればまた参加したいが、これ以上難しくなると解けない気がする。
骨のある問題が多かったので時間をかけて取り組みました。おもしろかったです。
非常に興味深い活動をありがとうございました。
すごく凝っていたクイズでびっくりしました。難問でも図書館にある資料で解決できるところがおもしろかったです！
ヒントがなければ解けなかった問題もあり、難しかったです！
ネットで調べるだけで終わりきらずに、実際に図書館に行ってヒントを得てチャレンジできたことが楽しかった。
とても難易度は高かったが、これぞ謎解きといった感じで面白かった。
検索難易度が予想以上でやりがいがありました。
図書館のことをクイズを通して隅々まで調べることができて、楽しかったです！貴重な体験を有難うございました！
様々な資料を調べるのが面白かった

1. ご所属

	回答数	割合
無回答	0	0%
神戸大学(無回答)	1	1.16%
神戸大学(学生)	32	37.21%
神戸大学(院生)	3	3.49%
神戸大学(教員)	1	1.16%
神戸大学(職員)	1	1.16%
神戸大学(その他)	2	2.33%
学外(無回答)	0	0%
学外(卒業生)	8	9.3%
学外(一般)	21	24.42%
学外(大学生)	2	2.33%
学外(院生)	1	1.16%
学外(高校生)	7	8.14%
学外(その他)	7	8.14%

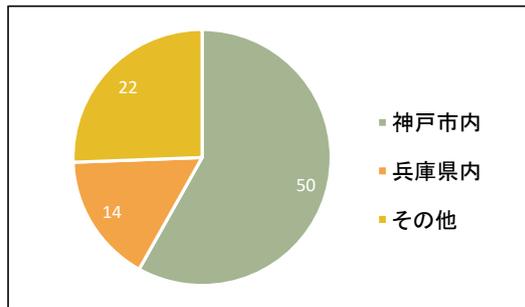
- ・放送大学
- ・研究者
- ・卒業生家族
- ・学生保護者
- ・トライやるウィーク中学生
- ・神戸高校引率教員



2. お住まい

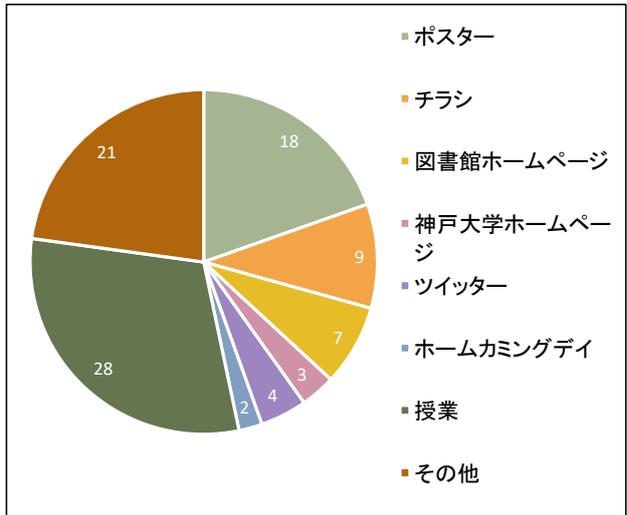
	回答数	割合
無回答	0	0%
神戸市内	50	58.14%
兵庫県内	14	16.28%
その他	22	25.58%

大阪府吹田市、名古屋、京都、島根、  
横浜市、静岡県、大阪府枚方市、大阪市内、大阪府、東京都



3. この展示会があることを何でお知りになりましたか？  
(複数回答可)

	回答数	割合
ポスター	18	20.93%
チラシ	9	10.47%
図書館ホームページ	7	8.14%
神戸大学ホームページ	3	3.49%
ツイッター	4	4.65%
ホームカミングデイ	2	2.33%
授業	28	2.33%
その他	21	24.42%



ポスター掲示場所

- ・BELBOX食堂
- ・図書館前
- ・放送大学
- ・文学部校舎
- ・国人の図書館
- ・食堂
- ・海事科学分館
- ・神戸大学構内

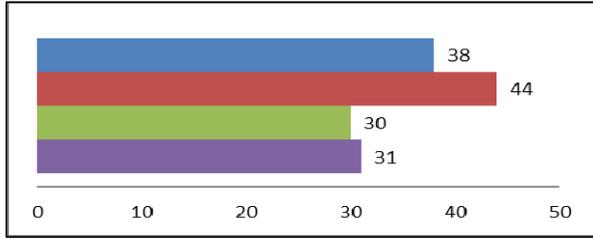
チラシ配布場所

- ・放送大学
- ・百年記念館
- ・兵庫県立図書館
- ・神戸高校

4. 興味深いコーナー、または展示物はございましたか？  
(複数回答可)

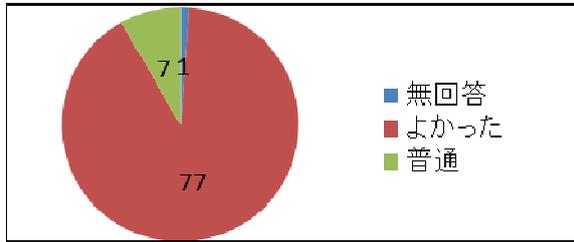
4-1 コーナー【全体】

	回答数	割合
建築と意匠	38	44.19%
昭和初期の図書館と貴重書	44	51.16%
筒台から六甲台へ	30	34.88%
神戸の暮らし	31	36.05%



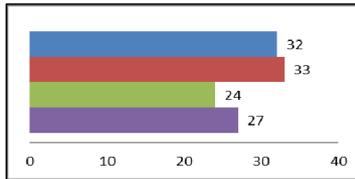
5. 今回の展示会の内容について、ご感想をお聞かせください。

	回答数	割合
無回答	1	1.16%
よかった	77	89.53%
普通	7	8.14%
よくなかった	0	0%



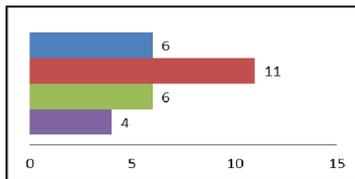
4-1 コーナー【会場回収分】

	回答数	割合
建築と意匠	32	53.33%
昭和初期の図書館と貴重書	33	55%
筒台から六甲台へ	24	40%
神戸の暮らし	27	45%



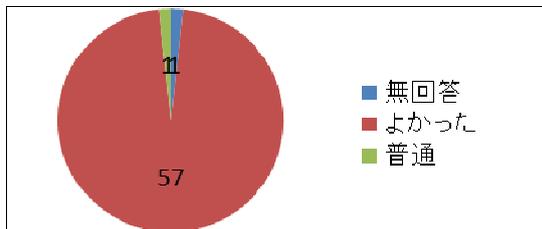
4-1 コーナー【菊地先生の授業回収分】

	回答数	割合
建築と意匠	6	23.08%
昭和初期の図書館と貴重書	11	42.31%
筒台から六甲台へ	6	23.08%
神戸の暮らし	4	15.38%



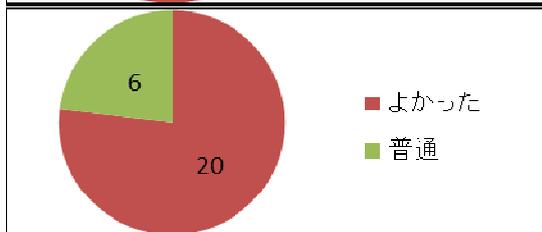
5. 今回の展示会の内容について、ご感想をお聞かせください。(会場回収分)

	回答数	割合
無回答	1	1.67%
よかった	57	95%
普通	1	1.67%
よくなかった	0	0%



5. 今回の展示会の内容について、ご感想をお聞かせください。(菊地先生の授業回収分)

	回答数	割合
無回答	0	0%
よかった	20	76.92%
普通	6	23.08%
よくなかった	0	0%



■実施結果 集計数値

( )内は 1 日あたりの平均値、[ ]内は 令和 4 年度の数値

・会期中の開館日:67 日 [61日]

・学外観覧者:215 名(3.2 名) [50 名 (0.8 名)]

※ホームカミングデイの入館者 100 名、六甲祭 2 日間 の入館者 922 名 を除く。  
両者を含むと1137名 (16.9 名)

・アンケート回収総計 86 枚 (1.28 枚) [58 枚 (0.95 枚)]

(うち会場で回収:60枚 0.89枚) [21 枚 (0.34 枚)]、授業で回収26枚 [37枚]

会場で回収分の学内・学外比:14枚:46枚 (23%:77%)[9枚 :12枚 (43%:57%)]

## 2023.12.1『西洋古典資料保存講習会』事後アンケート結果

回答数	58
-----	----

<b>【問1】ご所属の区分について教えてください。</b>	
国立大学図書館	46
公立大学図書館	1
私立大学図書館	10
大学以外の研究機関図書館	1

<b>【問2】参加形式を教えてください。</b>	
オンライン	35
対面	23

<b>【問3】今回の講習会をどのようにして知りましたか。</b>	
職場内の回覧文書・メール	42
職場の上司・同僚から	14
ホームページ	0
その他:(記入欄)	2
<b>▼その他の回答</b>	
知人	
知人を通して	

<b>【問4-1】開催時期(12月)はいかがでしたか。</b>	
よい	46
どちらとも言えない	9
他の時期がよい	3

<b>【問4-2】問4-1で【他の時期がよい】を選択した方はご希望の時期をお知らせください。</b>	
夏休み期間	
年度の前半、6月～8月頃(講習会で学んだ内容を、館内講習会を開いて広めたいが、12月だと年度内の講習会企画が8・9月)	

<b>【問5-1】開催形式(ハイブリッド開催)はいかがでしたか。</b>	
よかった	57
対面のみでよい	0
オンラインのみでよい	1
他の形式がよい	0

<b>【問5-2】問5-1で【他の形式がよかった】を選択した方はご希望の形式をお知らせください。</b>	
回答なし	

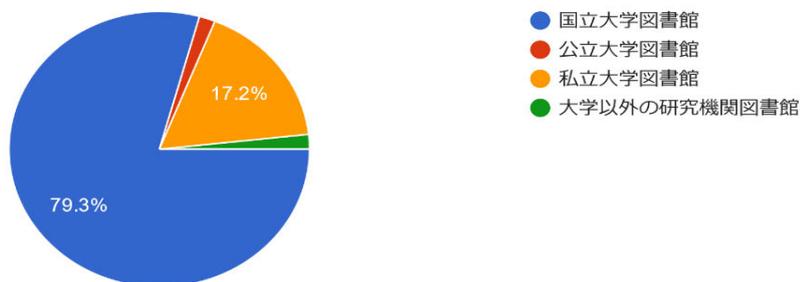
<b>【問6-1】講演会について</b>	
とても参考になった	47
参考になった	10
普通	1
あまり参考にならなかった	0
参考にならなかった	0

<b>【問6-2】講演会：特に参考になった講演があればお知らせください。(複数回答可)</b>	
概要説明「西洋古典資料保存ネットワークについて」	20
事例報告(国際日本文化研究センター)	31
事例報告(神戸大学附属図書館)	40
講義「本を残すために：一橋大学社会科学古典資料センター保存修復工房での取り組みから考える」	53

【問7-1】問2で【対面】を選択した方は、実習・見学についてご感想をお知らせください。	
とても参考になった	23
参考になった	2
普通	0
あまり参考にならなかった	0
参考にならなかった	0
【問7-2】実習・見学について、特に参考になった項目があればお知らせください。（複数選択可）	
実習：ドライクリーニング	10
実習：保護ジャケット製作	23
実習：封筒フォルダ製作	20
見学：貴重書庫	16
見学：社会科学系図書館内	8
見学：資料展	8

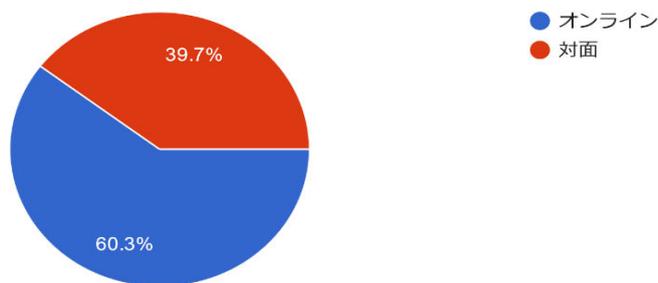
【問1】ご所属の区分について教えてください。

58件の回答



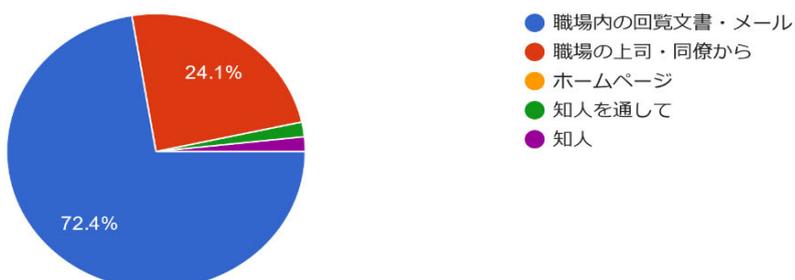
【問2】参加形式を教えてください。

58件の回答



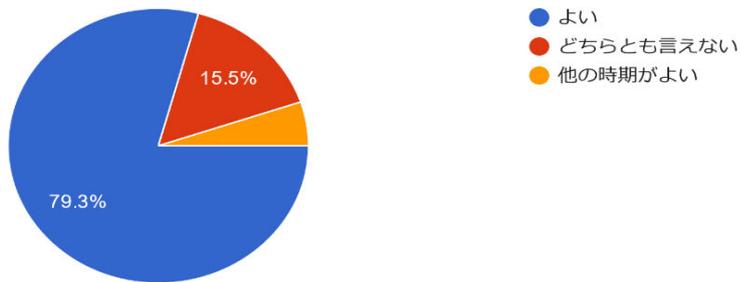
【問3】今回の講習会をどのようにして知りましたか。

58件の回答



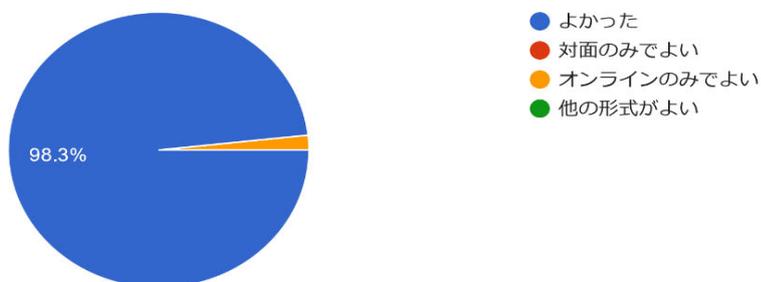
【問4-1】開催時期（12月）はいかがでしたか。

58件の回答



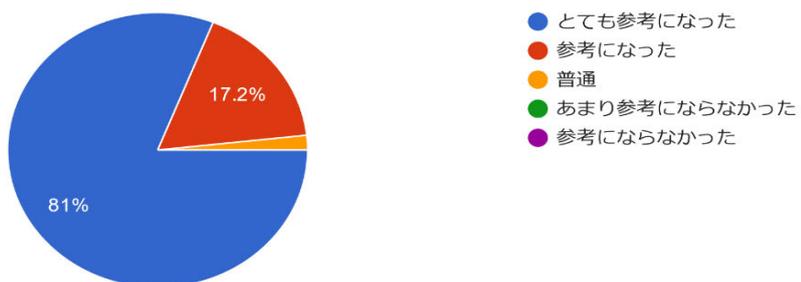
【問5-1】開催形式（ハイブリッド開催）はいかがでしたか。

58件の回答



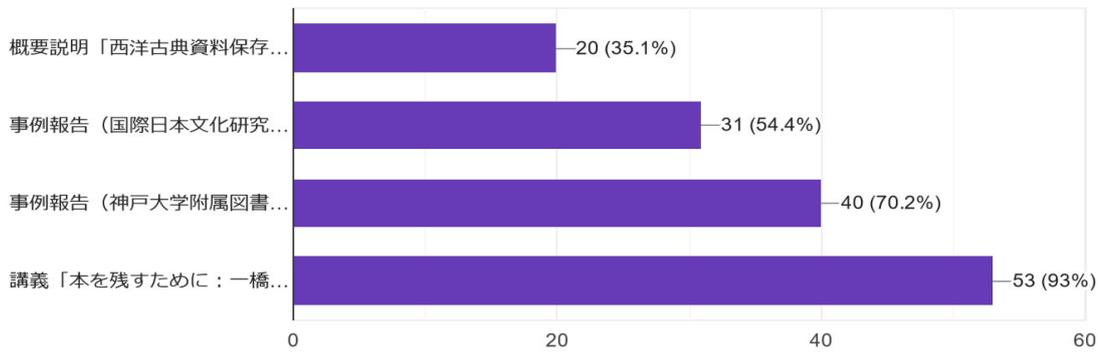
【問6-1】講演会について

58件の回答



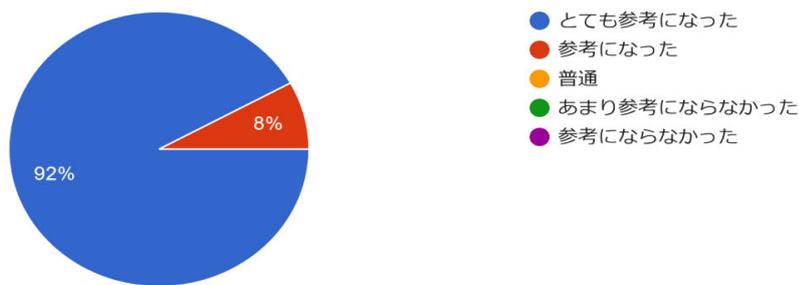
【問6-2】講演会：特に参考になった講演があればお知らせください。（複数回答可）

57件の回答



【問7-1】問2で【対面】を選択した方は、実習・見学についてご感想をお知らせください。

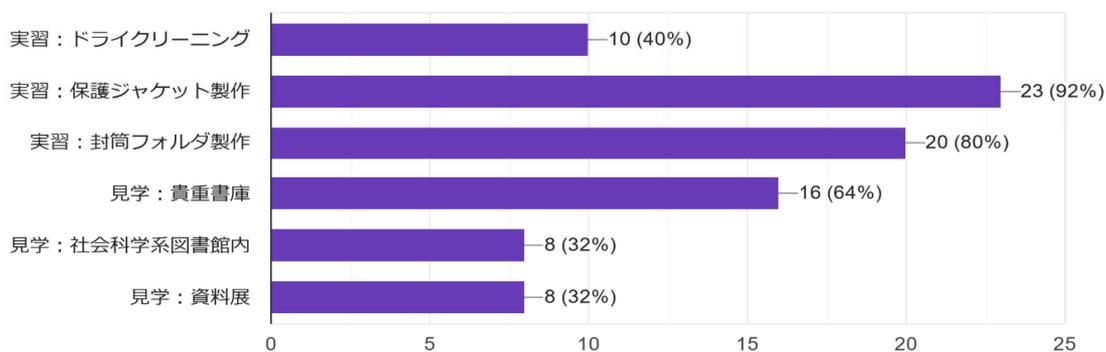
25件の回答



【問7-2

】実習・見学について、特に参考になった項目があればお知らせください。（複数選択可）

25件の回答



## 附属図書館に関する自己点検・評価の実施について

「神戸大学における内部質保証の基本的な考え方」及び「神戸大学内部質保証指針」に基づき、附属図書館の施設・設備については毎年自己点検・評価を実施する。附属図書館においては、附属図書館における内部質保証実施要項（以下、実施要項）及び神戸大学附属図書館評価委員会設置要項に基づき、附属図書館評価委員会が行い、「令和4年度神戸大学附属図書館年次報告」を作成、それをもって自己点検・評価を実施し、その結果を「令和4年度神戸大学附属図書館年次報告」の概要とした。

## 実施方法

- ・令和5年度第1回附属図書館評価委員会（令和5年8月21日～9月8日 メール審議開催）にて「令和4年度神戸大学附属図書館年次報告（案）」により自己点検・評価を実施
- ・令和5年度第2回附属図書館運営委員会（令和5年9月19日～10月2日 メール審議開催）にて「令和4年度神戸大学附属図書館年次報告（案）」において自己点検・評価結果を承認（実施要項第4条第1項）。
- ・第3回附属図書館運営委員会（令和5年11月7日）にて改善事項の審議を実施（実施要項第4条第2項）。

附属図書館に関する自己点検・評価結果は、以下のとおりである。

## 【評価事項①】

- ・附属図書館において、教育研究上必要な資料が利用可能な状態に整備され、有効に活用されていること。

## 【評価結果①】

- ・学生用資料整備：

各館室の学生用資料整備は図書館予算から各館室に配分した経費と各館室のサービス対象部局から拠出された経費を合わせて実施されている。令和4年度の図書館予算は、前年度と同額の4千万円とし各館室へ配分したものの、光熱費等の高騰の影響を受け予算額通りの執行は行われず各館室の予算執行率は中央値で90%台前半にとどまった。前年度に整備した学生用図書を選定評価を従来通り実施し、構成と利用の面で選定が適切に行われたことを確認した。

今後も厳しい予算状況が続くと見込まれるが、教育・学習活動の支援のため限られた予算の中で適切な資料選定を行うと共に、コンテンツへのアクセス可能性を担保・拡充するために冊子のみならず電子ブックを含めたリソース構築を目指す必要がある。

- ・研究用資料の整備：

第4期中期計画期間前半（令和4～6年度）の教育研究基盤資料整備費について、令和2年10月8日の部局長会議での承認に基づき、令和4年度は「教育研究基盤資料整備費」約3.74億円（決算ベース）が措置され、電子ジャーナル及びデータベースは前年度の契約タイトルを維持することができたが、今後、価格の高騰や為替の影響により第4期中期計画期間後半（令和7～9年度）の整備方針を検討する必要がある。

附属図書館運営経費は、令和4年度当初予算は約2.55億円で前年度から約0.04億円減（約1.6%減）となった。附属図書館図書資料費（学生用資料費・e-study資料費・震災文庫資料費・

外国雑誌センター館経費)の確保が困難となっているが、令和4年度は前年度から約2%減の約0.71億円の予算を確保した。しかし、資料本体の値上げ等により、全体の購入資料数は減少を続けている。

外国雑誌センター予算については、附属図書館予算の約1割を目標とし、前年度と同額の0.26億円を確保した。令和元年度にパッケージ購読を開始しタイトル契約数を増やしたことにより、電子ジャーナル利用数やILL受付件数が増えた。このことから資料の利便性が向上したと推測できる。

今後、光熱水料の高騰や雇用単価の値上げ等により経費負担が増える見込みのため、学生用資料費や外国雑誌センター予算を見直し、検討をおこなう必要がある。

・電子的情報基盤の整備：

令和4年度末における電子ジャーナル購読数は37,668タイトル、総ダウンロード数は教育研究基盤資料整備事業によるもので約140万件と、総体として非常によく利用されており、必須の教育研究基盤資料となっている。電子ジャーナル購読数は前年度の規模を維持している。

円安の進行によって令和5年度の所要見込が大幅に増加しており、今後の購読内容の検討は喫緊の課題である。

一方で、一部の出版社から「転換契約」という新しい契約形態が提案され、本学は、国内10大学によるパイロットプロジェクトに参加し、令和5年1月からSpringer Nature社との転換契約を開始した。

・開館サービス：

令和4年度は時間外開館を従来の実施館の全館で再開したこともあり、年間総入館者数は370,273人で前年度の1.9倍、また1日あたり入館者数は1.8倍となった。コロナ前の令和元年度と比較すると、年間総入館者数では46%、1日あたり入館者数は52%の回復にとどまっているが、密を避けるために閲覧席を間引いて供用したことや改修に伴う自然科学系図書館の休館も影響していると考えられる。

・資料提供サービスと利用促進：

学生への年間貸出総冊数は217,652冊で、前年度比約1.14倍となった。1日あたり入館者数(同約1.8倍)と比べれば緩やかな増加だが、コロナ禍前の令和元年度の209,180冊を超えており、平成30年度の208,442冊を底に回復傾向が見て取れる。利用促進においては、前年度に実施した「オンライン読書室」や電子ブックを利用した「仮想展示」といった非来館型の取り組みに代えて、本を借りて読むことを促進する来館型のイベント「読書マラソン」を、ネットワーク上のツールを利用することで非来館型のノウハウも活用しつつ実施し、アンケートでも好評価を得た。

・資料の保存：

整理作業促進のため「資料収容力確保策に関する実務指針」の改訂を行い、資料の除籍を実施し書庫狭域化の課題解決に取り組んだ。令和4年度竣工の自然科学系図書館増築部分の共同利用書庫について、海事科学分館改修時への備えも含めて今後の方針を策定し、附属図書館全体における体系的な資料整備を進めている。また、突発的な空調機の故障や豪雨に伴う雨漏りなどに備え、資料保存の適切な環境整備におも一層努めていく必要がある。

#### 【評価事項②】

- ・ 附属図書館の施設・設備の整備が適切に行われていること。

#### 【評価結果②】

- ・ 学修支援機能の強化を目的としたラーニングコモンズ（LC）設置と、資料収容力強化を目的とした増床のための自然科学系図書館の施設改修を、前年度と本年度の2年間で実施し、令和5年3月に竣工した。共創スペースとしてのLCに相応しい什器と設備が充実した。令和3年度から建物老朽化対策経費等により改修工事を実施していた社会科学系図書館管理棟の外壁について、令和4年度に完成した。

図書館システムについては、令和4年9月のリプレースを大きなトラブルもなく予定通り完了させることができた。サーバのクラウド化（情報基盤センターのサービスを利用）、デジタルアーカイブシステムの図書館システムとの統合、施設予約等の新機能の追加が主な変更点である。また、システム更新に合わせてネットワークの構成についても見直しを行った。具体的には、事務系機器は事務系ネットワークに移行するとともに、自動貸出機及び利用者用の端末等については、それぞれのプライベートネットワークに移行した。今後はシステムの安定した運用の維持と、改善を要する点への対応が課題である。

- ・ 令和4年度、外部資金等による収入として、新聞記事文庫デジタル化のための科研費を獲得することができた。また、附属図書館として初めて1社とネーミングライツ・パートナー協定を結び、1年6ヶ月の期間ネーミングライツ料の収入を得られることとなった。その他、1社より自然科学系図書館のリニューアル・オープンを機に、テーブル・椅子の寄付を受けた。今後も外部資金等の獲得に努めたい。

#### 【評価事項③】

- ・ 附属図書館の活動を展開するために必要な職員が配置され、適切に活用されていること。

#### 【評価結果③】

- ・ 令和5年3月時点で、附属図書館事務部は2課2グループ11係、定員44名、非常勤職員35名、計79名であった。経済経営研究所図書係に定員3名、大学文書史料室に定員3名、非常勤職員2名を配置している。10月から課長補佐の体制を、情報管理課1名・情報サービス課3名から、情報管理課2名・情報サービス課2名に変更し、情報管理課課長補佐1名を電子情報担当とした。本年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため多くの研修が対面からWebに変更となるなか、学外のWeb研修に積極的に職員が参加した。係横断的な業務や課題解決のためのワーキンググループについては、具体的な業務目的を負ったものに絞って設置し、いずれも活発に活動し成果をあげている。時間外開館及び土・日開館業務の体制については、予算の縮減と委託経費の上昇により外部委託は維持困難と判断し、学生アルバイトと非常勤職員（パート）により実施した。業務改善は、継続検討となった課題に新規事項も加え、引き続き取り組んでいく。

対応計画の実施状況一覧【附属図書館】

担当委員会	計画の実施主体	改善、向上が必要とされた事項(課題)	年月	令和4年度		令和5年度	
				令和4年12月(評価委員会)	令和5年5月(評価委員会)	令和5年12月(評価委員会)	令和6年4月(評価委員会)
附属図書館運営委員会	附属図書館事務部	電子ジャーナルの価格上昇及び円安の影響により電子ジャーナル購読数の維持が厳しくなってきたり、基礎維持と経費のバランスを考慮した整備計画の立案、進行を目指す。(電子的情報基盤の整備に関する事項)	令和4年11月	①対応計画(改善案)の進捗状況 ②前回確認時から進捗状況 ③今後の予定	①対応計画(改善案)の進捗状況 ②前回確認時から進捗状況 ③今後の予定	①対応計画(改善案)の進捗状況 ②前回確認時から進捗状況 ③今後の予定	①対応計画(改善案)の進捗状況 ②前回確認時から進捗状況 ③今後の予定
附属図書館運営委員会	附属図書館事務部	①非来館型サービスの重要性が顕著となり、図書館の利用指標として新たな指標の設定を行う。(開館サービスに関する事項、資料提供サービスと利用促進に関する事項)	令和4年11月	対応 中	対応 中	対応 中	対応 中
附属図書館運営委員会	附属図書館事務部	資料収容力強化を目的とした自然科学系図書館の増設により、共同利用書庫の新設にあわせ、附属図書館全体における体系的な資料整備を進める。(資料の保存に関する事項)	令和4年11月	検討 中	対応 中	対応 中	対応 中
附属図書館運営委員会	附属図書館事務部	附属図書館の経営運営費が削減するなか、大学や社会、利用者の要望に十分応えうる図書館サービスに必要な施設・設備の充実や人材確保を図るため、外部資金等の獲得も見据えた財源の確保を目指す。(施設整備に関わる事項)	令和5年11月	対応 中	対応 中	対応 中	対応 中

**教育課程、施設及び設備、学生支援、学生の受入に関する自己点検・評価結果を踏まえた対応計画（改善・向上が必要と確認された事項（課題）への対応計画）**

※ 「改善・向上が必要と確認された事項」が複数ある場合は、1 事項につき 1 枚で作成ください。

※ 記載いただいた対応計画等については、自己評価書（別紙様式 2-3-1）に盛り込む予定です。

① 担当委員会	附属図書館運営委員会			
② 改善・向上が必要と確認された事項（課題）	(記載にあたっては、NIAD「基準ごとの分析を行う際の手順等について」p. 37-43 をご参照ください)			
確認年月	令和 5 年 11 月			
対応計画の実施主体	附属図書館事務部			
課題の内容	電子ジャーナルの価格上昇及び円安の影響により電子ジャーナル購読数の維持が厳しくなっているなか、基盤維持と経費のバランスを考慮した整備計画の立案・進行を目指す。(電子的情報基盤の整備に関する事項)			
課題とした根拠資料等	令和 3 年度神戸大学附属図書館年次報告			
対応計画 (改善方策) (時期も記載してください)	令和 6(2024)年以降の教育研究基盤資料の見直し及び第 4 期中期計画後半(2025-2027)における教育研究基盤資料の整備について検討し、附属図書館運営委員会にて協議を行う。			
進捗状況 ※該当する項目を☑にしてください。	令和 3 年度以前	令和 4 年度	令和 5 年度 (自己点検・評価時)	令和 5 年度 (進捗状況確認時)
	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 検討中
	<input type="checkbox"/> 対応中	<input checked="" type="checkbox"/> 対応中	<input checked="" type="checkbox"/> 対応中	<input checked="" type="checkbox"/> 対応中
	<input type="checkbox"/> 対応済	<input type="checkbox"/> 対応済	<input type="checkbox"/> 対応済	<input type="checkbox"/> 対応済
	<input type="checkbox"/> 解決	<input type="checkbox"/> 解決	<input type="checkbox"/> 解決	<input type="checkbox"/> 解決
	※上記の進捗状況について具体的に記載してください。 令和 6(2024)年の教育研究基盤資料の見直し及び第 4 期中期計画後半(2025-2027)における教育研究基盤資料の整備について、令和 5 年度第 1 回附属図書館運営委員会にて承認を得て、担当理事とも協議を行った。令和 5 年には、電子ジャーナル購読料とオープンアクセス出版料の包括契約(転換契約)を大手 1 社と締結し、他 1 社についても検討中である。			
(「解決」の場合) 判断根拠	※課題に対するアウトカムの状況を記載してください。			
自己点検・評価時からの具体的な進捗状況	令和 6(2024)年の教育研究基盤資料については、第 4 期前半の教育研究基盤資料整備費の上限(令和 2 年 10 月部局長会議承認)を上回る金額となってしまったが、円安の影響によるものであるため、大学執行部の了承を得て令和 6 年度事業経費として要求中。第 4 期中期計画後半(2025-2027)の教育研究基盤資料の整備については、為替の状況を踏まえて令和 5 年度第 4 回附属図書館運営委員会にて協議を行う。令和 6 年 4 月から電子ジャーナル購読料とオープンアクセス出版料の包括契約(転換契約)を新たに 1 社と締結することで、12 月の部局長会議にて承認を得た。			

<p>今後の予定 (改善方策) (時期も記載してください) ※「解決」の場合記載不要</p>	<p>第4期中期計画後半(2025-2027)の教育研究基盤資料の整備については、令和7(2025)年の教育研究基盤資料の契約に間に合うよう、図書館運営委員会での承認を得たうえで、大学執行部と協議を行う。</p>
--	--

**教育課程、施設及び設備、学生支援、学生の受入に関する自己点検・評価結果を踏まえた対応計画（改善・向上が必要と確認された事項（課題）への対応計画）**

※ 「改善・向上が必要と確認された事項」が複数ある場合は、1 事項につき 1 枚で作成ください。

※ 記載いただいた対応計画等については、自己評価書（別紙様式 2-3-1）に盛り込む予定です。

① 担当委員会	附属図書館運営委員会			
② 改善・向上が必要と確認された事項（課題）	(記載にあたっては、NIAD「基準ごとの分析を行う際の手順等について」p. 37-43 をご参照ください)			
確認年月	令和 5 年 11 月			
対応計画の実施主体	附属図書館事務部			
課題の内容	非来館型サービスの重要性が顕著となっているなか、図書館の利用指標として非来館型サービスの項目について新たな指標の設定を行う。(開館サービスに関する事項・資料提供サービスと利用促進に関する事項)			
課題とした根拠資料等	令和 3 年度神戸大学附属図書館年次報告			
対応計画 (改善方策) (時期も記載してください)	従来の評価指標を見直しつつ、非来館型サービスに関する適切な評価指標を検討して追加した。今年度以降の第 4 期中期計画期間における実績評価、及び附属図書館年次報告にて反映させる。			
進捗状況 ※該当する項目を☑にしてください。	令和 3 年度以前	令和 4 年度	令和 5 年度 (自己点検・評価時)	令和 5 年度 (進捗状況確認時)
	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 検討中
	<input type="checkbox"/> 対応中	<input checked="" type="checkbox"/> 対応中	<input type="checkbox"/> 対応中	<input type="checkbox"/> 対応中
	<input type="checkbox"/> 対応済	<input type="checkbox"/> 対応済	<input checked="" type="checkbox"/> 対応済	<input type="checkbox"/> 対応済
	<input type="checkbox"/> 解決	<input type="checkbox"/> 解決	<input checked="" type="checkbox"/> 解決	<input type="checkbox"/> 解決
	※上記の進捗状況について具体的に記載してください。 令和 4 年度中に非来館型サービスを含めた新たな評価指標の設定を行い、数値目標を確認した。新たな指標として、蔵書検索システム検索回数、アカウントサービス提供回数、デジタル・アーカイブ利用数などを追加した。令和 5 年度には、第 4 期中期計画期間における令和 4 年度の実績評価を実施し、令和 4 年度附属図書館年次報告にて、新たな評価指標に基づき報告を行った。			
(「解決」の場合) 判断根拠	※課題に対するアウトカムの状況を記載してください。 令和 4 年度神戸大学附属図書館年次報告にて新たな評価指標として実施。			
自己点検・評価時からの具体的な進捗状況				
今後の予定 (改善方策) (時期も記載してください) ※「解決」の場合記載不要				

**教育課程、施設及び設備、学生支援、学生の受入に関する自己点検・評価結果を踏まえた対応計画（改善・向上が必要と確認された事項（課題）への対応計画）**

※ 「改善・向上が必要と確認された事項」が複数ある場合は、1 事項につき 1 枚で作成ください。

※ 記載いただいた対応計画等については、自己評価書（別紙様式 2-3-1）に盛り込む予定です。

① 担当委員会	附属図書館運営委員会			
② 改善・向上が必要と確認された事項（課題）	（記載にあたっては、NIAD「基準ごとの分析を行う際の手順等について」p. 37-43 をご参照ください）			
確認年月	令和 5 年 11 月			
対応計画の実施主体	附属図書館事務部			
課題の内容	資料収容力強化を目的とした自然科学系図書館の増築により、共同利用書庫の新設にあわせ、附属図書館全体における体系的な資料整備を進める。（資料の保存に関する事項）			
課題とした根拠資料等	令和 3 年度神戸大学附属図書館年次報告			
対応計画（改善方策） （時期も記載してください）	令和 5 年 3 月竣工の自然科学系図書館における共同利用書庫について、対象とする資料の基準及び運用方針を策定する。基準に則して附属図書館全体での調査を行い、共同利用書庫および各館室の資料構成を見据えて適切な配架となるよう資料移動等を行い、附属図書館全体として体系的な資料整備を目指す。			
進捗状況 ※該当する項目を☑にしてください。	令和 3 年度以前	令和 4 年度	令和 5 年度 （自己点検・評価時）	令和 5 年度 （進捗状況確認時）
	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 検討中
	<input type="checkbox"/> 対応中	<input checked="" type="checkbox"/> 対応中	<input checked="" type="checkbox"/> 対応中	<input checked="" type="checkbox"/> 対応中
	<input type="checkbox"/> 対応済	<input type="checkbox"/> 対応済	<input type="checkbox"/> 対応済	<input type="checkbox"/> 対応済
	<input type="checkbox"/> 解決	<input type="checkbox"/> 解決	<input type="checkbox"/> 解決	<input type="checkbox"/> 解決
	※上記の進捗状況について具体的に記載してください。 令和 4 年度に自然科学系図書館における共同利用書庫について、対象とする資料の基準及び方針を策定し、使用するスペースと収容冊数の確認を行った。自然科学系図書館は令和 5 年 3 月末に竣工し、改修工事に関わる資料等の引越し作業が終了した。図書館内資料の配架場所が確定したことにより、共同利用書庫として使用するスペースと収容冊数が確定した。			
（「解決」の場合） 判断根拠	※課題に対するアウトカムの状況を記載してください。			
自己点検・評価時からの具体的な進捗状況	共同利用書庫の対象とする資料の基準に則り、候補リストを作成中。			
今後の予定（改善方策） （時期も記載してください） ※「解決」の場合記載不要	引き続き各館室ごとの候補リストおよび資料移動計画を作成し、用意が整い次第移動作業を開始する予定。共同利用書庫にて保存する製本雑誌については、各館室重複分の廃棄を進める。			

**教育課程、施設及び設備、学生支援、学生の受入に関する自己点検・評価結果を踏まえた  
対応計画（改善・向上が必要と確認された事項（課題）への対応計画）**

※ 「改善・向上が必要と確認された事項」が複数ある場合は、1事項につき1枚で作成ください。

※ 記載いただいた対応計画等については、自己評価書（別紙様式2-3-1）に盛り込む予定です。

① 担当委員会	附属図書館運営委員会			
② 改善・向上が必要と確認された事項（課題）	(記載にあたっては、NIAD「基準ごとの分析を行う際の手順等について」p.37-43をご参照ください)			
確認年月	令和 5年 11月			
対応計画の実施主体	附属図書館事務部			
課題の内容	附属図書館の経常運営費が削減するなか、大学や社会、利用者の要望に十分応えうる図書館サービスに必要な施設・設備の充実や人材確保を図るため、外部資金等の獲得も見据えた財源の確保を目指す。(施設整備に関わる事項)			
課題とした根拠資料等	令和4年度神戸大学附属図書館年次報告			
対応計画(改善方策) (時期も記載してください)	・科研費などの外部資金の獲得やネーミングライツ、その他の方策を検討し、収入の確保を目指す。			
進捗状況 ※該当する項目を☑にしてください。	令和3年度以前	令和4年度	令和5年度 (自己点検・評価時)	令和5年度 (進捗状況確認時)
	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 検討中
	<input type="checkbox"/> 対応中	<input type="checkbox"/> 対応中	<input checked="" type="checkbox"/> 対応中	<input checked="" type="checkbox"/> 対応中
	<input type="checkbox"/> 対応済	<input type="checkbox"/> 対応済	<input type="checkbox"/> 対応済	<input type="checkbox"/> 対応済
	<input type="checkbox"/> 解決	<input type="checkbox"/> 解決	<input type="checkbox"/> 解決	<input type="checkbox"/> 解決
	※上記の進捗状況について具体的に記載してください。 ・令和5年1月より海事科学分館で、7月より社会科学系図書館でネーミングライツをそれぞれ1件ずつ締結した。 ・令和5年度からの学術情報流通活性化経費を獲得した。 ・令和5年10月、人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業委託業務に採択された(令和9年度まで)。			
(「解決」の場合) 判断根拠	※課題に対するアウトカムの状況を記載してください。			
自己点検・評価時からの具体的な進捗状況	・令和6年6月終了の海事科学分館ネーミングライツについて、ネーミングライツパートナーからの了承を得られ、令和6年7月から1年間継続の予定。			
今後の予定(改善方策) (時期も記載してください) ※「解決」の場合記載不要	・引き続き、外部資金等獲得に向けて情報収集等を行う。			

附属図書館蔵書・受入等の現況(令和5年度)

		総合・国際	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計		
蔵書	蔵書数 (冊)	497,083	1,423,819	433,224	333,176	339,224	269,366	157,551	58,277	256,998	3,768,718		
	和洋区分	和漢書	355,071	689,752	217,153	215,365	264,050	121,514	74,957	50,938	200,676	2,189,476	
		洋書	142,012	734,067	216,071	117,811	75,174	147,852	82,594	7,339	56,322	1,579,242	
	遊及状況	入力済	472,128	1,414,181	316,183	299,940	294,197	201,888	102,921	57,806	256,998	3,416,242	
		未入力	24,955	9,638	117,041	33,236	45,027	67,478	54,630	471	0	352,476	
	所蔵雑誌数 (タイトル数)	2,464	18,390	5,059	3,610	3,543	6,845	3,040	949	3,013	46,913		
和洋区分	国内雑誌	1,605	6,805	2,093	2,668	2,426	3,108	1,581	752	2,011	23,049		
	外国雑誌	859	11,585	2,966	942	1,117	3,737	1,459	197	1,002	23,864		
図書受入	受入図書数 (冊)	1,992	1,623	5,772	2,033	3,551	2,500	343	1,387	632	996	20,829	
	和洋区分	和漢書	1,952	1,245	4,327	1,606	2,760	2,272	289	1,035	611	940	17,037
		洋書	40	378	1,445	427	791	228	54	352	21	56	3,792
	取得手段	購入(一般財源)	1,975	994	2,857	1,128	1,246	1,153	148	528	261	804	11,094
		補助金による購入	3	385	2,151	492	1,955	479	20	146	150	92	5,873
		一般寄贈	0	88	671	372	273	788	94	621	171	36	3,114
		再受入	0	149	93	3	5	9	1	0	0	0	260
		製本編入	14	7	0	29	72	71	80	90	50	64	477
		所属換	0	0	0	9	0	0	0	2	0	0	11
	取得目的	学生用図書	1,849	213	1,781	850	385	438	62	472	221	739	7,010
		図書館備付	136	692	1,411	348	733	1,369	255	741	286	111	6,082
		研究室備付	7	718	2,580	835	2,433	693	26	174	125	146	7,737
	除却・移譲等による減 (冊)	1,782		9,072	6,989	1,281	7,439	1,280	633	258	2,992	31,726	
	和洋区分	和漢書	1,379		6,837	4,487	893	5,643	736	540	244	2,555	23,314
		洋書	403		2,235	2,502	388	1,796	544	93	14	437	8,412
	所属換による減 (冊)	9		0	2	0	0	0	0	0	0	11	
	和洋区分	和漢書	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0
		洋書	9		0	2	0	0	0	0	0	0	11
年間増加数 (冊)	1,824		-3,300	-4,958	2,270	-4,939	-937	754	374	-1,996	-10,908		
和洋区分	和漢書	1,818		-2,510	-2,881	1,867	-3,371	-447	495	367	-1,615	-6,277	
	洋書	6		-790	-2,077	403	-1,568	-490	259	7	-381	-4,631	
雑誌受入	受入雑誌数 (タイトル数)	72	64	885	210	728	120	470	327	86	197	3,159	
	和洋区分	国内雑誌	68	51	476	190	643	118	378	238	72	187	2,421
		外国雑誌	4	13	409	20	85	2	92	89	14	10	738
	取得手段	購入(一般財源)	72	29	639	143	219	84	120	115	54	67	1,542
		補助金による購入	0	0	44	13	0	0	0	41	2	1	101
		一般寄贈	0	35	202	54	509	36	350	171	30	129	1,516
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	取得目的	学生用雑誌	63	15	13	107	14	60	0	92	52	60	476
		図書館備付	3	35	770	56	714	36	466	173	30	130	2,413
		研究室備付	6	14	102	47	0	24	4	62	4	7	270
その他資料受入	受入新聞数 (タイトル数)	8	0	14	10	6	8	0	0	0	8	54	
	和洋区分	国内新聞	6	0	12	10	4	8	0	0	0	8	48
		外国新聞	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	6
	取得手段	購入	7	0	14	10	6	7	0	0	0	7	51
		寄贈	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3
	データベース(年間契約点数)	14	0	8	2	0	0	0	4	2	0	30	
	電子ジャーナル(利用可能数)					37,836						37,836	
資料購入費	一般財源資料費	414,615,834	7,368,685	129,945,453	32,529,690	17,468,838	11,192,907	14,063,544	45,688,582	7,108,736	7,877,517	687,859,786	
	図書館セグメント	学生用資料費	6,374,629	2,495,799	7,443,516	8,406,405	2,452,624	3,568,180	1,075,089	3,894,233	2,446,940	3,114,448	41,271,863
		その他資料費	407,628,455	0	25,147,629	0	0	0	0	0	0	0	432,776,084
	部局セグメント	館室備付	390,955	3,092,396	91,729,760	638,461	10,973,431	4,413,923	12,977,922	39,220,631	4,499,963	4,209,868	172,147,310
		研究室備付	221,795	1,780,490	5,624,548	23,484,824	4,042,783	3,210,804	10,533	2,573,718	161,833	553,201	41,664,529
	その他の財源 補助金等	9,198,960	1,719,839	39,195,708	17,361,290	15,072,818	7,252,848	232,944	5,093,402	663,247	851,226	96,642,282	
	図書購入費	5,347,876	7,095,650	40,191,804	11,789,940	19,675,646	6,836,015	1,859,215	5,517,372	1,765,854	3,492,535	103,571,907	
	和洋区分	和漢書	5,128,405	4,188,339	19,581,873	5,516,659	12,685,108	4,528,254	928,884	4,299,645	1,479,912	2,879,079	61,216,158
		洋書	219,471	2,907,311	20,609,931	6,273,281	6,990,538	2,307,761	930,331	1,217,727	285,942	613,456	42,355,749
	雑誌購入費	1,130,633	1,124,756	92,024,554	14,315,292	7,103,544	3,987,102	8,444,846	39,660,705	5,311,920	3,949,802	177,053,154	
	和洋区分	国内雑誌	995,688	185,367	6,544,908	3,710,963	1,326,510	1,197,080	1,002,747	2,896,563	1,272,120	943,711	20,075,657
		外国雑誌	134,945	939,389	85,479,646	10,604,329	5,777,034	2,790,022	7,442,099	36,764,142	4,039,800	3,006,091	156,977,497
	新聞購入費	427,450	0	1,122,098	485,779	317,850	280,070	0	0	0	366,958	3,000,205	
	電子資料費	416,863,400	868,118	21,662,898	17,368,570	1,652,934	1,176,725	3,853,171	5,301,906	694,209	442,699	469,884,630	
	その他の資料購入費	45,435	0	14,139,807	5,931,399	3,791,682	6,165,843	139,256	302,001	0	476,749	30,992,172	
	資料購入費計	423,814,794	9,088,524	169,141,161	49,890,980	32,541,656	18,445,755	14,296,488	50,781,984	7,771,983	8,728,743	784,502,068	
	電子コンテンツ作成費					4,845,263						4,845,263	
製本費	53,130	0	73,370	182,160	179,630	202,400	227,700	126,500	184,910		1,229,800		

\* 所蔵雑誌数は雑誌包括所蔵数から誌名変遷数を引いた数値とする(平成23年度変更)

## 附属図書館サービス業務の現況(令和5年度)

		総合・国際	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計	
施設	施設面積合計(㎡)	3,558	10,308	4,101	1,288	1,474	1,097	1,715	837	2,170	26,548	
	現行用途別(㎡)	サービススペース	1,954	2,122	2,205	664	538	141	793	598	763	9,778
		書庫スペース	1,208	5,771	777	535	714	900	462	97	988	11,452
		事務スペース	130	627	432	48	89	27	141	48	103	1,645
		その他	266	1,788	687	41	133	29	319	94	316	3,673
	閲覧座席数	閲覧座席数	389	398	450	138	153	29	225	106	169	2,057
		上のうち、教員用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	書架収容力	棚板延長(m)	12,285	49,040	13,732	8,028	7,920	6,873	6,268	1,920	7,258	113,324
収容可能冊数		341,250	1,362,222	381,450	223,000	220,000	190,916	174,111	53,333	201,611	3,147,893	
利用者端末台数		8	18	4	11	7	0	5	3	3	59	
利用者	利用対象者総数	4,942	4,121	5,968	772	1,245	78	4,152	1,047	1,242	23,567	
	利用者別	学部学生	4,212	2,152	2,466	349	629	0	605	494	719	11,626
		大学院生	204	1,121	1,821	218	279	0	573	303	218	4,737
		教職員	394	558	1,577	149	288	70	2,830	239	234	6,339
		その他	6	72	28	15	12	8	118	0	24	283
		学外登録者総数	126	218	76	41	37	0	26	11	47	582
内訳: 卒業生389、放送大学等56、一般市民137												
開館入館	開館日数	年間	273	331	269	270	270	236	288	269	269	2,475
		土曜(内数)	33	46	33	33	33	0	49	33	32	292
		休日(内数)	4	49	0	0	0	0	0	0	0	53
	時間外等開館時間数	平日時間外開館	523	696	507	357	357	0	711	357	357	3,865
		土曜開館	204	284	204	204	204	0	302	204	198	1,804
		休日開館	32	304	0	0	0	0	0	0	0	336
	入館者数	年間入館者総数	119,540	97,227	136,095	50,380	25,726	1,021	38,960	28,688	22,401	520,038
		(内訳)時間内(含:土日)	113,461	91,143	121,977	46,135	23,872	1,021	35,339	27,126	21,088	481,162
		平日時間外	6,079	6,084	14,118	4,245	1,854	0	3,621	1,562	1,313	38,876
		閉館時(無人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		土曜(内数)	1,224	3,924	3,898	1,300	406	0	1,420	343	842	13,357
		休日(内数)	152	3,962	0	0	0	0	0	0	0	4,114
		学外者(内数)	1,622	5,648	1,475	1,153	774	21	488	143	754	12,078
		(内訳)卒業生	511	827	340	560	574	5	147	34	265	3,263
他大学生・研究者等一般市民	317	430	273	336	103	12	112	8	173	1,764		
		794	4,391	862	257	97	4	229	101	316	7,051	
貸出	貸出総冊数	66,327	58,410	43,567	27,242	26,636	1,858	10,494	13,565	21,448	269,547	
	利用者別	学生	38,242	21,103	25,030	11,027	11,135	519	5,478	8,656	14,404	135,594
		院生	18,044	28,610	14,467	11,839	12,349	814	1,915	3,934	4,118	96,090
		教職員	6,439	5,079	2,472	3,137	1,838	400	567	657	1,741	22,330
		職員	2,326	2,556	1,222	760	995	99	2,327	246	903	11,434
		その他	232	216	0	5	18	0	9	3	11	494
		学外者総数	1,044	846	376	474	301	26	198	69	271	3,605
		卒業生(内数)	439	770	338	196	136	25	198	69	80	2,251
一般市民(内数)	439	0	0	0	0	0	0	0	148	587		
参考調査	参考調査件数	721	1,848	3,929	1,786	1,078	387	1,796	405	1,735	13,685	
	利用者別	学生	621	1,090	3,044	1,383	735	127	425	365	1,013	8,803
		教職員	48	111	607	168	202	191	768	40	125	2,260
		学外者	52	647	278	235	141	69	603	0	597	2,622
チャットによる利用者相談		169									169	
複写相互利用	来館複写件数	365	2,884	2,550	1,962	905	259	2,338	59	368	11,690	
	利用者別	学内者	211	2,468	2,437	1,932	799	241	2,256	46	296	10,686
		学外者	154	416	113	30	106	18	82	13	72	1,004
	学内相互利用	ILL文献複写 受付	14	67	48	29	27	15	56	44	33	333
		ILL文献複写 依頼	64	79	28	24	55	7	26	36	18	337
	図書配送	発送申込冊数	9,520	4,840	1,745	1,321	3,689	561	716	938	2,173	25,503
		受取申込冊数	2,990	3,070	4,042	10,424	2,369	185	655	591	1,177	3,696
		申込者数	703	550	844	785	339	32	135	108	200	3,696
	学外相互利用	ILL文献複写 受付	172	2,379	274	231	303	70	846	284	94	4,653
		ILL文献複写 依頼	263	489	224	729	474	94	221	279	29	2,802
		ILL現物貸借 受付	377	611	83	382	205	23	13	11	56	1,761
		ILL現物貸借 依頼	118	141	63	386	77	4	4	5	24	822
	海外ILL	文献複写 受付	0	2	0	0	0	0	2	0	0	4
		文献複写 依頼	0	4	1	4	0	0	0	0	1	10
現物貸借 受付		4	2	0	0	1	0	0	0	0	7	
現物貸借 依頼		0	0	1	2	0	0	0	0	0	3	

電子的情報サービスの現況 (R5・2023年度)

電子ジャーナルアクセス状況 ※基盤整備費にかかるもの

	2023.4	2023.5	2023.6	2023.7	2023.8	2023.9	2023.10	2023.11	2023.12	2024.1	2024.2	2024.3	合計
ACS	13,373	14,593	13,326	11,811	10,019	11,385	15,763	13,686	11,719	15,888	12,538	11,954	156,055
APS	919	771	1,043	891	742	845	1,000	925	838	932	811	744	10,461
Cambridge UP	922	962	1,179	993	1,012	843	1,256	1,246	1,107	1,071	843	655	12,089
Elsevier ScienceDirect	49,129	56,020	56,889	48,711	40,838	45,869	58,399	53,506	50,017	59,043	45,584	36,950	600,955
HeinOnline	433	641	782	773	652	578	630	900	805	676	530	439	7,839
JSTOR	4,441	5,344	5,380	4,692	4,164	3,918	6,046	5,224	5,458	5,501	3,534	3,658	57,360
Nature	8,574	9,427	8,315	7,558	6,377	6,683	8,443	7,414	7,845	8,846	7,571	6,007	93,060
Ovid	1,100	1,107	1,351	1,249	1,104	993	1,214	1,780	1,738	1,851	1,613	1,573	16,673
Oxford UP	4,715	5,113	5,529	4,182	4,444	4,100	4,747	4,918	4,561	5,697	4,407	3,551	55,964
Project Euclid	87	86	61	67	66	87	85	55	76	78	58	53	859
Science Online	2,052	2,007	1,874	1,691	1,305	1,336	1,991	1,993	1,829	2,289	1,531	1,322	21,220
SpringerLINK	14,533	15,072	17,784	14,972	13,532	13,826	15,909	19,194	16,612	20,349	13,159	14,043	188,985
Wiley Online Library	18,186	18,845	19,745	18,628	16,007	16,230	20,280	19,725	18,903	23,497	16,534	15,630	222,210

導入データベース数 ※図書館HP「データベース一覧」より(一般公開分を除く)

全学利用	62	WWW7アクセス
キャンパス限定	7	医学4(医中誌、EBMR、MEDLINE、Up to date) 保健1(最新看護索引Web) 六甲台2(LEX/DB インターネット、日本建築学会論文検索システム)

データベースアクセス状況 ※基盤整備費およびe-study資料費にかかるもの

	2023.4	2023.5	2023.6	2023.7	2023.8	2023.9	2023.10	2023.11	2023.12	2024.1	2024.2	2024.3	合計
Business Source Premier	266 (209)	222 (243)	290 (224)	243 (211)	203 (149)	250 (248)	332 (340)	296 (92)	296 (148)	332 (153)	295 (218)	163 (167)	3,188 (2,402)
CINAHL	53 (121)	61 (236)	43 (109)	72 (287)	301 (199)	578 (398)	171 (469)	47 (151)	106 (253)	123 (115)	76 (170)	45 (46)	1,676 (2,554)
CiNii Research	5,300 (17,776)	6,644 (21,756)	6,367 (18,213)	5,247 (15,497)	2,825 (8,390)	2,786 (8,096)	5,386 (17,037)	5,067 (13,236)	4,288 (12,925)	3,938 (11,567)	2,429 (6,185)	1,780 (4,451)	52,057 (155,129)
EconLit	19 (41)	21 (64)	22 (56)	29 (85)	19 (55)	30 (95)	39 (202)	23 (47)	21 (64)	26 (62)	27 (80)	13 (47)	289 (898)
Index to Legal Periodicals & Books(EBSCOhost)	12 (17)	11 (18)	14 (36)	15 (31)	11 (32)	24 (69)	33 (176)	17 (25)	17 (39)	21 (45)	17 (40)	9 (18)	201 (546)
JCR	252 (410)	267 (340)	375 (724)	382 (657)	292 (642)	274 (474)	255 (557)	236 (513)	253 (332)	287 (494)	280 (433)	295 (570)	3,448 (6,146)
JDreamIII	82 (150)	436 (988)	72 (164)	18 (28)	36 (60)	24 (57)	37 (79)	19 (27)	60 (156)	28 (52)	20 (36)	8 (30)	820 (1,827)
Lexis	65 (65)	33 (33)	53 (53)	53 (53)	34 (34)	102 (102)	78 (78)	152 (152)	40 (40)	93 (93)	57 (57)	29 (29)	789 (789)
Academic OneFile	187 (206)	197 (209)	201 (226)	204 (273)	138 (163)	97 (127)	199 (246)	209 (230)	170 (193)	154 (162)	190 (186)	113 (109)	2,059 (2,330)
General OneFile	28 (52)	34 (69)	30 (60)	29 (76)	14 (23)	9 (18)	41 (106)	29 (82)	22 (36)	22 (42)	26 (54)	17 (18)	301 (636)
MathSciNet	(2,501)	(3,548)	(2,387)	(2,204)	(2,141)	(2,470)	(3,039)	(2,363)	(2,439)	(2,327)	(1,778)	(2,768)	(29,965)
OECD iLibrary	60	108	89	97	48	41	60	83	118	80	36	40	840
PhycARTICLES	166 (194)	168 (200)	197 (378)	191 (88)	129 (106)	145 (70)	171 (193)	146 (131)	190 (303)	226 (97)	149 (118)	97 (138)	1,975 (2,016)
PhycINFO	45 (231)	78 (261)	63 (377)	41 (218)	34 (172)	25 (102)	58 (258)	30 (134)	35 (292)	25 (97)	29 (110)	26 (152)	489 (2,404)
Readers Guide to Periodical Literature(EBSCOhost)	10 (17)	11 (19)	17 (43)	15 (31)	11 (32)	24 (69)	33 (176)	17 (25)	17 (42)	22 (47)	22 (62)	7 (14)	206 (577)
SciFinder Discovery Platform for Academics	(6,654)	(5,881)	(8,972)	(6,846)	(3,627)	(3,972)	(5,497)	(5,106)	(4,112)	(4,705)	(5,095)	(3,068)	(63,535)
Web of Science Core Collection	(18,453)	(19,214)	(17,774)	(15,925)	(12,180)	(12,856)	(16,817)	(15,474)	(14,721)	(14,555)	(11,495)	(10,631)	(180,095)
Westlaw Next	330 (904)	491 (1,195)	356 (836)	327 (732)	236 (603)	414 (775)	365 (828)	407 (1,037)	363 (902)	414 (954)	317 (1,028)	348 (1,079)	4,368 (10,873)
医学中央雑誌	3,563 (8,769)	3,869 (8,958)	2,982 (6,338)	3,039 (6,333)	2,719 (4,898)	2,328 (5,052)	2,643 (5,890)	3,276 (7,320)	2,125 (4,194)	2,053 (3,918)	2,650 (5,656)	1,724 (3,025)	32,971 (70,351)
朝日新聞クロスサーチ	479 (4,838)	572 (5,881)	640 (5,481)	479 (5,926)	666 (4,332)	497 (11,992)	895 (12,180)	845 (16,451)	699 (9,245)	496 (4,799)	406 (3,843)	270 (3,075)	6,944 (88,043)
ざっさくプラス	5 (4)	3 (6)	12 (61)	15 (91)	28 (104)	15 (88)	27 (38)	17 (28)	13 (36)	7 (20)	15 (41)	25 (79)	182 (596)
ジャパンナレッジLib	955 (7,594)	1,542 (13,800)	1,657 (16,846)	1,336 (11,972)	771 (6,162)	583 (4,412)	1,280 (11,606)	1,410 (11,601)	1,482 (12,993)	1,317 (12,073)	753 (5,406)	425 (2,898)	13,511 (117,363)
ナクソス・ミュージック・ライブラリー	69	82	96	110	89	104	140	161	99	136	148	133	1,367
日経テレコン	73,740	80,930	111,633	79,525	53,509	52,494	72,731	113,014	73,599	53,139	39,403	18,941	822,658
毎索	198 (8,724)	262 (11,555)	317 (9,224)	212 (12,249)	401 (9,507)	289 (9,452)	466 (37,963)	324 (20,083)	358 (19,130)	243 (17,934)	142 (7,402)	119 (4,685)	3,331 (167,908)
メディカルオンライン	4,624	7,133	6,070	6,218	5,481	4,514	4,785	5,568	4,590	5,281	5,110	4,453	63,827
ヨミダス(ヨミダス歴史館)	104 (624)	140 (826)	159 (882)	111 (775)	298 (2,193)	152 (1,258)	283 (2,958)	194 (2,540)	211 (1,629)	29 (606)	71 (573)	86 (1,394)	66 (16,258)

※官報は統計データ未公開

図書館ホームページ、OPAC等アクセス統計

	2023.4	2023.5	2023.6	2023.7	2023.8	2023.9	2023.10	2023.11	2023.12	2024.1	2024.2	2024.3	合計
図書館トップページ	55,697	59,383	53,718	52,614	46,268	42,249	58,415	64,041	51,661	51,260	49,414	41,398	626,118
OPAC調べ検索回数	162,452	202,579	176,841	176,451	146,161	133,101	184,389	162,351	153,353	194,244	171,869	169,076	2,032,867
ディスカバリー調べ検索回数	1,276	1,678	1,590	1,311	942	1,093	1,441	1,172	932	1,004	781	554	13,774
震災文庫トップページ	586	708	659	597	653	721	696	912	988	2,346	915	969	10,750
新聞記事文庫トップページ	3,643	4,547	4,541	4,152	5,650	5,030	6,288	6,304	6,118	6,506	4,668	4,845	62,292

リンクリゾルバ(SFX)利用統計

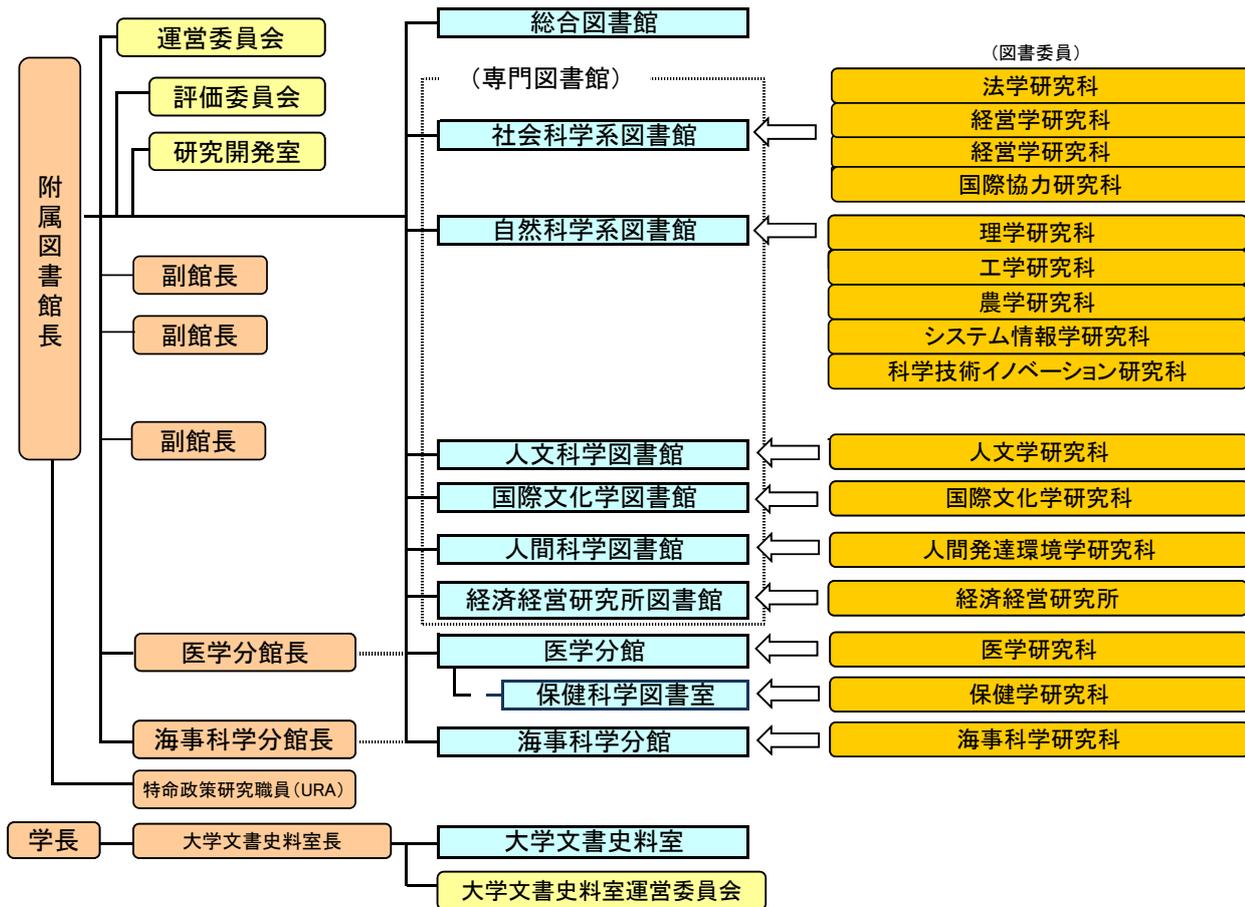
	2023.4	2023.5	2023.6	2023.7	2023.8	2023.9	2023.10	2023.11	2023.12	2024.1	2024.2	2024.3	合計
電子リソースアクセス数	13,293	15,730	12,942	11,435	7,525	7,430	12,130	11,044	9,079	9,471	8,726	6,240	125,045
電子リソースリスト	3,515	3,604	3,301	3,105	1,882	1,851	3,243	2,913	2,472	2,898	2,343	2,059	33,186
DBからのアクセス数	9,778	12,126	9,641	8,330	5,643	5,579	8,887	8,131	6,607	6,573	6,383	4,181	91,859
→フルテキスト	7,133	8,195	6,934	5,955	4,101	3,891	6,104	5,570	4,784	5,495	5,061	4,061	67,284
→所蔵検索数	729	774	672	580	352	343	553	528	421	350	349	190	5,841
→文献複写依頼	165	219	291	168	102	128	187	163	133	133	82	68	1,839

※ アクセス数:電子リソースリストやDBからのSFXリンクアイコン総アクセス数、所蔵検索数:OPAC、Webcatのアクセス回数

各DB(CiNii、WoS、JDreamIII、PubMed、医中誌など)へのSFXのリンク設定

## 附属図書館組織

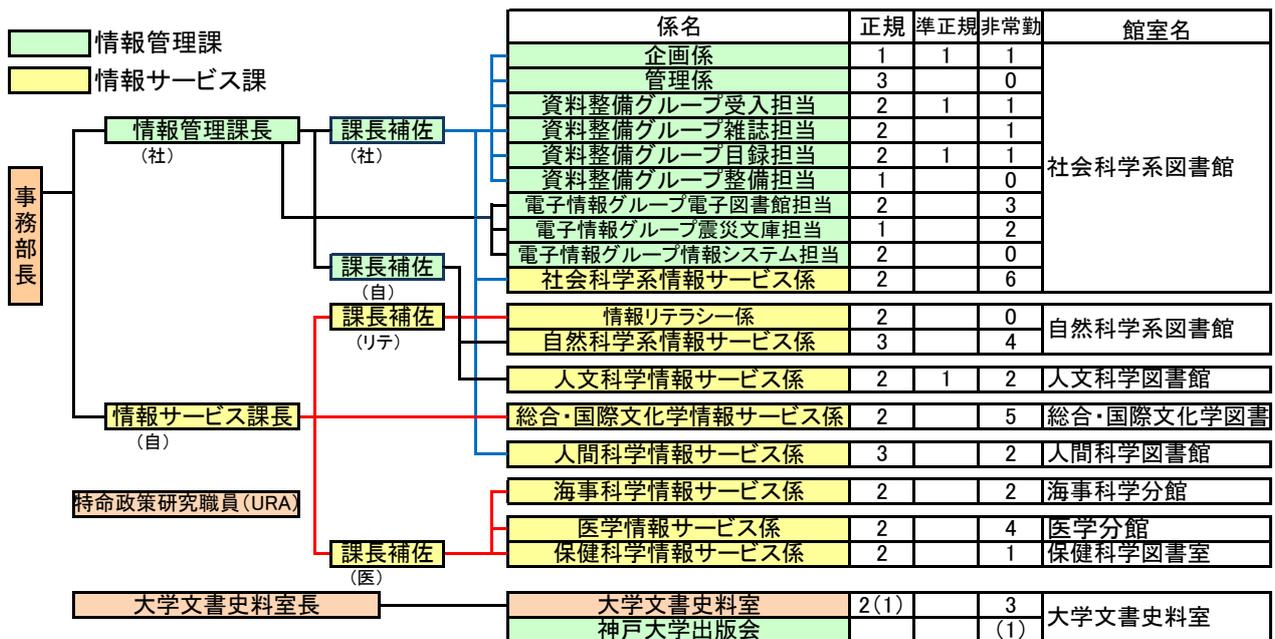
(令和6年7月現在)



各専門図書館、分館及び保健科学図書室に、各館(室)の図書委員会を置く。

## 事務組織と職員配置

(令和6年7月現在)



附属図書館 正規職員43名 準正規職員4名 非常勤職員35名  
 大学文書史料室 正規職員 3名 非常勤職員 3名  
 \* 非常勤職員数は、夜間開館要員等、特定事業に関わるものを除く

経済経営研究所事務課長	経済経営研究所事務課図書係	2	1	0	経済経営研究所図書館
-------------	---------------	---	---	---	------------

## 令和5年度附属図書館諸会議一覧

## ＜附属図書館運営委員会＞

第1回： 6月27日（火）15：10～ （於：Web会議、社会科学系図書館館長室）

## 協議事項

- (1) 令和4年度決算について
- (2) 令和5年度電子図書館事業について
- (3) 令和5年度総合図書館学生用資料整備計画について
- (4) 令和6（2024）年以降の教育研究基盤資料の見直しについて
- (5) 令和6年度外国雑誌センターの予算について
- (6) 神戸大学機関リポジトリ運用指針の改正について
- (7) 資料の不用決定について
- (8) その他

## 報告事項

- (1) 2024年外国雑誌購読調査について
- (2) 令和4事業年度に係る業務の実績について
- (3) 学術情報流通活性化経費について
- (4) 新型コロナウイルス感染拡大防止のための活動制限指針のレベル引き下げに伴う附属図書館の利用変更について
- (5) 令和5年度前期情報リテラシー事業実施報告
- (6) 各館（室）図書委員会記録について
- (7) 京大阪大神大附属図書館の連携・協力活動に係る協定について
- (8) その他

第2回： 審議期間 9月19日（火）～ 10月2日（月） （メール回議）

## 審議事項

- (1) 令和4年度決算の修正について
- (2) 令和4年度神戸大学附属図書館年次報告（評価委員会案）について

第3回： 11月7日（火）15：10～ （於：Web会議、社会科学系図書館館長室）

## 協議事項

- (1) 令和5（2023）年度附属図書館アンケート調査の実施について
- (2) 附属図書館に関する自己点検・評価の実施及び自己点検・評価結果を踏まえた対応措置の実施計画について
- (3) 令和6（2024）年度の時間外開館について
- (4) 資料の不用決定について
- (5) その他

## 報告事項

- (1) 日本学術振興会 人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業委託業務について
- (2) 令和6（2024）年教育研究基盤資料の整備について
- (3) 令和6（2024）年度施設関係事業（学内営繕費）要求について
- (4) 令和6（2024）年外国雑誌センター購読誌の契約について
- (5) 社会科学系図書館ネーミングライツについて
- (6) 電子ジャーナルのエラートラブル通報システム運用とOPAC表示総合点検について
- (7) 各図書館・室図書委員会報告について

- (8) その他

第4回： 1月30日（火）10:40～ （於：Web会議、社会科学系図書館館長室）

協議事項

- (1) 第4期中期計画後半（2025-2027）における教育研究基盤資料の整備について
- (2) 令和6年度附属図書館開館日について
- (3) 自己点検・評価結果を踏まえた対応措置の実施計画の進捗状況について
- (4) 資料の不用決定について
- (5) デジタルコンテンツ削除依頼について
- (6) その他

報告事項

- (1) 令和6年能登半島地震の被災学生等への対応について
- (2) 令和6年度事業経費要求について
- (3) エルゼビア社との電子ジャーナル契約に伴うオープンアクセス(OA)出版の取扱い
- (4) Springer Nature社との転換契約によるAPC支援利用者へのインタビューについて
- (5) 令和5(2023)年度附属図書館アンケート調査について
- (6) 学生選書ツアー2023実施報告について
- (7) 公的資金による学術論文等のオープンアクセスの実現に向けた基本的な考え方について
- (8) 学術情報流通活性化経費での特命政策研究職員(URA)の雇用について
- (9) 各図書館・室図書委員会報告について
- (10) その他

第5回： 審議期間 3月5日（火）～ 14日（木） （メール回議）

審議事項

- (1) 令和7(2025)年教育研究基盤資料の整備について

第6回： 3月25日（月）15:10～ （於：Web会議、社会科学系図書館館長室）

協議事項

- (1) 令和6年度附属図書館当初予算配分について
- (2) 令和6年度学生用資料費について
- (3) 令和6年度E-Study資料について
- (4) 令和4年度総合図書館学生用図書選定結果と評価について
- (5) 令和7(2025)年教育研究基盤資料の整備について
- (6) 資料の不用決定について
- (7) その他

報告事項

- (1) エルゼビアとのオープンアクセス出版の取扱いについて
- (2) 情報リテラシー事業 令和5年度報告・令和6年度計画について
- (3) 令和5年度附属図書館アンケート調査結果について
- (4) 令和5(2023)年度購入電子書籍コンテンツ利用状況
- (5) 読書マラソン開催報告
- (6) 各図書館・室図書委員会報告について
- (7) その他

### <附属図書館長・副館長・分館長懇談会>

第1回： 4月26日（水）15:10～（於：Web会議、自然科学系図書館4階会議室）

#### 協議事項

- (1) 運営委員会委員長代理および副館長の分担について
- (2) 附属図書館の概要・課題
- (3) その他

第2回： 6月20日（火）13:20～（於：Web会議、社会科学系図書館館長室）

#### 協議事項

- (1) 令和4年度決算について
- (2) 令和5年度電子図書館事業について
- (3) 令和5年度総合図書館学生用資料整備計画について
- (4) 令和6（2024）年以降の教育研究基盤資料の見直しについて
- (5) 令和6年度外国雑誌センターの予算について
- (6) 神戸大学機関リポジトリ運用指針の改正について
- (7) その他

第3回： 10月31日（火）15:10～（於：Web会議、社会科学系図書館館長室）

#### 協議事項

- (1) 令和5（2023）年度附属図書館アンケート調査の実施について
- (2) 附属図書館に関する自己点検・評価の実施及び  
自己点検・評価結果を踏まえた対応措置の実施計画について
- (3) 令和6（2024）年度の時間外開館について
- (4) その他

第4回： 1月24日（水）10:40～（於：Web会議、社会科学系図書館館長室）

#### 協議事項

- (1) 第4期中期計画後半（2025-2027）における教育研究基盤資料の整備について
- (2) 令和6年度附属図書館開館日について
- (3) 自己点検・評価結果を踏まえた対応措置の実施計画の進捗状況について
- (4) その他

第5回： 3月18日（月）15:10～（於：Web会議、社会科学系図書館館長室）

#### 協議事項

- (1) 令和6年度附属図書館当初予算配分について
- (2) 令和6年度学生用資料費について
- (3) 令和6年度E-Study資料について
- (4) 令和4年度総合図書館学生用図書選定結果と評価について
- (5) 令和7（2025）年教育研究基盤資料の整備について
- (6) その他

### <附属図書館評価委員会>

第1回： 8月21日（月）～ 9月8日（金）（メール回議）

#### 議題

- (1) 令和4年度神戸大学附属図書館年次報告案について

### <附属図書館研究開発室会議>

電子化部会 第1回： 5月18日（木）～ 25日（木） （メール回議）

#### 報告事項

- (1) 令和4年度電子図書館事業報告
- (2) 令和4年度学術成果リポジトリ事業報告

#### 協議事項

- (1) 令和5年度電子図書館事業計画（案）

教育研究支援部会 懇談会： 3月25日（月） 11：00～ （Web 会議）

#### 議題

- (1) 令和5年度情報リテラシー事業実施報告
- (2) 令和6年度情報リテラシー事業計画

### <情報サービス課連絡会議>

第1回： 4月4日（火） 10：00～ （Web 会議）

#### 議題 （各館室報告に続き）

- (1) 2023年度サービス課連絡会議予定について
- (2) 学生証交付前でも入館は可能とすることについて
- (3) マスク以外の感染症対策について
- (4) その他（5月からの開館時間について）

第2回： 4月25日（火） 10：00～ （Web 会議）

#### 議題 （各館室報告に続き）

- (1) 5/8新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の各館室対応について

第3回： 5月16日（火） 10：00～ （Web 会議）

#### 議題 （各館室報告に続き）

- (1) 督促メール自動送信（再開）について
- (2) 延滞による長期不在資料の不用決定および貸出延滞資料の利用者への督促について  
（主に卒業生の延滞資料）
- (3) 図書館内各種サインについて（アウトリーチWG 事業）
- (4) 退職教員の研究室所蔵不明資料の除籍手続きについて
- (5) 自然科学系図書館書庫資料の配架協力依頼について
- (6) その他（入館時の身分証確認について／

自然系入退館ゲート・自動貸出機の不具合対応に関する情報共有）

第4回： 6月6日（火） 10：00～ （Web 会議）

#### 議題 （各館室報告に続き）

- (1) 在席者数カウントの時間帯について
- (2) 卒業生延滞図書への予約回避について

第5回： 7月4日（火） 10：00～ （Web 会議）

#### 議題 （各館室報告に続き）

- (1) オープンキャンパス 2023 について
- (2) 非正規学生への郵送貸出対応について
- (3) 夏季休業貸出について
- (4) 蔵書点検及び不明図書の除却・追跡調査について
- (5) 動画形式の業務マニュアルについて

(6) Web サイトお知らせのタイトルについて

第6回： 7月28日（金） 10：00～ （Web 会議）

議題 （各館室報告に続き）

- (1) （附属学校）デリバリー便が無い時期の直接来館貸出の返却期限日の件
- (2) オープンキャンパス対応について
- (3) 予約状況照会（貸出延長）受付完了メールについて
- (4) （時間外受付\_学外者（卒業生・放送大・学外一般（国際・海事））の「利用証交付申込書」（新規・更新）について

第7回： 9月5日（火） 10：00～ （Web 会議）

議題 （各館室報告に続き）

- (1) 動画形式の業務マニュアルについて
- (2) 附属中等教育学校への図書の貸出サービスに関する申し合わせ（令和4年8月23日）の別紙（図書の貸出とその返却の手順）の修正について
- (3) 名誉教授の延滞図書について

第8回： 10月3日（火） 10：00～ （Web 会議）

議題 （各館室報告に続き）

- (1) 督促メール一元化案再検討について
- (2) 卒業生延滞資料の取扱いについて
- (3) 業務改善【連番】2023-14【業務名】ILL 非相殺館向けの案内の見直しについて
- (4) ウェブサイトのバックアップとプラグイン更新作業中の取扱いについて
- (5) ジャパンナレッジのコンテンツをOPACに登録することについて
- (6) 総合・国際文化学図書館と海事科学分館以外で学外一般の方が延長可能か

第9回： 11月7日（火） 10：00～ （Web 会議）

議題 （各館室報告に続き）

- (1) 電子ジャーナルOPAC 総合点検について
- (2) 督促メール一本化案再検討について（10/3の続き）
- (3) 卒業生延滞資料の取扱いについて（10/3の続き）
- (4) 冬季休業貸出について
- (5) 【図書館員の方へページ】作成について（兼 ILL 非相殺申込案内）
- (6) 自然・オンラインポッドの利用状況と提案について

第10回： 12月5日（火） 10：00～ （Web 会議）

議題 （各館室報告に続き）

- (1) HP「図書館員の方へ」修正案について
- (2) 督促メール一本化案再検討について（10/3の続き）
- (3) 不用図書手続きのGaroonスペース活用について
- (4) 業務改善（サービス課検討分）「附属中等教育学校への図書の貸出サービスに関する申し合わせ（令和4年8月23日）」の別紙（図書の貸出とその返却の手順）の修正について
- (5) OPAC 書評機能について
- (6) 業務改善の進捗について
- (7) 学生バイト用動画マニュアル作成の進捗について
- (8) 全館アンケートについて
- (9) 情報共有の方法について
- (10) 卒業生延滞図書督促状送付作業について
- (11) R6(2024)年度時間外学生アルバイト募集について

第11回： 1月9日（火） 10：00～ （Web 会議）

議題 （各館室報告に続き）

- (1) 不用図書手続きの Garoon スペース活用について (12/5 の続き)
- (2) 進学や身分の変更などで学籍番号等に変更がある利用者の「アカウントサービス」内データバックアップ案内について
- (3) 督促メール一本化案再検討について (12/5 の続き)
- (4) 図書館ウェブサイトの修正について
- (5) 雑誌保存館リストの整理について
- (6) 神戸大学 LC サイトの変更について
- (7) OPAC 書評機能について
- (8) 全館アンケートについて
- (9) 図書館の障害者サービス用 ITC 機器利用支援に関するアンケートについて
- (10) 大学入学共通テスト実施に伴う休館・開館時間変更のお知らせ
- (11) R6(2024)年度時間外学生アルバイト募集について

第12回： 2月6日(火) 10:00～ (Web会議)

議題 (各館室報告に続き)

- (1) 保存館リストの改訂について
- (2) 督促メール一本化案再検討について (1/9 の続き)
- (3) 学籍番号等に変更がある利用者の「アカウントサービス」内データバックアップ案内について (1/9 の続き)
- (4) 入学試験に伴う休館のお知らせについて
- (5) 生協コピーカード終了の件
- (6) 2023年度卒業生への返却お願いメールについて
- (7) OPAC 書評機能について
- (8) 時間外学生アルバイトへの業務説明の効率化について
- (9) R6(2024)年度時間外学生アルバイト募集について
- (10) アンケートの広報について

第13回： 3月5日(火) 10:00～ (Web会議)

議題 (各館室報告に続き)

- (1) 利用者アンケートについて
- (2) 卒業年度にあたる学生の利用期限と卒業生登録の方法について
- (3) 督促メール一本化実施と卒業年度生への返却案内実施について
- (4) ウェブサイトお知らせ「2024年度の附属図書館利用について」
- (5) ウェブサイトお知らせ「卒業生貸出サービス登録受付について」
- (6) 非資産資料の除却について
- (7) 日本目録規則(NCR)2018年版の適用について
- (8) 4月からの館内の換気(冷暖房時の定期的な窓開け)と図書館スタッフのカウンター対応時マスク着用について確認
- (9) 2024年度の開催予定表について

<附属図書館運営委員会委員名簿>

	職 名	氏 名	任 期 等
附属図書館長	農・教授	土佐 幸雄	R5. 4. 1～R7. 3. 31
副館長 (社会科学系・図書委員長)	経済・教授	重富 公生	R5. 4. 1～R7. 3. 31
副館長 (自然科学系・図書委員長)	システム・教授	羅 志偉	R5. 4. 1～R7. 3. 31
副館長 (附属図書館評価委員長)	発達・教授	田畑 暁生	R5. 4. 1～R7. 3. 31
医学分館長	医・教授	中村 誠	R5. 4. 1～R7. 3. 31
海事科学分館長	海・教授	長松 隆	R5. 4. 1～R7. 3. 31
大学教育推進機構	教 授	石川 慎一郎	R4. 4. 1～R6. 3. 31
人文学研究科	教 授	高田 京比子	R5. 4. 1～R7. 3. 31
国際文化学研究科	教 授	塚原 東吾	R5. 4. 1～R7. 3. 31
人間発達環境学研究科	教 授	山口 悦司	R4. 4. 1～R6. 3. 31
法学研究科	教 授	増島 建	R5. 4. 1～R7. 3. 31
経済学研究科	教 授	岩壺 健太郎	R4. 4. 1～R6. 3. 31
経営学研究科	教 授	梶原 武久	R4. 4. 1～R6. 3. 31
理学研究科	教 授	和田 昭英	R4. 4. 1～R6. 3. 31
保健学研究科	教 授	古和 久朋	R4. 4. 1～R6. 3. 31
工学研究科	教 授	浅野 等	R5. 4. 1～R7. 3. 31
システム情報学研究科	教 授	陰山 聡	R4. 4. 1～R6. 3. 31
バイオシナジー総合研究センター (農学研究科 配置)	教 授	坂本 克彦	R4. 4. 1～R6. 3. 31
国際協力研究科	教 授	柴田 明穂	R5. 4. 1～R6. 3. 31
科学技術イノベーション研究科	経営・教授	蔭山 広明	R4. 4. 1～R6. 3. 31
経済経営研究所	教 授	佐藤 隆広	R5. 10. 1～R7. 3. 31
情報基盤センター	教 授	鳩野 逸生	R4. 4. 1～R6. 3. 31
附属図書館	事務部長	鈴木 雅子	-----

<附属図書館評価委員会委員名簿>

職 名 (委員は全て官職指定)	氏 名	備 考
附属図書館長	土佐 幸雄	
副館長	重富 公生	
副館長	羅 志偉	
副館長	田畑 暁生	委員長
医学分館長	中村 誠	
海事科学分館長	長松 隆	
事務部長	鈴木 雅子	
情報管理課長	篠栗 伸一	
情報サービス課長	北條 風行	

<附属図書館研究開発室室員名簿>

令和5年7月1日現在

所 属	職 名	氏 名	任期・関連する事業
総括	附属図書館長	土佐 幸雄	室長
電子化部会	文・講師	吉川 圭太	R5. 4. 1～R7. 3. 31 (震災関連資料電子化)
	文・助教	有澤 知世	R4. 4. 1～R6. 3. 31 (国文学研究資料館古典籍データベース)
	研究所・准教授	高槻 泰郎	R4. 4. 1～R6. 3. 31 (新聞記事文庫電子化)
	図・電子図書館担当専門職員	鳥谷 和世	R5. 7. 1～R7. 6. 30
	図・震災文庫担当専門職員	守本 瞬	R5. 4. 1～R7. 3. 31
教育研究支援部会	大教・国際コミュニケーションセンター・教授	石川慎一郎	R5. 4. 1～R7. 3. 31
	国文・准教授	清光 英成	R4. 4. 1～R6. 3. 31
	国協・教授	木村 幹	R4. 4. 1～R6. 3. 31
	パリエースクール・准教授	祇園 景子	R4. 4. 1～R6. 3. 31
	図・情報サービス課課長補佐	笠原 夕美	R5. 7. 1～R7. 6. 30
	図・情報リテラシー係長	田中志瑞子	R5. 4. 1～R7. 3. 31
(部会に属さず)	基盤セ・教授	鳩野 逸生	R4. 4. 1～R6. 3. 31 (情報システム)

<附属図書館研究開発室 電子化部会震災関係資料小委員会委員名簿>

令和5年7月1日現在

所属	職名	氏 名	任期
委員長 人文学研究科	講師	吉川 圭太	※R3. 4. 1～R5. 3. 31
委員 附属図書館	専門職員	鳥谷 和世	※R5. 7. 1～R7. 6. 30
委員 附属図書館	専門職員	守本 瞬	※R5. 4. 1～R7. 3. 31
専門委員 人文学研究科	特命助教	加藤 明恵	R5. 1. 1～R6. 12. 31
専門委員 人文学研究科	学術研究員	佐々木 和子	R5. 1. 1～R6. 12. 31

※研究開発室室員の任期とする

## 令和5年度 附属図書館決算

### 1. 既定経費

(単位:円)

事 項	令和5年度 予算配分額 (当初) (A)	令和5年度 予算配分額 (追加等) (B)	令和5年度 予算配分総額 (C)	令和5年度 執行額 (D)	残額 (C-D)	摘 要 摘要欄( )内 単位:千円
<b>A. 経常運営費</b>						
(1)備品・消耗品費	5,500,000		5,500,000	15,004,437	△ 9,504,437	文具・用紙類(595)、什器類(542)、パソコン(295)、パソコン用消耗品(1,210)、トナー等(366)、情報関連機器(389)、消耗品(7,872)
(2)事務用図書費	300,000		300,000	285,382	14,618	事務用図書、事務用雑誌
(3)印刷製本費	150,000		150,000	64,097	85,903	利用案内等
(4)光熱水料	35,000,000	27,517	35,027,517	25,244,900	9,782,617	【予算】令和5年度課外活動施設維持費配分(28) 【執行】電気料(20,735)、ガス料(2,773)、上下水道料(1,716)
(5)通信運搬費	6,000,000		6,000,000	5,377,583	622,417	書籍等運送業務(3,200)、宅配便(1,309)、郵便料(519)、電話料(336)
(6)借料及び損料	1,000,000		1,000,000	1,054,312	△ 54,312	複写機保守費等
(7)雑役務等諸経費	34,000,000	3,642,679	37,642,679	41,574,726	△ 3,932,047	日常清掃(11,960)、昇降機保守(2,369)、警備委託(3,951)、受電装置電設保守(1,793)、機器等修繕(2,779)、空調保守修繕(2,456)、貴重占拠業務(783)、消防設備保守(788)、廃棄物処理(1,582)、電話交換機保守(107)、諸会費(450)、建物修繕(1,785)、給排水設備修繕保守(220)、緑地管理(544)、水槽設備清掃(122)、機器等保守(157)、建物修繕(1,785)
(8)非常勤職員給与等	73,000,000		73,000,000	73,001,149	△ 1,149	
(9)電子計算機維持経費	210,000		210,000	266,000	△ 56,000	情報基盤センター利用負担金
(10)職員旅費	500,000		500,000	739,446	△ 239,446	会議・研修会・講習会等旅費(541)、バス・地下鉄・私鉄カード(80)、赴任旅費(118)
(1)～(10)小 計	155,660,000	3,670,196	159,330,196	162,612,032	△ 3,281,836	
<b>B. 経常事業費</b>						
(1)時間外開館経費	10,000,000		10,000,000	7,204,235	2,795,765	職員雇用、学生雇用、消耗品等
(2)電子図書館事業	809,000		809,000	764,879	44,121	研究開発室へ決算報告
(3)その他事業費(展示会経費)	100,000		100,000	3,255,324	1,744,676	資料展覧費
(4)図書館資料費	69,964,000	9,132,645	79,096,645	80,191,798	△ 1,095,153	SciFinder受益者負担金(9,133)
学生用資料費	40,000,000	9,132,645	49,132,645	50,404,508	△ 1,271,863	e-Study資料費
e-Study資料費	4,664,000		4,664,000	4,664,110	△ 110	
震災文庫資料費	300,000		300,000	279,245	20,755	
外国雑誌センター館経費	25,000,000		25,000,000	24,843,935	156,065	
(5)製本費	1,000,000		1,000,000	999,570	430	
(6)附属図書館長裁量経費	1,922,000	5,020,840	6,942,840	5,200,020	1,742,820	【予算】OA出版受益者負担(6,300を含む) 【執行】 ・医学図書館空調機取替に伴う天井工事(700) ・Springer Nature転換契約に伴う追加料(945) ・社会科学系図書館書籍移動作業(258) ・文具・用紙類(199) ・消耗品(2,128)
(7)研究科長等運営経費返却分	400,000		400,000	400,000	0	平成30年度目録検索用端末更新(chromebox)借入(2,000) (令和元年度～令和5年度返済 @400千円×5年)
(1)～(7)小 計	89,195,000	14,153,485	103,348,485	98,093,448	5,255,037	
附属図書館(運営費+事業費) 計	244,855,000	17,823,681	262,678,681	260,705,480	1,973,201	
<b>C. 大学文書史料室</b>						
運営経費	6,019,000	222,000	6,241,000	6,188,452	52,548	【予算】前年度繰越(222) 残額は令和6年度へ繰越
<b>D. 出版会</b>						
管理運営経費		1,802,750	1,802,750	1,797,056	5,694	【予算-収入】前年度繰越(150)、雑収入(1,653) 残額は令和6年度へ繰越
既定経費 (附属図書館+大学文書史料室+神戸大学出版会)計	250,874,000	19,848,431	270,722,431	268,690,988	2,031,443	

### 2. 収入確保インセンティブ経費等から繰入

事 項	令和5年度 予算配分額 (当初) (A)	令和5年度 予算配分額 (追加等) (B)	令和5年度 予算配分総額 (C)	令和5年度 執行額 (D)	残額 (C-D)	摘 要 摘要欄( )内 単位:千円
<b>E. 収入確保インセンティブ経費等</b>						
(1)建物老朽劣化対策経費		△ 4,617,280	△ 4,617,280		△ 4,617,280	施設部予算へ(4,617)
(2)ILL管理運営経費			0	1,262,053	△ 1,262,053	文献複写等 他大学へ依頼分(1,262)
(3)複写機使用料 管理運営経費			0	1,304,743	△ 1,304,743	
収入確保インセンティブ経費等 計	0	2,566,796	2,566,796	2,566,796	0	
1. 既定経費+2. 収入確保インセンティブ経費等 計	250,874,000	22,415,227	273,289,227	271,257,784	2,031,443	令和6年度への繰越(上限2,000)

### 3. 臨時的経費

事 項	令和5年度 予算配分額 (当初) (A)	令和5年度 予算配分額 (追加等) (B)	令和5年度 予算配分総額 (C)	令和5年度 執行額 (D)	残額 (C-D)	摘 要
<b>F. 電算機借料</b>						
情報化推進経費(図書館システム)	42,443,000		42,443,000	42,442,800	200	リース料、機器等保守費
小 計	42,443,000	0	42,443,000	42,442,800	200	
<b>G. 臨時的経費</b>						
教育研究基盤資料整備費	402,964,345		402,964,345	402,964,345	0	
図書館時間外開館経費	6,533,000		6,533,000	6,533,000	0	
神戸大学出版会事業	343,000		343,000	343,000	0	出版会事務経費
光熱費(追加配分)		2,928,000	2,928,000	2,928,000	0	電気料
管理運営経費(防災管理点検)		68,200	68,200	68,200	0	防災管理点検
施設整備費補助金(トイレ(給排)施設整備)		17,284,666	17,284,666	17,284,666	0	給水設備等工事
環境・安全推進事業		41,535	41,535	41,535	0	(深江)既存建物調査業務
入退館管理システム		18,810,000	18,810,000	18,810,000	0	自然科学系図書館、社会科学系図書館、医学分館
医学分館						
施設部管轄事業		5,783,840	5,783,840	5,783,840	0	換気設備改修電気設備工事
社会科学系図書館						
建物老朽化対策経費		4,971,010	4,971,010	4,971,010	0	書庫B棟防水改修工事
人文科学図書館						
建物老朽化対策経費		649,399	649,399	649,399	0	C棟等外壁補修その他工事
小 計	409,840,345	50,536,650	460,376,995	460,376,995	0	
臨時的経費 計	452,283,345	50,536,650	502,819,995	502,819,795	200	
1. 既定経費+2. 収入確保インセンティブ経費等 +3. 臨時的経費 計	703,157,345	72,951,877	776,109,222	774,077,579	2,031,643	

### 4. 外部資金

事 項	令和5年度 予算配分額	令和5年度 予算配分額	令和5年度 予算配分総額	令和5年度 執行額	残額 (C-D)	摘 要
<b>H. 外部資金</b>						
日本学術振興会委託業務		10,738,470	10,738,470	10,738,470	0	人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業
学術情報流通活性化経費		9,850,000	9,850,000	9,850,000	0	URA(図書館担当)人件費、パソコン等
藍子基金	565,944	100,000	665,944	12,672	653,272	山口文庫関連書籍購入費、残額は令和6年度へ繰越
神戸大学出版会出版基金	47,500	1,000,000	1,047,500	572,000	475,500	残額は令和6年度へ繰越
120年史編集刊行事業	8,000,000		8,000,000	7,252,186	747,814	残額は令和6年度へ繰越
厚生補講奨学寄附金		388,000	388,000	0	388,000	生協食堂ホール光熱費負担分還元(総合・国際文化学図書館、令和4年度及び令和5年度分)
国立大学図書館協会地区事業助成金		71,513	71,513	71,513	0	残額は令和6年度へ繰越
外部資金 計	8,613,444	22,147,983	30,761,427	28,496,841	2,264,586	西洋古典資料保存講習会開催費

令和5年度 図書資料費実績

(附属図書館セグメント)

単位:円

館室名	学生用資料				震災文庫 資料費	外国雑誌 センター	e-study 事業費	** その他	*** 教育研究基盤 資料整備費	計 ****
	予算額 *	決算額 *	比較増減	図書購入冊数						
総合図書館	6,375,000	6,374,629	371	1,849			4,664,110		402,964,345	414,003,084
社会科学系図書館	7,444,000	7,443,516	484	1,781	279,245	24,843,935		24,449		32,591,145
自然科学系図書館	8,407,000	8,406,405	595	850						8,406,405
人文科学図書館	2,433,000	2,452,624	△ 19,624	385						2,452,624
国際文化学図書館	2,496,000	2,495,799	201	213						2,495,799
人間科学図書館	3,000,000	3,568,180	△ 568,180	438						3,568,180
経済経営研究所図書館	408,000	1,075,089	△ 667,089	62						1,075,089
医学分館	3,884,000	3,894,233	△ 10,233	472						3,894,233
保健科学図書室	2,447,000	2,446,940	60	221						2,446,940
海事科学分館	3,106,000	3,114,448	△ 8,448	739						3,114,448
小計	40,000,000	41,271,863	△ 1,271,863	7,010	279,245	24,843,935	4,664,110	24,449	402,964,345	474,047,947

注\* 図書その他 雑誌・新聞・電子資料などを含む

注\*\* 電子図書館事業費の複写費、消耗品

注\*\*\* 電子ジャーナル経費

注\*\*\*\* これ以外に、電子コンテンツ作成費 12,401,671円がある

(部局セグメント)

単位:円

館室名	一般財源 図書資料費		
	館室備付 共同利用	研究室等 備付	計
総合図書館	390,955	221,795	612,750
社会科学系図書館	91,729,760	5,624,548	97,354,308
自然科学系図書館	638,461	23,484,824	24,123,285
人文科学図書館	10,973,431	4,042,783	15,016,214
国際文化学図書館	3,092,396	1,780,490	4,872,886
人間科学図書館	4,413,923	3,210,804	7,624,727
経済経営研究所図書館	12,977,922	10,533	12,988,455
医学分館	39,220,631	2,573,718	41,794,349
保健科学図書室	4,499,963	161,833	4,661,796
海事科学分館	4,209,868	553,201	4,763,069
計	172,147,310	41,664,529	213,811,839

(部局セグメント)

単位:円

館室名	補助金等による購入				
	科研費	委任経理	受託研究	その他	計
総合図書館	20,880	0	0	9,178,080	9,198,960
社会科学系図書館	26,031,896	4,552,500	6,184,651	2,426,661	39,195,708
自然科学系図書館	11,584,189	3,211,497	1,506,326	1,059,278	17,361,290
人文科学図書館	12,463,088	116,063	979,925	1,513,742	15,072,818
国際文化学図書館	1,639,960	8,435	39,600	31,844	1,719,839
人間科学図書館	6,145,803	187,536	509,664	409,845	7,252,848
経済経営研究所図書館	230,568	0	0	2,376	232,944
医学分館	85,041	3,545,619	1,287,805	174,937	5,093,402
保健科学図書室	202,628	32,639	0	427,980	663,247
海事科学分館	666,200	168,086	16,940	0	851,226
計	59,070,253	11,822,375	10,524,911	15,224,743	96,642,282

単位:円

合計
423,814,794
169,141,161
49,890,980
32,541,656
9,088,524
18,445,755
14,296,488
50,781,984
7,771,983
8,728,743
784,502,068

## 2023（令和5）年度 附属図書館活動日誌

- < 4月 >
- 3（月） 【開催せず】附属図書館令和5年度着任式  
自然科学系図書館リニューアルオープン記念式典
- 3（月）～28（金） 図書館セルフツアー <於：医学分館>
- 3（月）～30（日） 図書館セルフツアー <於：総合・国際文化学図書館、社会系図書館>
- 3（月）～5月31（水） 図書館セルフツアー <於：人文科学図書館>
- 3（月）～6月8（木） 図書館セルフツアー <於：海事科学分館>
- 4（火） 入学式  
【オンライン】サービス課連絡会議
- 5（水） 医学部2年次進学ガイダンス <説明：医学サービス係>
- 6（木） 医学部保健学科新入生ガイダンス <説明：保健サービス係>  
保健学研究科新入生ガイダンス <説明：保健サービス係>  
国際人間科学部新入生ガイダンス <説明：国文サービス係>
- 6（木）～5月31（水） 図書館セルフツアー <於：人間科学図書館>
- 7（金） 国際文化学研究科院生オリエンテーション <説明：国文サービス係>
- 11（火） 【オンデマンド】総合教養科目「阪神・淡路大震災B」震災文庫ガイダンス  
<説明：電子情報G係員>
- 13（木） 【オンデマンド】ホターガイダンス（保健） <説明：リテラー係>
- 14（金） ホターガイダンス（保健） <於：名谷キャンパスB棟202  
説明：係員（保健）1名、リテラー係長>  
海事科学分館改修打合せ <於：深江団地事務棟 課長2名、係長1名>
- 17（月） 理学部化学科初年次セミナー <於：理学部Y棟202 説明：自然サービス係>
- 17（月）～5月31（水） 図書館セルフツアー <於：自然科学系図書館>  
自然科学系図書館リニューアル記念「スカベンジャーハント」 <於：自然科学系図書館>
- 18（火） 第1回オープンアクセス推進WG（Zoom）  
ホターガイダンス（法学）  
<於：フロンティア館302 説明：係員（社系）リテラー係長>  
ホターガイダンス（人間発達） <説明：係員（人間）1名、リテラー係員>  
図書館ツアー（文） <説明：人文サービス係>
- 19（水） 国立大学図書館協会近畿地区加盟館図書系人事担当課長・事務部長懇談会  
<於：自然科学系図書館会議室 出席：管理課長>  
国立大学図書館協会近畿地区協会 総会  
<於：自然科学系図書館会議室 出席：館長、部長、課長2名>
- 20（木） ホターガイダンス（保健） <於：名谷キャンパスC棟大会議室  
説明：係員（保健）1名、リテラー係長>
- 21（金） 海洋政策科学部初年次セミナー <説明：海事サービス係、リテラーWG>  
国際人間 グローバル文化学科初年次セミナー <説明：国文サービス係、リテラー係>  
国際人間 環境共生学科初年次セミナー <説明：人間サービス係>  
文学部初年次セミナー <説明：人文サービス係>  
経済学部初年次セミナー <説明：社系サービス係>  
兵庫県下教育機関事務系職員（新規採用者）研修  
<於：大学院工学研究科D1、D2棟2階大会議 受講：係員3名>
- 24（月） 法学部初年次セミナー① <説明：社系サービス係、リテラー係>  
法学部初年次セミナー② <説明：社系サービス係、リテラー係>

- 【オンライン】Wos・EndNote online 講習会 <説明：外部講師>  
 25 (火) 経営学部初年次セミナー <説明：社系サービス係、管理課補佐 2 名>  
 26 (水) 第 1 回館長・副館長・分館長懇談会 <於：自然科学系図書館、オンライン>  
 第 1 回神戸大学出版会運営委員会 <於：自然科学系図書館、オンライン>  
 【オンライン】国立大学図書館協会近畿地区図書系専門試験実施委員会  
 <出席：部長、管理課長>  
 27 (木) 【オンライン】Elsevier 社「転換契約の交渉本格化に向けた説明会」  
 <参加：管理課長、管理課補佐 1 名、係長 1 名>  
 シュブリンカー・ネイチャー「オープンアクセスセミナー 2023」  
 <参加：部長、管理課補佐 1 名、係長 1 名>  
 図書館ツアー（経済） <説明：社系サービス係>  
 28 (金) 海洋政策科学部初年次セミナー <説明：海事サービス係、リテラシーWG>  
 工学部応用化学科初年次セミナー <説明：自然サービス係>  
 国際人間グローバル文化学科初年次セミナー <説明：国文サービス係、リテラシー係>  
 文学部初年次セミナー <説明：人文サービス係>  
 海洋政策科学部初年次セミナー <説明：海事サービス係、リテラシーWG>  
 経済学部初年次セミナー <説明：社系サービス係>  
 理学部生物学科安全講習会  
 <於：情報基盤センター分館第 1 演習室 説明：リテラシーWG>  
 28 (金)～5月17 (水) 社会科学系図書館 第 1 回図書委員会(メール回議)

## < 5 月 >

- 1 (月) 第 1 回アウトリーチ WG <於：自然科学系図書館コラボレーションルーム>  
 2 (火) 国際人間 子ども教育学科初年次セミナー <説明：人間サービス係>  
 8 (月) ホルダー・ガイダンス（法学）  
 <於：フロンティア館 403 説明：係員（社系）1 名、リテラシー係>  
 図書館ツアー（経済） <説明：社系サービス係>  
 8 (月)～ **新型コロナウイルスの感染法上分類が「5 類」（※季節性インフルエンザ同等）に引き下げられる**  
 9 (火) 図書館ツアー（附属中等教育学校） <説明：国文サービス係>  
 10 (水) 附属図書館職員初任者研修  
 <於：社会科学系図書館会議室  
 説明：部長、係長 5 名 受講：係員 4 名>  
 11 (木) ホルダー・ガイダンス（理学） <於：自然科学系図書館 説明：リテラシー係>  
 情報基礎・第 5 回「情報の活用」オンデマンド型授業  
 <説明：情報リテラシー教育支援 WG>  
 12 (金) 工学部応用化学科初年次セミナー  
 <於：社会科学系図書館会 説明：社系サービス係>  
 経済学部初年次セミナー <説明：社系サービス係>  
 15 (月) 一般学外者の利用を再開  
 法学部初年次セミナー <説明：社系サービス係>  
 16 (火) 【オンライン】サービス課連絡会議  
 ホルダー・ガイダンス（経営）  
 <於：三木記念館、社系図書館 説明：社系サービス係、リテラシー係>  
 17 (水) 多様な働き方推進研修「アンコンシャスバイアス研修」

- <於：理学研究科 Z 棟 201・202 教室 参加：係長 1 名>  
 【オンライン】京阪神デジタルライブラリー打合せ  
 ホターカ・イダックス（経済）  
 <於：フロンティア館 503、社会科学系図書館  
 説明：リテラー係、社系サービス係>
- 2 2（月） 法学部初年次セミナー  
 <於：第二学舎 106、社会科学系図書館  
 説明：社系サービス係、リテラー係>
- 2 3（火） 国立大学図書館協会春季理事会  
 <於：東京大学、オンライン 出席：館長、部長、課長 2 名>  
 第 3 回研究データ管理・公開ポリシー実施検討 WG  
 <於：本部特別会議室 出席：部長>  
 【オンライン】国大図協システム委員会打合せ <出席：部長>
- 2 3（火）～2 9（月） 経済経営研究所図書館 第 1 回図書委員会（メール回議）
- 2 4（水） 【オンライン】JPCOAR 運営委員会準備委員会 <出席：部長>  
 【オンライン】JPCOAR データ作業部会と OS 小委員会打合せ <出席：部長>
- 2 5（木） ホターカ・イダックス（国際文化学研究所）  
 <於：鶴ヶ丘キャンパス F101 説明：リテラー係>
- 2 9（月） 【オンライン】「NII 学術情報基盤オープンフォーラム 2023」  
 GakuNin RDM トラック <参加：係長 1 名>  
 これから委員会トラック <参加：係員 1 名>
- 3 0（火） 【オンライン】兵庫県大学図書館協議会役員会・企画委員会合同会議  
 <出席：課長 2 名、補佐 1 名、係長 1 名>  
 【オンライン】「NII 学術情報基盤オープンフォーラム 2023」  
 RDM トラック <参加：係長 1 名>
- < 6 月 >**
- 2（金） 線状降水帯接近のため 17 時にて閉館
- 5（月）～9（金） トライやるウィーク（筒井台中学校）  
 2023 年度漢籍整理長期研修  
 <於：東京大学東洋文化研究所 参加：係員 1 名>  
 国際文化学図書館 第 1 回図書委員会（メール回議）
- 6（火） 【オンライン】サービス課連絡会議
- 7（水） 人文科学図書館 第 1 回図書委員会 <於：人文科学図書館貴重書閲覧室>
- 7（水）～9（金） 社会科学系図書館 第 2 回図書委員会（メール回議）  
 ホターカ・イダックス（国際人間）<於：人間科学図書館 説明：リテラー係>
- 9（金） 【オンライン】JPCOAR 運営委員会 <出席：部長>
- 1 0（土） 神戸大学育友会見学 <於：人文図書館、対応：係長 1 名>
- 1 2（月） 【オンライン】自然科学系図書館 第 1 回図書委員会  
 【オンライン】国大図協 OS 小委員会 <出席：部長>
- 1 3（火） 医学分館 第 1 回図書委員会 <於：研究棟共同会議室>  
 ホターカ・イダックス（経営学）<於：三木記念館、オンライン 説明：リテラー係>  
 【オンライン】京阪神デジタルライブラリー打合せ  
 総合教養科目「阪神・淡路大震災と都市の安全」震災文庫・イダックス  
 <説明：電子情報 G 係員>
- 1 4（水） スパハンジャートお疲れさまでした会 <於：自然科学系図書館>
- 1 5（木） 海事科学分館 第 1 回図書委員会 <於：事務棟第一会議室>
- 1 6（金） 【オンライン】保健科学図書室 第 1 回図書委員会  
 オープンサイエンス検討 WG ガ・オンラインサブチーム打合せ <於：社会科学系図書館>
- 1 8（日） 電気設備定期点検に伴う停電 <於：鶴ヶ丘キャンパスを除く六甲台地区全域>

- 19 (月) 【オンライン】 JOSS2023 研究基盤プラットフォーム再考 <参加：係長1名>  
 【オンライン】 JOSS2023 研究データの幅広い活用を目指したメタデータマネジメント  
 <参加：課長1名、係長1名、係員1名>  
 【オンライン】 JOSS2023 研究の利用・再利用・潜在的影響の最大化を実現する  
 オープンサイエンス出版がもたらす利益と実世界への影響とは何か  
 <参加：係長1名>  
 【オンライン】 JOSS2023 オープンサイエンス政策と実践 2023 <参加：係員1名>  
 【オンライン】 第1回 2030 デジタルライブラリー推進に関する検討会  
 <傍聴：部長>
- 20 (火) 【オンライン】 第2回館長・副館長・分館長懇談会  
 【オンライン】 SciFinder-n 講習会 <説明：化学情報協会>  
 【オンライン】 JOSS2023 オープンサイエンス時代のオープンアクセス  
 <参加：係長2名、係員1名>  
 【オンライン】 JOSS2023 born-digital 地域資料の収集と継承を考えるセッション  
 <参加：係長1名>  
 【オンライン】 国大図協システム委員会 <出席：部長>  
 【オンライン】 JPCOAR 運営委員会 <出席：部長>
- 21 (水) 第1回選書WG <於：社会科学系図書館>  
 【オンライン】 JOSS2023 個人発表セッション <参加：係長1名>  
 【オンライン】 JOSS2023 オープンアクセス (OA) の発展と転換契約  
 <参加：課長補佐1名、係長1名、係員1名>  
 【オンライン】 JOSS2023 研究データプラットフォーム技術セミナー <参加：係員1名>  
 【オンライン】 JOSS2023 多様化するメタデータの共通基盤へ  
 <参加：係長2名、係員1名>
- 22 (木) 第70回国立大学図書館協会総会  
 <於：一橋講堂、オンライン 出席：館長、部長、課長2名>  
 【オンライン】 JOSS2023 The Development of National Open Access Strategies  
 <参加：係長1名、係員1名>  
 【オンライン】 JOSS2023 Collaboration on Open Data Activities in Asia and  
 Oceania within Global Developing Society  
 <参加：係員1名>  
 【オンライン】 JOSS2023 人文学分野におけるオンライン対話型地域資料情報収集を  
 目的とした共通プラットフォームの検討 <参加：課長補佐1名>
- 23 (金) 自然科学系図書館リニューアル記念「芳香族神経衰弱」<於：自然科学系図書館>  
 【オンライン】 JOSS2023 メタデータの系譜を探る <参加：係長1名、係員1名>  
 【オンライン】 JOSS2023 多様化する学術情報を見つける (Find&Discover) ため  
 の環境 <参加：課長補佐1名、係員1名>  
 【オンライン】 JOSS2023 コンテキストを説明するメタデータ <参加：係員1名>  
 【オンライン】 JOSS2023 あつめよう、しらべよう、むかしの災害の情報  
 <参加：係長1名>
- 26 (月) 第2回アウトリーチWG <於：自然科学系図書館コラボレーションルーム>  
 【オンライン】 第60回近畿地区係長研修 <参加：係長1名>
- 27 (火) 【オンライン】 第1回附属図書館運営委員会  
 【オンライン】 人間科学図書館 第1回図書委員会  
 【オンライン】 JPCOAR 第1回OA推進タスクフォース <参加：部長>
- 27 (火) ~ 9月27 (水) 神戸大学国際文化学研究推進インスティテュート主催特別展「港の見える教会から」  
 <於：社会科学系図書館>

- 28 (水) 【オンライン】COAR 年次大会の基調講演を読み解く会  
 <参加：部長、運営側：係長1名>
- <7月>
- 3 (月) 【オンライン】第1回大学図書館近畿仁シティブ運営委員会  
 <出席：部長、課長1名>  
 【オンライン】第1回 RUC 学術情報流通に関する連絡会  
 <出席：部長、課長2名、課長補佐1名>
- 3 (月) ~ 14 (金) 【オンライン】大学図書館職員長期研修 <受講：係長1名>
- 4 (火) 【オンライン】サービス課連絡会議
- 6 (木) ~ 7 (金) 兵庫県下教育機関事務系職員（新規採用者）研修  
 <於：瀧川記念学術交流会館 出席：係員3名>
- 7 (金) 第1回情報リテラシー教育支援 WG <於：自然科学系図書館コラボレーションルーム1>  
 【オンライン】近畿地区国立大学法人等職員採用図書系専門試験実施委員会  
 <出席：部長、情報管理課長>
- 7 (金) ~ 13 (木) 医学分館 第2回図書委員会(メール回議)
- 10 (月) 近畿大学附属中学校生徒による見学 <於：社会科学系図書館>
- 11 (火) 【オンライン】JPCOAR 第2回 OA 推進タスクフォース  
 <参加：部長、傍聴：課長補佐1名>
- 12 (水) 人文科学図書館 第2回図書委員会 <於：人文科学図書館貴重書閲覧室>  
 【オンライン】国大図協 OS 小委員会 <出席：部長>
- 13 (木) 【オンライン】国会図書館障害者用資料検索「みなサーチ」β版説明会  
 <参加：係員1名>  
 神戸大学出版会「ホーホキのマスクギャラリー」イベント  
 <於：自然系図書館イベントスタジオ、オンライン>
- 14 (金) 第1回神戸大学出版会出版委員会 <於：理事室、オンライン>
- 14 (金) ~ 18 (火) 海事科学分館 第2回図書委員会(メール回議)
- 18 (火) 【オンライン】経済経営研究所図書館 第2回図書委員会
- 19 (水) 【オンライン】国大図協システム委員会 <出席：部長>
- 21 (金) 第1回図書館リニューアル WG  
 【オンライン】JUSTICE 電子資料契約実務研修 <参加：係長1名>
- 24 (月) 第1回展示 WG <於：社会系図書館会議室>  
 資金管理に関する内部監査 <於：人間科学図書館>  
 【オンライン】第2回東海地区学術データ基盤セミナー <参加：係長1名>
- 25 (火) 近畿地区国立大学法人等職員統一試験機関訪問説明会 <於：六甲ホール>  
 ネーミングライツ記念式典 <於：社会科学系図書館 出席：館長、副館長>
- 28 (金) 【オンライン】サービス課連絡会議  
 【オンライン】第122回兵庫県大学図書館協議会総会  
 【オンライン】JPCOAR OA 推進タスクフォース  
 <登壇：部長、係長1名、参加：係員1名>
- 29 (土) 近畿地区国立大学法人等職員採用図書系専門試験  
 <於：京都大学附属図書館 要員：部課長>
- 31 (月) ~ 8月2 (水) 近畿地区国立大学法人等職員採用図書系専門試験(二次)  
 <於：社会科学系図書館 6F 会議室>

## < 8月 >

- 1 (火) ~ 2 1 (月) 【オンライン】第7回 JMLA コア研修 <受講：係員 1名>  
2 (水) ~ 8 (火) 経済経営研究所図書館 第3回図書委員会 (メール回議)  
3 (木) ホターカイタンス (人間発達) <於：人間科学図書館 説明：リテラー係>  
第4回研究データ管理・公開ポリシー実施検討WG  
<於：本部6階中会議室 出席：部長、陪席：係長2名>  
7 (月) 【オンライン】国大図協システム委員会 <出席：部長>  
8 (火) 【オンライン】オープンアクセス新任担当者相談会 <講師：係員1名>  
8 (火) ~ 10 (木) オープンキャンパスツアーによる見学 <於：社会科学系図書館 引率：ベルカン>  
1 4 (月) ~ 1 6 (水) 令和5年度一斉休業 ※図書館は全館室閉館  
2 1 (月) ~ 9月8 (金) 第1回附属図書館評価委員会 (メール審議)  
2 2 (火) 神戸大学スキルアップ研修「未来洞察・アイデアソン (デザイン思考) 研修」①  
<於：眺望館 出席：係員1名>  
2 2 (火) ~ 2 3 (水) 【オンライン】近畿仁志アテック初任者研修 <参加：係員3名>  
2 5 (金) 【オンライン】デジタルライブラリーフェス2023 <登壇：係長1名>  
【オンライン】IDE 大学セミナー「大学教育と図書館」 <参加：部長、課長1名>  
2 8 (月) 社会科学系図書館 第3回図書委員会  
<於：社会科学系図書館会議室、オンライン>  
神戸大学スキルアップ研修「未来洞察・アイデアソン (デザイン思考) 研修」②  
<於：眺望館 出席：係員1名>  
三重大学国際・情報部図書館チームによる見学  
<於：社会科学系図書館、自然科学系図書館、保健科学図書室>  
2 9 (火) 【オンライン】国大図協システム委員会 <出席：部長>  
3 0 (水) 四条畷高校生徒による見学 <於：社会科学系図書館>  
【オンライン】JPCOAR/JUSTICE OA 合同ミーティング <出席：部長>

## < 9月 >

- 1 (金) 【オンライン】シンポジウム「研究の自動化とAIが切り拓く科学と社会」  
<出席：課長1名>  
4 (月) 【オンライン】京阪神デジタルライブラリー打合せ  
4 (月) ~ 8 (金) 2023年度漢籍整理長期研修  
<於：東京大学東洋文化研究所 参加：係員1名>  
5 (火) 【オンライン】サービス課連絡会議  
神戸大学スキルアップ研修「未来洞察・アイデアソン (デザイン思考) 研修」③  
<於：眺望館 出席：係員1名>  
6 (水) 学内会計監査 (於：社会系図書館)  
【オンライン】JPCOA+国大図協 OS 小委員会合同ミーティング① <出席：部長>  
6 (水) ~ 7 (木) 【オンライン】大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) 版元提案説明会  
<参加：雑誌担当係長>  
6 (水) ~ 8 (金) 第一種衛生管理者試験受験準備講習会  
<於：瀧川記念学術交流会館 出席：係長1名>  
7 (木) 【オンライン】JPCOAR 打合せ <出席：部長>  
8 (金) 第2回展示WG <於：社会系図書館会議室>  
学内会計監査 (於：保健科学図書室)  
【オンライン】京阪神デジタルライブラリー打合せ  
【オンライン】JPCOA+国大図協 OS 小委員会合同ミーティング② <出席：部長>  
1 3 (水) 人文科学図書館 第3回図書委員会 <於：人文科学図書館貴重書閲覧室>  
【オンライン】国大図協システム委員会 <出席：部長>  
【オンライン】京阪神デジタルライブラリー打合せ

- 14 (木) 資金管理に関する内部監査 <於：医学分館>
- 14 (木) ~ 15 (金) 令和5年度目録システム書誌作成研修 <於：NII 受講：係員1名>
- 15 (金) 神戸大学主任・中堅職員研修  
<於：理学研究科Z棟201・202教室 参加：係員1名>
- 19 (火) ~ 10月2 (月) 第2回附属図書館運営委員会 (メール審議)
- 20 (水) 神戸大学主任・中堅職員研修  
<於：理学研究科Z棟201・202教室 参加：係員1名>
- 21 (木) 学内会計監査 (人文科学図書館)
- 22 (金) 令和5年度兵庫県大学図書館協議会施設見学会  
<於：追手門学院大学・アライヴライブラリー  
参加：課長1名、係長3名、係員1名>
- 25 (月) 【オンライン】JPCOAR 「学術情報流通を取り巻く現在の状況」 <出席：部長>
- 25 (月) ~ 29 (金) 漢籍担当職員講習会 (初級)  
<於：京都大学東アジア人文情報センター 受講：係員1名>
- 25 (月) ~ 10月2 (月) 国際文化学図書館 第2回図書委員会 (メール回議)
- 26 (火) 学内会計監査 (於：社会系図書館)
- 29 (金) 【オンライン】「デジタルが変える学術情報流通とオープンサイエンスの展望」  
<出席：部長>
- <10月>
- 2 (月) 【オンライン】京阪神デジタルライブラリー打合せ
- 2 (月) ~ 31 (火) 非常時参集訓練  
<於：社会系、人文、自然系、人間、医学、海事 参加：11名>
- 3 (火) ホターカイタンス (人間発達) <於：人間科学図書館 説明：リテラー係>  
【オンライン】サービス課連絡会議
- 6 (金) 内閣府 総合知ワークショップ @神戸大学 <於：六甲ホール 出席：館長、部長>
- 11 (水) 大学経営人材育成セミナー①  
<於：理学研究科Z棟201・202教室 受講：課長補佐2名>
- 13 (金) 図書館利用ガイダンス  
<於：人間科学図書館 説明：人間サービス係>  
神戸大学・学ぶ楽しみ発見プログラム (KUPI) 受講生ガイダンス  
<説明：人間サービス係 於：人間科学図書館>
- 13 (金) ~ 26 (木) 社会科学系図書館 第4回図書委員会 (メール回議)
- 13 (金) ~ 12月20 (水) 資料展「1933-社会科学系図書館誕生90周年-」 <於：社会科学図書館>
- 16 (月) 【オンライン】京阪神デジタルライブラリー打合せ
- 16 (月) ~ 20 (金) 自然科学系図書館 第2回図書委員会 (メール回議)
- 17 (火) ホターカイタンス (国際文化学)  
<於：総合・国際文化学図書館グループ学習室 説明：リテラー係>
- 18 (水) 【オンライン】JPCOAR 運営委員会 <出席：部長>
- 19 (木) 【オンライン】eol オンライン講習会 <説明：外部講師>  
全国大学ヒブリアトル 関西Bブロック地区予選会  
<於：自然科学系図書館イノベーションスタジオ>  
【オンライン】第1回2030デジタルライブラリー推進に関する検討会  
<傍聴：部長>
- 19 (木) ~ 24 (火) 人間科学系図書館 第2回図書委員会 (メール回議)
- 20 (金) 【オンライン】京阪神デジタルライブラリー打合せ
- 20 (金) ~ 26 (木) 経済経営研究所図書館 第4回図書委員会 (メール回議)
- 23 (月) 大学経営人材育成セミナー②  
<於：理学研究科Z棟201・202教室 受講：課長補佐2名>

- 24 (火) ~ 25 (水) 蔵書点検 <於：人文科学図書館>  
 25 (水) JPCOAR フォラム JPCOAR meets JUSTICE：大 OA 時代に漕ぎ出す大学図書館  
 <於：パシフィコ横浜、オンライン 運営側：部長、参加：係員 1 名>  
 26 (木) 【オンライン】Wos・EndNote online 講習会 <説明：外部講師>  
 【オンライン】図書館総合展 NII フォラム「若手の図書館員よ海外に行こう」  
 <参加：係員 2 名>  
 27 (金) 選書ツアー <於：ジュンク堂書店三宮店 随行：係員 5 名>  
 資金管理に関する内部監査 <於：保健科学図書室>  
 28 (土) 第 17 回神戸大学ホームcomingデー  
 <於：社会科学系図書館  
 来館者対応：課長補佐 1 名、係長 1 名、係員 2 名>  
 30 (月) 施設部との意見交換 (キャラバン)  
 <於：自然科学系図書館会議室  
 出席：館長、部長、管理課長、情報サービス課長、管理課補佐、管理係長>  
 31 (火) 【オンライン】第 3 回館長・副館長・分館長懇談会

## < 11 月 >

- 1 (水) 【オンライン】JPCOAR OA 推進タスクフォース <参加：部長、傍聴：係長 1 名>  
 1 (水) ~ 2 (木) 蔵書点検 <於：保健科学図書室>  
 2 (木) 【オンライン】国立国会図書館レファレンスサービス研修「科学技術情報の調べ方」  
 <参加：係員 2 名>  
 【オンライン】図書館総合展「近畿大学中央図書館の学修支援」  
 <参加：係員 1 名>  
 6 (月) ~ 10 (金) 上野中学トライやるウィーク <於：社会科学系図書館 来館：2 名>  
 御影中学トライやるウィーク <於：自然科学系図書館 来館：2 名>  
 漢籍担当職員講習会 (中級)  
 <於：京都大学東アジア人文情報センター 受講：係員 1 名>  
 7 (火) 【オンライン】サービス課連絡会議  
 【オンライン】第 3 回附属図書館運営委員会  
 7 (火) ~ 8 (水) 蔵書点検 <於：医学分館>  
 9 (木) 【オンライン】人間科学系図書館 第 3 回図書委員会  
 10 (金) 全学防災訓練  
 【オンライン】SpringerNature 社との転換契約へのイロツブプロジェクト参加大学報告会  
 <報告：管理課補佐>  
 13 (月) 大学経営人材育成セミナー③  
 <於：理学研究科 Z 棟 201・202 教室 受講：課長補佐 2 名>  
 13 (月) ~ 14 (火) 蔵書点検 <於：社会科学系図書館>  
 14 (火) 【オンライン】ジャパンナレッジ Lib オンライン講習会 <説明：外部講師>  
 【オンライン】図書館総合展「JST/CHORUS オンラインフォーラム」 <参加：係長 1 名>  
 15 (水) 【オンライン】京阪神デジタルライブラリー打合せ  
 16 (木) ホターガータンス (国際文化学)  
 <於：総合・国際文化学図書館 説明：リテラー係>  
 御影高校 PTA による見学 <於：社会科学系図書館、自然科学系図書館>  
 17 (金) 【オンライン】目録システム書誌作成研修フォローアップ研修 <参加：係員 1 名>  
 【オンライン】UniBio Press セミナー <参加：部長>  
 トークセッション「古典籍画像で遊ぶ」ワークショップ「うるわしのとわのふみ」

- 21 (火) <於：人文科学図書館 LC, 人文学研究科視聴覚室 参加：係員1名>  
JSPS 社会科学デジタルプラストラクター強化推進委員会  
<於：自然科学系図書館  
出席：館長、部長、情報管理課長、情報管理課補佐1名、係長2名>  
会計監査法人による第1回期中監査  
【オンライン】国大図協東海北陸地区事業「大学間連携・コミュニティの可能性  
を考える：最新事例をまじえて」 <参加：部長>
- 22 (水) 【オンライン】国大図協 OS 小委員会 <出席：部長>
- 24 (金)～29 (水) 人文科学図書館 第4回図書委員会(メール回議)
- 27 (月) 大学経営人材育成セミナー④  
<於：理学研究科 Z 棟 201・202 教室 受講：課長補佐2名>  
【オンライン】国大図協ワークショップ「2025 即時 OA 対応を考える」  
<運営側参加：係長1名>
- 27 (月)～12月4 (月) 保健科学図書館 第2回図書委員会(メール回議)
- 28 (火) 第2回神戸大学出版会出版委員会 <於：理事室、Zoom>  
【オンライン】SPARC Japan セミナー2023「即時 OA に備えて」  
<参加：部長、係長1名>  
令和5年度図書館等職員著作権実務講習会  
<於：岡山会場(ターミナルスクエア) 参加：係員3名>  
【オンライン】京阪神デジタルライブラリー打合せ
- 28 (火)～30 (木) 【オンライン】国立国会図書館「障害者サービス担当職員向け講座」  
<登壇：係員1名(29～30日)、参加：係長1名>
- <12月>
- 1 (金) 「西洋古典資料保存講習会」 <於：フロンティア館プレゼンテーションホール、オンライン  
挨拶：館長、登壇：係長1名、参加：係長1名、係員6名>  
第13回被災地の図書館と震災資料の収集・公開に係る情報交換会  
<於：人文学研究科会議室、オンライン 挨拶：館長 出席：部長、  
管理課長、管理課課長補佐、係長1名、震災文庫担当1名>
- 5 (火) 【オンライン】サービス課連絡会  
神戸高校生徒による資料展見学  
<於：社会科学系図書館 対応：情報管理課補佐1名>
- 6 (水) 海事科学分館 第3回図書委員会 <於：総合学術交流棟5階会議室 >
- 7 (木) 相生高校、姫路南高校生徒による見学 <於：社会科学系図書館>  
【オンライン】国立国会図書館レファレンスサービス研修「人文情報の調べ方」  
<参加：係員3名>
- 8 (金) 【オンライン】第7回 JMLA 学術集会 CE コース <受講：係員1名>
- 9 (土) 深江キャンパス計画停電実施のため海事科学分館臨時休館
- 12 (火) 【オンライン】国大図協シンポジウム <参加：部長、課長1名>
- 14 (木)～20 (水) 医学分館 第3回図書委員会(メール回議)  
資金管理に関する内部監査 <於：総合・国際文化学図書館>  
北須磨高等学校生徒による図書館見学 <於：社会科学系図書館>  
【オンライン】学術情報流通に関する連続セミナー「学術論文の著作権とクリエイティブ  
・コモンズの関係」 <参加：部長、課長補佐1名>
- 18 (月) 国大図協近畿地区協会会員館図書系人事担当課長・事務部長懇談会

- ＜於：大阪大学 出席：管理課長＞  
 国立大学図書館協会近畿地区協会 事務連絡会
- 19 (火) 第5回研究データ管理・公開ポリシー実施検討WG  
 ＜於：大阪大学 出席：館長、部長、課長1名＞
- 21 (木) 幹部職員セミナー ＜参加：館長、部長、課長2名、課長補佐2名＞
- 22 (金) 令和5年度法人文書監査 ＜於：社会科学系図書館＞  
 資金管理に関する内部監査 ＜於：海事科学分館＞
- 22 (金)～28 (木) 国際文化学図書館 第3回図書委員会(メール回議)
- ＜1月＞
- 4 (木)～10 (水) 経済経営研究所図書館 第5回図書委員会(メール回議)
- 9 (火) 【オンライン】サビース課連絡会議
- 12 (金) 自衛消防・防災訓練 ＜於：保健科学図書室＞  
 大学入試共通テストに伴い13時で臨時閉館(保健科学図書室)  
 大学入試共通テストに伴い17時で臨時閉館(研究所、医学、保健を除く)
- 12 (金)～18 (木) 社会科学系図書館 第5回図書委員会(メール回議)
- 12 (金)～2月8 (木) 震災リハビル展示 ＜於：社会科学図書館＞
- 13 (土) 大学入試共通テストに伴い臨時休館(研究所、医学を除く)
- 14 (日) 大学入試共通テストに伴い臨時休館(社会科学系図書館)
- 15 (月) 【オンライン】国大図協システム委員会WG ＜出席：部長＞
- 15 (月)～19 (金) 自然科学系図書館 第3回図書委員会(メール回議)
- 16 (火) 【オンライン】京阪神デジタルライブラリー打合せ
- 16 (火)～17 (水) 【オンライン】令和5年度国立大学協会近畿地区支部係長研修  
 ＜参加：係長1名＞
- 17 (水) 人文科学図書館 第5回図書委員会＜於：人文科学図書館貴重書閲覧室＞  
 【オンライン】京阪神デジタルライブラリー打合せ  
 【オンライン】国大図協近畿地区協会地区事業(キダハ)打合せ  
 ＜参加：部長、課長1名＞
- 18 (木) 人事ヒアリング ＜於：事務局4階特別会議室 出席：部長、課長2名＞
- 22 (月) 資金管理に関する内部監査 ＜於：自然科学系図書館、人文科学図書館＞
- 23 (火) 第6回研究データ管理・公開ポリシー実施検討WG  
 ＜於：自然科学系図書館 出席：部長＞
- 24 (水) 【オンライン】第4回館長・副館長・分館長懇談会
- 25 (木) 【オンライン】第4回ALPSセミナー ＜参加：課長1名＞
- 26 (金) 【オンライン】国大図協セミナー ＜参加：部長、課長1名、係長2名＞  
 【オンライン】国大図協東北地区協会地区協会令和5年度職員研修  
 ＜参加：係員1名＞
- 30 (火) 【オンライン】第4回附属図書館運営委員会
- 31 (水) 【オンライン】京阪神デジタルライブラリー打合せ
- ＜2月＞
- 1 (木) 【オンライン】JPCOAR運営委員会 ＜出席：部長＞
- 2 (金)～8日 (木) 医学分館 第4回図書委員会(メール回議)

- 6 (火) 【オンライン】 サービス課連絡会議
- 7 (水) 臨時研究データ管理・公開ポリシー実施検討 WG  
 <於：事務局 6 階中会議室 出席：部長>
- 8 (木) 学内ヒアリング <於：事務局 6 階大会議室>  
 トップ マネジメントセミナー  
 <於：事務局 6 階大会議室、オンライン 参加：館長、部長、課長 2 名>
- 9 (金) 資金管理に関する内部監査 <於：社会科学系図書館>
- 9 (金) ~ 15 (木) 人間科学系図書館 第 4 回図書委員会 (メール回議)
- 10 (土) ~ 18 (日) 国大図協 OS 小委員会による英国 OA 政策等の調査  
 <於：ロンドン他 参加：係長 1 名>
- 13 (火) 防火・防災訓練 <於：人文科学図書館>
- 17 (土) ~ 25 (日) IDCC24 参加及び英国 OA 政策についての聞き取り調査  
 <於：スコットランド 参加：係員 2 名>
- 19 (月) 防火・防災訓練 <於：医学分館>  
 社会科学系図書館 第 6 回図書委員会 <於：社会科学系図書館会議室>  
 【オンライン】 国立大学図書館協会近畿地区図書系専門試験実施委員会  
 <出席：部長、管理課長>
- 19 (月) ~ 26 (月) 保健科学図書館 第 3 回図書委員会 (メール回議)
- 21 (水) 【オンライン】 国大図協北海道地区事業「ChatGPT を使い倒そう」  
 <参加：係長 1 名>
- 21 (水) ~ 27 (火) 海事科学分館 第 4 回図書委員会 (メール回議)
- 22 (木) 前期入学試験に伴い 13 時で閉館 (保健科学図書館)  
 前期入学試験に伴い 17 時で閉館 (社会科学系図書館)  
 【オンライン】 国大図協システム委員会 <出席：部長>
- 28 (水) 【オンライン】 国大図協システム委員会 <出席：部長>
- 28 (水) ~ 3月5日 (火) 医学分館 第 5 回図書委員会 (メール回議)

### < 3 月 >

- 1 (金) 国大図協近畿地区協会地区事業キタハマフォーラム  
 <於：京都大学附属図書館 運営スタッフ：部長、課長 1 名、係員 2 名>  
 【オンライン】 2023 年度大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) 総会  
 <出席：部長、課長補佐 1 名>
- 1 (金) ~ 7 (木) 人文科学図書館 第 6 回図書委員会 (メール回議)
- 1 (金) ~ 8 (金) 国際文化学図書館 第 4 回図書委員会 (メール回議)
- 4 (月) 【オンライン】 2030 デジタル・ライブラリー推進に関する検討会 <出席：部長>
- 4 (月) ~ 8 (金) 第 3 回展示 WG (メール回議)
- 5 (火) 【オンライン】 サービス課連絡会議
- 5 (火) ~ 14 (木) 第 5 回附属図書館運営委員会 (メール審議)
- 7 (木) 【オンライン】 自然科学系図書館 第 4 回図書委員会  
 【オンライン】 学術情報流通に関する連続セミナー第 2 回  
 <参加：部長、課長 1 名、URA(図書館担当)1 名、課長補佐 1 名>
- 8 (金) 【オンライン】 「電子資料共有のための基礎知識」 <参加：部長>
- 8 (金) ~ 13 (水) 社会科学系図書館 第 7 回図書委員会 (メール回議)
- 11 (月) 【オンライン】 人間科学系図書館 第 5 回図書委員会  
 人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業フォーラム  
 <於：東京大学 出席：課長 1 名、係長 1 名>

- 後期入学試験に伴い13時で閉館（保健科学図書室）  
 前期入学試験に伴い17時で閉館（社会科学系図書館）
- 1 2（火） 防火・防災訓練 <於：総合・国文図、社系図、自然図、人間図、海事図>  
 【オンライン】障害者サービスに関する勉強会 <講師：係員>  
 人文学・社会科学データインフラストラクチャー強化事業人文学データ シンポジウム  
 <於：東京大学 出席：課長1名、係長1名>
- 1 3（水） 【オンライン】JPCOAR 総会<出席：部長、係長1名>
- 1 5（金） 【オンライン】英国国際データキュレーション会議（IDCC2024）等報告会  
 <登壇：係員2名>
- 1 8（月） 【オンライン】第5回館長・副館長・分館長懇談会  
 【オンライン】英国オープンアクセス政策等調査報告会 <登壇：係長1名>
- 1 8（月）～2 2（金） 自然科学系図書館 第5回図書委員会（メール回議）
- 1 9（火） 【オンライン】学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針に関する  
 懇話会 <出席：課長1名、URA、係長2名>
- 2 1（木） 第3回アトリチ WG <於：自然科学系図書館コラボレーションルーム>
- 2 1（木）～2 6（火） 海事科学分館 第5回図書委員会（メール回議）
- 2 2（金） 第3回神戸大学出版会出版委員会 <於：理事室、Zoom>
- 2 5（月） 【オンライン】第6回図書館運営委員会
- 2 8（木） 第7回研究データ管理・公開ポリシー実施検討 WG  
 <於：自然科学系図書館 出席：部長>